第6次草津市総合計画　第2期基本計画

施策評価シート

【令和7年度実績】

令和8年8月
草津市

施策評価シートについて

【趣旨】

「施策評価シート」は、第６次草津市総合計画第２期基本計画の進捗管理を行うことを目的として、同計画の施策ごとに作成したものです。
施策ごとに評価実施前年度の取組実績をもとに評価を行うとともに、今後その施策をどのような方向に進めていくかを示しています。

【第６次草津市総合計画　第２期基本計画の進捗管理および評価】

施策体系	計画の進捗管理および評価について
まちづくりの基本目標	
分野	
基本方針	・各基本方針の進捗状況の目安として指標の進捗状況を把握し、公表します。 ・各基本方針の重要度・満足度に係る市民意識を把握し、公表します。
施策	・施策ごとに事業執行面での分析を行い、達成状況や課題を整理します。 ・すべての施策について、成果指標を設け、行政の内部管理に基づく施策評価を行い、公表します。 ・「地域幸福度（Well-Being）指標」を、施策の進捗状況を把握するうえでの参考指標として活用します。なお、数値については施策評価とともに公表します。
事務事業	・各事業について、施策ごとの達成度評価の中で進捗状況を把握し、次年度予算編成に反映します。

【記載内容】

「施策番号、施策名」

施策番号順に、第６次草津市総合計画第２期基本計画に掲げる施策名を記載しています。

「施策の概要」

第６次草津市総合計画第２期基本計画に記載している各施策の概要を転記しています。

「成果指標」

施策に含まれる主要事業等による取組の成果を目安として把握するために、ひとつの施策に対してひとつの指標を設定しています。市による取組内容をわかりやすくお伝えするための参考数値としてお示ししています。

「成果指標実績に対するコメント」

上記の成果指標に対する分析や参考等のコメントを記載しています。

「施策の達成度評価」

令和７年度中に行った取組に対する評価を記載しています。施策の目的達成のために何ができたのかを分析して原因や課題等とともに記載しています。

施策と関連する「地域幸福度（Well-Being）指標」の「実数」や「偏差値」、また、該当する因子の状況を参考に、取組の現在地を踏まえた評価を記載しています。

「評価に基づいた令和９年度の取組についての考え方」

上記の評価を踏まえたうえで、今後の予算要求に向けた、令和９年度の取組の方向性を記載しています。

「地域幸福度（Well-Being）指標」の「実数」や「偏差値」、また、該当する因子を踏まえ、令和９年度の取組の方向性を記載しています。

「施策に含まれる主要事業一覧」

施策に含まれる事業のうち、主要事業と担当課を記載し、当初想定していた事業の目標に対する達成度を「◎」、「○」、「△」で評価しています。

「◎」…期待を超える成果があった
「○」…期待どおりの成果があった
「△」…期待未満の成果であった

「施策に含まれるその他の事業一覧」

施策に含まれる事業のうち、上記の主要事業以外のその他の事業と担当課を記載しています。

「施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標」

第６次草津市総合計画第２期基本計画の進捗を図るうえでの参考指標とした「地域幸福度(Well-Being)指標」について、施策と関連するものを記載しています。「主観指標」については、指標項目に加え、各年度の「実数」「偏差値」を、「客観指標」については、指標の番号をそれぞれ記載しています。
※実数＝１～５段階で回答のあったものの平均値
　偏差値＝全国の自治体で相対的な位置を示す尺度（中央は50）

「施策評価シート」の見方

■施策評価シート　1-01-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち			分野	人権
基本方針	人権の尊重			基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	1-01-①	施策名	人権文化の醸成		

施策の概要
すべての人の基本的人権の尊重と恒久平和を誓うまちづくりを推進するため、各種の啓発事業や市民活動への支援、人権教育の機会づくり等を進めます。

成果指標(単位)	「人権の尊重」に満足している市民の割合(%)					
	令和6年度			令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)		①	36.3	37.3	38.3
実績値	34.3					

成果指標実績に対するコメント
②

施策の達成度評価
③

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
④

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度(※事業番号のみ)	達成度評価理由
人権擁護平和啓発推進事業	人権政策課		
人権と平和を守る都市宣言啓発事業	人権センター		
人権センター自主事業	人権センター		
市民のつどい開催事業	人権センター		

1ページ

⑤

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
企業啓発指導員配置事業	商工観光労政課
各種研究会参加負担事務	人権センター
社会同和教育啓発事業	人権センター
社会同和教育推進事務	人権センター
社会同和教育推進者研修事業	人権センター
同和教育推進協議会活動事業	人権センター
同和問題市民講座開設事業	人権センター
社会教育関係団体活動費補助事業	人権センター

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

	主観指標項目	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が存在している	実数					
		偏差値					
37	この町(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数					
		偏差値					
38	私は、見知らぬ他者であっても信頼する	実数					
		偏差値					
39	私は、この町(集落)の人が自分をどう思っているかが気になる	実数					
		偏差値					
40	私の暮らしている地域には、会話が盛んでしやすい雰囲気がある	実数					
		偏差値					
41	私の暮らしている地域には、冠婚葬祭が盛んでしやすい雰囲気がある	実数					
		偏差値					
47	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	実数					
		偏差値					
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数					
		偏差値					
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数					
		偏差値					

⑥

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No.(令和7年度)	96							

⑦

① □　成果指標
評価の対象年度の実績を記載しています。

② □　成果指標実績に対するコメント
上記の成果指標に対する分析や参考等のコメントを記載しています。

③ □　施策の達成度評価
【上段】
対象年度中に行った取組に対する評価を記載しています。施策の目的達成のために何ができたのかを分析して原因や課題等とともに記載しています。
【下段】
施策と関連する「地域幸福度(Well-Being)指標」の「実数」や「偏差値」、また、該当する因子の状況を参考に、取組の現在地を踏まえた評価を記載しています。

④ □　評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
【上段】
『施策の達成度評価』を踏まえたうえで、今後の予算要求に向けた、令和9年度の取組の方向性等を記載しています。
【下段】
「地域幸福度(Well-Being)指標」の「実数」や「偏差値」、また、該当する因子を踏まえ、令和9年度の取組の方向性を記載しています。

⑤ □　施策に含まれる主要事業一覧
主要事業について、当初想定していた事業の目標に対する達成度を「◎」、「○」、「△」で評価し、その理由を記載しています。

⑥ □　関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】
各年度に実施した「地域幸福度(Well-Being)指標」アンケート調査に基づき、「主観指標」「実数」「偏差値」をそれぞれ記載しています。
実数　＝1～5段階で回答のあったものの平均値
偏差値＝全国の自治体で相対的な位置を示す尺度(中央は50)

⑦ □　関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】
客観指標の番号を記載しています。客観指標の項目については、指標番号をもとに、巻末の一覧表から参照ください。

※「地域幸福度(Well-Being)指標」とは、主観指標と客観指標から市民の「暮らしやすさ」と「幸福感」を数値化し、可視化するものです。主観指標とは、市民を対象としたアンケートによるものであり、客観指標とは、各種統計等に基づくもので、いずれの指標も偏差値として示されるため、各自治体の特徴を読み取ることが可能となります。

出所：一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度(Well-Being)指標」

施策ごとの事業数一覧【令和7年度事業】

	基本目標名		分野名		基本方針名	施策番号	施策名	施策の責任課	事業数	主要事業	評価の内訳			その他事業
											◎	○	△	
1	「こころ」育むまち	1	人権	01	人権の尊重	1-01-①	人権文化の醸成	人権センター	16	8		8		8
						1-01-②	人権の擁護	人権政策課	12	3		3		9
		2	男女共同参画	01	男女共同参画社会の構築	2-01-①	男女共同参画社会の推進	男女共同参画センター	1	1		1		0
						2-01-②	女性の活躍推進	男女共同参画センター	1	1		1		0
		3	学校教育	01	こどもの生きる力を育む教育の推進	3-01-①	確かな学力と社会の形成に参画する力の育成	学校教育課	9	3		3		6
						3-01-②	豊かな心と健やかな体の育成	児童生徒支援課	24	5		5		19
				02	学校の教育力の向上	3-02-①	多様な教育ニーズへの対応	児童生徒支援課	12	3		3		9
						3-02-②	教職員の指導力と学校経営の充実	学校政策推進課	22	6		6		16
						3-02-③	教育環境の充実	教育総務課	11	4		4		7
		4	生涯学習・スポーツ	01	生涯学習の推進	4-01-①	家庭・地域での学びの充実	生涯学習課	4	1		1		3
						4-01-②	生涯学習機会の充実	生涯学習課	8	5		5		3
				02	スポーツの充実	4-02-①	スポーツ活動の推進	スポーツ推進課	16	4		4		12
						4-02-②	スポーツ環境の充実	スポーツ推進課	6	6		6		0
		5	歴史・文化	01	文化財の保存と活用	5-01-①	文化財の保存の推進	歴史文化財課	9	5		5		4
						5-01-②	歴史文化の活用の推進	歴史文化財課	4	4		4		0
				02	文化・芸術の振興	5-02-①	文化・芸術活動の推進	生涯学習課	4	4		4		0

施策ごとの事業数一覧【令和7年度事業】

	基本目標名		分野名		基本方針名	施策番号	施策名	施策の責任課	事業数	主要事業	評価の内訳			その他事業
											◎	○	△	
2	「笑顔」輝くまち	6	コミュニティ	01	市民自治の確立	6-01-①	市民自治の確立のための活動支援と環境整備	まちづくり協働課	5	4		4		1
				02	基礎的コミュニティの活性化	6-02-①	基礎的コミュニティ活動の支援	まちづくり協働課	5	2		2		3
				03	市民公益活動の促進	6-03-①	市民公益活動の支援	まちづくり協働課	2	1		1		1
				04	多文化共生社会の構築	6-04-①	多文化共生の推進	まちづくり協働課	1	1		1		0
		7	地域福祉	01	「地域力」のあるまちづくり	7-01-①	地域福祉の担い手の育成と活躍の促進	健康福祉政策課	3	2		2		1
						7-01-②	地域福祉を支えるネットワークづくり	健康福祉政策課	9	4		4		5
				02	福祉の総合的な相談・支援の充実	7-02-①	セーフティネットの充実	生活支援課	14	4		3	1	10
						7-02-②	福祉の総合相談窓口の充実	人とくらしのサポートセンター	1	1		1		0
		8	健康	01	市民の健康づくり	8-01-①	市民の健康づくり支援	健康増進課	21	5		5		16
						8-01-②	疾病予防対策の強化	健康増進課	5	3		3		2
				02	医療保険制度の適正運用	8-02-①	国民健康保険制度の運用	保険年金課	23	5		5		18
						8-02-②	後期高齢者医療制度の運用	保険年金課	6	2		2		4
						8-02-③	福祉医療費の助成	保険年金課	10	2		2		8
		9	こども・子育て・若者	01	安心してこどもを産み育てられる支援の充実	9-01-①	結婚・妊娠・出産に向けた環境整備	子育て相談センター	6	5		5		1
						9-01-②	こどもの発育・発達に向けた子育て支援	子育て相談センター	10	5		5		5
				02	就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実	9-02-①	就学前教育・保育の量の確保と質の向上	幼児課	37	19		19		18
						9-02-②	多様なニーズに対応する保育サービスの充実	こども若者政策課	2	2		2		0
				03	こども・若者や親子がいきいき過ごせる場づくり	9-03-①	子育て支援ネットワークの推進	子育て相談センター	5	4		4		1
						9-03-②	こども・若者が安心できる場づくり	こども家庭若者課	1	1		1		0
				04	こども・若者を支える環境づくり	9-04-①	こども・若者の健全育成の推進	こども家庭若者課	6	3		3		3
						9-04-②	児童虐待の防止と早期発見・早期対応	家庭児童相談室	3	2		2		1
						9-04-③	ひとり親家庭や経済的困窮家庭等への支援の充実	こども家庭若者課	10	5		5		5
						9-04-④	発達障害児等への支援の充実	発達支援センター	4	2		2		2
						9-04-⑤	子育てに伴う経済的負担の軽減	こども家庭若者課	7	3		3		4
		10	長寿・介護	01	いきいきとした高齢社会の実現	10-01-①	高齢者の生きがいづくり・社会参加の促進	長寿いきがい課	6	3		3		3
						10-01-②	高齢者の健康づくり・介護予防の推進	長寿いきがい課	17	4		4		13
				02	あんしんできる高齢期の生活への支援	10-02-①	地域包括ケアシステムの深化・推進	長寿いきがい課	22	5		5		17
						10-02-②	認知症施策の推進	長寿いきがい課	5	4		4		1
						10-02-③	介護サービスの充実	介護保険課	29	4		4		25
						10-02-④	介護保険制度の適正運用	介護保険課	10	3		3		7
		11	障害福祉	01	共に生きる社会の推進	11-01-①	障害のある人の暮らしを支えるサービス基盤の充実	障害福祉課	41	3		3		38
						11-01-②	障害のある人の社会参加の促進	障害福祉課	14	3		3		11
						11-01-③	障害と障害のある人への理解促進と尊厳の保持	障害福祉課	6	3		3		3

施策ごとの事業数一覧【令和7年度事業】

	基本目標名		分野名		基本方針名	施策番号	施策名	施策の責任課	事業数	主要事業	評価の内訳			その他事業
											◎	○	△	
3	「暮らし」支えるまち	12	防災	01	自助・共助による防災対策の充実	12-01-①	自主防災体制の確立と市民意識の高揚	危機管理課	4	1		1		3
				02	災害に強いまちづくり	12-02-①	消防体制・基盤の充実	危機管理課	5	2		2		3
						12-02-②	地域防災体制・基盤の強化	危機管理課	3	3		3		0
				03	治水対策の推進	12-03-①	河川・排水路の整備	河川課	5	2		2		3
						12-03-②	公共下水道雨水幹線の整備	河川課	2	2		2		0
		13	生活安心・防犯	01	暮らしの安心の確保	13-01-①	市民相談業務の充実	生活安心課	1	1		1		0
						13-01-②	消費者の自立支援・消費者教育の推進と消費者団体の育成	生活安心課	2	2		2		0
						13-01-③	生活衛生の向上と栗東市との広域連携による火葬体制の確立	生活安心課	8	4		4		4
				02	犯罪のないまちづくり	13-02-①	自主防犯活動の展開	危機管理課	1	1		1		0
						13-02-②	防犯設備の維持・整備	危機管理課	2	2		2		0
		14	環境	01	良好な環境の保全と創出	14-01-①	自然環境の保全	環境政策課	2	1		1		1
						14-01-②	環境汚染、環境負荷対策の促進	環境政策課	5	2		2		3
						14-01-③	環境学習の拡充	環境政策課	1	1		1		0
				02	脱炭素社会への転換	14-02-①	様々な主体の自主的な取組の支援とネットワークの拡充	温暖化対策室	1	1		1		0
						14-02-②	省エネルギー対策・再生可能エネルギー利用等の推進	温暖化対策室	3	3		3		0
				03	資源循環型社会の構築	14-03-①	ごみの発生抑制・再使用・資源化の推進	資源循環推進課	5	3		3		2
						14-03-②	ごみの適正処理	資源循環推進課	5	2		2		3
						14-03-③	環境美化の推進	資源循環推進課	2	1		1		1
		15	交通	01	公共交通ネットワークの構築	15-01-①	公共交通ネットワークの充実	交通政策課	2	1		1		1
						15-01-②	鉄道駅周辺での自転車利用環境の整備	交通政策課	4	4		4		0
				02	交通安全対策の推進	15-02-①	交通安全意識の高揚	交通政策課	5	3		3		2
		16	道路	01	安全・安心な道路の整備	16-01-①	広域主要幹線道路等の整備促進	土木管理課	1	1		1		0
						16-01-②	幹線道路の整備	道路課	2	2		2		0
						16-01-③	生活道路の整備	道路課	1	1		1		0
						16-01-④	歩道・自転車道等の整備	道路課	2	2		2		0
						16-01-⑤	道路施設の長寿命化と維持管理	道路課	12	2		2		10
						16-01-⑥	バリアフリー化の促進	道路課	1	1		1		0
		17	上下水道	01	水の安定供給	17-01-①	上水道施設の更新・災害対策と維持管理	上下水道施設課	27	6		6		21
						17-01-②	上水道事業の健全経営	上下水道総務課	5	1		1		4
				02	下水道の安定運営	17-02-①	下水道施設の更新・災害対策と維持管理	上下水道施設課	6	2		2		4
						17-02-②	下水道事業の健全経営	上下水道総務課	5	1		1		4

施策ごとの事業数一覧【令和7年度事業】

	基本目標名		分野名		基本方針名	施策番号	施策名	施策の責任課	事業数	主要事業	評価の内訳			その他事業
											◎	○	△	
4	「魅力」あふれるまち	18	農林水産	01	農業の振興	18-01-①	農地の保全と生産基盤の強化	農林水産課	12	5		5		7
						18-01-②	人材の確保・育成と農業経営の強化	農林水産課	5	2		2		3
						18-01-③	「農」を通じたつながりの拡大	農林水産課	3	2		2		1
				02	水産業の振興	18-02-①	漁業環境の保全・確保	農林水産課	1	1		1		0
						18-02-②	漁業・水産資源の多面的利活用の促進	農林水産課	1	1		1		0
		19	商工観光	01	中心市街地の活性化	19-01-①	中心市街地のにぎわいの創出	都市地域戦略課	1	1		0	1	0
				02	商業の振興	19-02-①	地域商業の活性化	商工観光労政課	4	3		3		1
				03	工業の振興	19-03-①	新産業の創出と中小企業等への支援	商工観光労政課	1	1		1		0
						19-03-②	企業の立地促進	商工観光労政課	3	2		2		1
				04	観光の振興	19-04-①	地域観光の活性化	商工観光労政課	6	3		3		3
				05	勤労者福祉の向上	19-05-①	勤労者への支援	商工観光労政課	3	2		2		1
		20	都市形成	01	都市と住環境の質・魅力向上	20-01-①	土地利用の適切な誘導	都市計画課	5	2		2		3
						20-01-②	良質な住宅資産の形成	建築政策課	3	2		2		1
				02	まちなかの魅力向上と地域再生の推進	20-02-①	にぎわいのある市街地の形成	都市地域戦略課	7	3		3		4
						20-02-②	地域の特性と資源を活かした地域再生の推進	都市地域戦略課	1	1		0	1	0
				03	良好な景観の保全と創出	20-03-①	自然的・歴史的景観の保全と活用、都市景観の形成	都市計画課	2	2		2		0
		21	公園・緑地	01	ガーデンシティの推進	21-01-①	公園・緑地の整備	公園緑地課	1	1		0	1	0
						21-01-②	公園・緑地の活用	公園緑地課	4	3		3		1
						21-01-③	まちなみ緑化の推進	公園緑地課	2	2		2		0
				02	草津川跡地の空間整備	21-02-①	草津川跡地の整備	草津川跡地整備課	2	2		2		0
		22	情報・交流	01	まちづくり情報の提供の充実	22-01-①	まちづくり情報の提供	まちづくり協働課	1	1		1		0
						22-01-②	行政情報の提供	広報課	9	2		2		7
				02	多様な連携・交流の展開	22-02-①	産学公民の連携によるまちづくりの展開	草津未来研究所	2	1		1		1
						22-02-②	都市間交流の促進	まちづくり協働課	1	1		1		0

施策ごとの事業数一覧【令和7年度事業】

	基本目標名		分野名		基本方針名	施策番号	施策名	施策の責任課	事業数	主要事業	評価の内訳			その他事業
											◎	○	△	
5	「未来」への責任	23	行財政マネジメント	01	市民から信頼される市政運営	23-01-①	健全な財政運営の維持	財政課	11	1		1		10
						23-01-②	市有財産の適正な維持管理・更新	公共建築課	12	1		1		11
						23-01-③	情報提供・情報公開の推進	総務課	17	2		2		15
				02	職員力の向上	23-02-①	職員の資質向上	職員課	8	1		1		7
				03	行政事務の効率化と最適な行政サービスの実現	23-03-①	行政経営改革の推進	経営戦略課	14	2		2		12
						23-03-②	広域連携の推進	企画調整課	2	1		1		1
5		23		53		110			779	297	0	293	4	482

「こころ」育むまち

1.人権に関する施策

■施策評価シート　　1-01-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	人権
基本方針	人権の尊重		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	1-01-①	施策名	人権文化の醸成	

施策の概要
すべての人の基本的人権の尊重と恒久平和を誓うまちづくりを推進するため、各種の啓発事業や市民活動への支援、人権教育の機会づくり等を進めます。

成果指標（単位）	「人権の尊重」に満足している市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	35.3	36.3	37.3	38.3
実績値	34.3	35.0			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、「人権の尊重」について満足している市民の割合は目標値に0.3ポイント足りなかったが、前年度に比べ0.7ポイント増加した。引き続き、教育・啓発の取り組みを積極的に行う必要がある。

施策の達成度評価
市、地域および企業で実施している人権教育・啓発の各事業への参加者から高い評価をいただいており、今後も引き続き、市民ニーズ等社会情勢を踏まえ、効果的な教育・啓発を積極的に行う必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標については、偏差値が前年度に比べ上がっている項目「No.34　暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.37　この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」「No.40　私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある」「No.41　私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある」「No.48　私の暮らしている地域には、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49　私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」があり、いずれも0.5ポイント以上、上がっている結果であった。 本市では、様々な人権課題をテーマに「いのち・愛・人権のつどい」や「人権セミナー」等を開催しており、こうした偏差値が上がっている状況を踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、効果的な教育・啓発となるよう事業を実施していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
これまでの取り組みにより、「人権の尊重」について満足している市民の割合は前年度に比べ増加しているが、人権を取り巻く社会情勢の変化に注視しながら、今後の事業の実施については、関係団体等と連携するとともに、事業内容や手法をさらに創意工夫し、その効果を検証し、人権擁護の必要性を広く市民に周知できるよう取り組んでいく必要がある。
「いのち・愛・人権のつどい」や「人権セミナー」等については、様々な人権課題をテーマに実施しており、当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.34　暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.37　この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」「No.40　私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある」「No.41　私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある」などは増加しており、「人権の尊重」に深く関わっていることから引き続き、効果的な教育・啓発となるよう事業を実施していく。 　また、「No.47　私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある」の指標が、昨年度と比べ減少しており、研修会等の学習機会について周知方法の工夫により、広く情報提供を行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
人権擁護平和啓発推進事業	人権政策課	○	戦後80年の節目を迎え、草津市平和祈念のつどいの開催等を通じて、人権尊重と恒久平和の願いを訴え、平和意識の高揚を図ることができたため。
人権と平和を守る都市宣言啓発事業	人権センター	○	「ヤングケアラー」をテーマに、「いのち・愛・人権のつどい」を開催した。アンケート結果から「人権への関心が深まった」という回答が94.7%（未記入を除くと、99.0%）であり、人権意識の醸成を図ることができたため。
人権センター自主事業	人権センター	○	人権セミナーを全8回開催した。アンケート結果では「人権への関心が深まった」という回答が96.9%（未記入を除くと、98.3%）であり、人権意識の醸成を図ることができたため。
市民のつどい開催事業	人権センター	○	人権尊重の大切さを学び、部落差別の解消をめざして「人権尊重と部落解放をめざす市民のつどい」を開催した。アンケート結果では「人権への関心が深まった」という回答が93.5%（未記入を除くと、100%）であり、同和問題への理解を深めることができたため。

■施策評価シート　　1-01-①

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
女性のつどい開催事業	人権センター	○	「草津市部落解放女性のつどい」を「今なおなくならない部落差別～自分に向き合い、行動を変えていく～」をテーマに開催した。アンケート結果から内容について「よく伝わった」「伝わった」という回答が91.7%（未記入を除くと、100%）であり、同和問題への理解を深めることができたため。
青年集会開催事業	人権センター	○	「草津市部落解放青年集会」を「今日のまなびを明日へつなぐ～わたしからあなたへ～」をテーマに開催した。アンケート結果から内容について「深く考えられた」「考えられた」という回答が75.9%（未記入を除くと、99.3%）であり、同和問題への理解を深めることができたため。
企業内人権啓発推進事業	商工観光労政課	○	草津市企業同和教育推進協議会において5回の研修会の開催、該当啓発活動の参加に加えて、市、商工会議所および公共職業安定所職員で、企業へ訪問等による啓発を実施したことにより、企業の人権意識の向上に寄与したと考えられるため。
人権・同和教育研究大会開催事業	児童生徒支援課	○	全体会での講演や分科会での討議を通じて、多くの参加者がともに人権や同和教育についてあらためて考え、「人権の尊重」に関する意識を高めることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
企業啓発指導員配置事業	商工観光労政課
各種研究会参加費負担事務	人権センター
社会同和教育啓発事業	人権センター
社会同和教育推進事務	人権センター
社会同和教育推進者研修事業	人権センター
同和教育推進協議会活動事業	人権センター
同和問題市民講座開設事業	人権センター
社会教育関係団体活動費補助事業	人権センター

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9			
		偏差値	60.7	61.3			
37	この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	57.7	58.4			
38	私は、見知らぬ他者であっても信頼する	実数	2.3	2.3			
		偏差値	34.3	38.5			
39	私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	実数	2.5	2.5			
		偏差値	44.5	39.0			
40	私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	58.4	62.4			
41	私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	実数	2.8	2.9			
		偏差値	55.6	61.1			
47	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	実数	3.1	3.1			
		偏差値	57.6	55.5			
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8			
		偏差値	55.6	56.1			
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	54.9	56.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	96								

■施策評価シート　　1-01-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	人権
基本方針	人権の尊重		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	1-01-②	施策名	人権の擁護	

施策の概要
市民全体の人権擁護の推進を図るため、すべての部署において人権を根底に据えた施策の推進を図ります。また、人権相談等の人権擁護活動の充実を図ります。

成果指標（単位）	「人権の尊重」に満足している市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	35.3	36.3	37.3	38.3
実績値	34.3	35.0			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、「人権の尊重」について満足している市民の割合は、目標値を達成できなかったものの、前年度に比べ0.7ポイント増加している。 引き続き、これまで実施してきた人権教育・啓発や隣保館の活用、パートナーシップ宣誓制度の運用等を通じて、すべての人があたたかい心を持ち合った明るく住みよいまちの実現に向けて取り組む必要がある。

施策の達成度評価
「人権擁護に関する基本方針」の周知徹底や基本方針に即した各種事業を推進した。また、人権センターおよび各隣保館で行う相談事業等の人権擁護に関する取組の継続により、効果が現れているものと考える。
関連する地域幸福度(Well-Being)指標のうち、「No.34 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.40 私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある」「No.41　私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある」の3項目は、偏差値が60を上回る結果であった。 これは、本市がこれまで取り組んできた人権に関する取組の積み重ねの結果であり、ウェルビーイング向上の観点からも、引き続き人権に関する取組を進め、すべての人があたたかい心を持ち合った明るく住みよいまちの実現を目指す。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
ロシアによるウクライナ侵攻等により人権や平和が脅かされている現状や、情報技術の発展に伴う人権問題など社会情勢の変化を正しく認識し、人権センターや隣保館等における相談業務を中心に人権の擁護を図っていくとともに、その必要性を広く市民に周知できるよう、引き続き各種事業を展開していく。また、隣保館等においては、令和5年に策定した「開かれた隣保館等の今後のあり方について基本方針」に基づき、広く市民に利用いただくものとする。これらにより、「人権の尊重」について満足している市民の割合を増やす。
偏差値が低い項目である「No.38 私は、見知らぬ他者であっても信頼する」「No.39 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる」については、人権を尊重するまちづくりを進める上で重要な項目の一部であり、隣保館の事業や人権センターでの人権教育・啓発など、人と人とのコミュニケーションを伴う人権事業に引き続き注力することで、市民が真に「人権の尊重」を実感し、結果としてウェルビーイングの向上へとつながるよう取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
人権擁護推進事業	人権政策課	○	令和2年3月改訂の「人権擁護に関する基本方針」の周知徹底を図り、基本方針に即した各種事業を推進し、また、令和6年度よりパートナーシップ宣誓制度を運用してきたこと等により、人権意識を高めることができたため。
人権擁護推進協議会活動事業	人権センター	○	「いのち・愛・人権のつどい」および「人権尊重と部落解放をめざす市民のつどい」を開催し、それぞれのテーマにあわせた人権について考えていただける機会を提供することができたため。
人権センター運営事業	人権センター	○	人権相談業務を通じて人権擁護活動の充実を図ることができたため。

■施策評価シート　　1-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
湖南地区職業対策推進事業	商工観光労政課
住民交流啓発事業	人権政策課
新田会館等管理運営事務	人権政策課
西一会館等管理運営事務	人権政策課
橋岡会館等管理運営事務	人権政策課
環境改善維持整備事業	人権政策課
滋賀県市町人権問題連絡会等事務	人権政策課
常盤東総合センター等管理運営事務	人権政策課
人権総合調整推進事務	人権政策課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9			
		偏差値	60.7	61.3			
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	57.7	58.4			
38	私は、見知らぬ他者であっても信頼する	実数	2.3	2.3			
		偏差値	34.3	38.5			
39	私は、町内(集落)の人が自分をどう思っているかが気になる	実数	2.5	2.5			
		偏差値	44.5	39.0			
40	私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	58.4	62.4			
41	私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	実数	2.8	2.9			
		偏差値	55.6	61.1			
47	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	実数	3.1	3.1			
		偏差値	57.6	55.5			
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8			
		偏差値	55.6	56.1			
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	54.9	56.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)	96								

2.男女共同参画に関する施策

■施策評価シート　2-01-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	男女共同参画
基本方針	男女共同参画社会の構築		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	2-01-①	施策名	男女共同参画社会の推進	

施策の概要
男女共同参画の意識啓発やDV 対策の強化を図ります。また、困難な問題を抱える女性への支援を行い、男女共同参画社会づくりを推進します。

成果指標（単位）	男女共同参画社会の構築について重要と思う市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	56.8	58.2	59.6	61.0
実績値	55.4	51.1			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、男女共同参画社会の構築について重要と思う市民の割合は、前年度に比べて4.3ポイント減少し、目標を達成することができなかった。これは、育児・介護休業法や女性活躍推進法の改正等の男女ともに活躍できる環境を整える動き、女性支援新法の施行といった困難な問題を抱える女性への支援が進み、職場や生活の中での男女共同参画推進の取組に満足する市民の割合が増加したことにより、一方で、重要と思う市民の割合の減少につながったものと考えられる。

施策の達成度評価
令和3年4月に策定した「第4次草津市男女共同参画推進計画」に基づき、男女共同参画の各種事業を推進した結果、男女共同参画の意識の啓発や困難な問題を抱える女性を必要な支援につなげられるよう相談等の事業を行った。また、法改正等を踏まえ、第4次草津市男女共同参画推進計画後期計画を策定した。引き続き、困難な問題を抱える女性への支援等を行い、男女共同参画社会づくりを推進していく必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は,ほぼ前年度を上回る結果であった。 本市は、男女共同参画の意識啓発、女性活躍推進や相談事業等の取組を進めており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、男女共同参画社会の実現に向け、ウェルビーイングの観点からも、引き続き取り組んでいく必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
男女共同参画や女性活躍に関する法制度等の整備は進んでいるものの、依然として固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスが存在しており、令和9年度も、引き続き男女共同参画の意識啓発や女性の活躍推進にかかる事業等、関係機関と連携しながら、国の重点施策等の国の動向に合わせて実施していく。
男女共同参画の取組により、当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標はほぼ前年度を上回る結果であったものの、より男女共同参画や女性活躍推進、困難な問題を抱える方が支援に繋がるよう、ウェルビーイングの観点からも、引き続き取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
男女共同参画推進事業	男女共同参画センター	○	男女共同参画についての意識啓発、女性活躍推進事業、相談支援事業等を実施し、地域幸福度(Well-Being)指標はほぼ前年度を上回る結果であったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　2-01-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9			
		偏差値	60.7	61.3			
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	57.7	58.4			
40	私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	58.4	62.4			
41	私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	実数	2.8	2.9			
		偏差値	55.6	61.1			
47	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	実数	3.1	3.1			
		偏差値	57.6	55.5			
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8			
		偏差値	55.6	56.1			
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	54.9	56.5			
50	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある	実数	2.8	2.9			
		偏差値	54.4	57.1			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)	92	93	96						

■施策評価シート　　2-01-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	男女共同参画
基本方針	男女共同参画社会の構築		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	2-01-②	施策名	女性の活躍推進	

施策の概要
女性の就労・起業支援、市政参画の促進やワーク・ライフ・バランスの啓発に努めます。

成果指標（単位）	市全体の審議会等における女性委員の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	43.3	44.6	45.9	47.2
実績値	42.0	43.4			

成果指標実績に対するコメント
市全体の審議会等における女性委員の割合については、前年度に比べ1.4ポイント増加し、目標を達成することができた。庁内に審議会等への女性の参画についての意識が浸透してきたことや、各所属において団体等への積極的な働きかけを行ったことが要因と考えられる。

施策の達成度評価
第4次草津市男女共同参画推進計画に基づき、女性の活躍推進に関する事業、政策・方針決定過程への女性の参画拡大についての啓発等を実施した。引き続き女性の活躍推進やあらゆる分野での女性の参画拡大を目指し、男女がともにライフイベントやキャリア形成を両立できるよう、女性の就労・起業支援、市政参画の促進やワークライフバランスの啓発に努めることが必要である。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、ほぼ前年度を上回る結果であり、「No.40　私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある」の偏差値は62.4であった。 本市は、女性の活躍推進に関する事業を進めており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、女性の活躍推進やあらゆる分野での女性の参画拡大を目指し、取り組んでいく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
あらゆる分野での女性の参画や登用を着実に進めるため、起業や就業支援等の女性の活躍推進に関する事業やワークライフバランスの啓発に取り組む。また、市全体の審議会等における女性委員の参画率については、引き続き庁内部局と連携しながら向上に向け取り組んでいく。
女性の活躍推進に関する取組により、当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、ほぼ前年度を上回る結果であり、また「No.40　私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある」の偏差値は62.4であった。 こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、女性の活躍推進やあらゆる分野での女性の参画拡大に向け取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
女性活躍推進事業	男女共同参画センター	○	女性活躍推進に関する事業や、審議会等への女性の参画について実施し、目標値を達成することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　2-01-②

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9			
		偏差値	60.7	61.3			
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	57.7	58.4			
40	私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	58.4	62.4			
41	私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	実数	2.8	2.9			
		偏差値	55.6	61.1			
47	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	実数	3.1	3.1			
		偏差値	57.6	55.5			
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8			
		偏差値	55.6	56.1			
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	54.9	56.5			
50	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある	実数	2.8	2.9			
		偏差値	54.4	57.1			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)	92	93	96						

3.学校教育に関する施策

■施策評価シート　3-01-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	学校教育
基本方針	こどもの生きる力を育む教育の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	3-01-①	施策名	確かな学力と社会の形成に参画する力の育成	

施策の概要

こどもに基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、学習意欲を高めるとともに、思考力、判断力、表現力等を育み、主体的に学習に取り組む態度を養います。また、スクールESDくさつプロジェクトを推進し、持続可能な社会の創り手を育てるとともに、こどもまんなかの学校づくりを進めます。

成果指標（単位）	「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う」と答えた児童生徒の割合（%） 上段：小学6年生　下段：中学3年生				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	85.4	85.9	86.4	86.9
実績値	84.9	83.2			
目標値	（※基準値）	74.6	75.6	76.6	77.6
実績値	73.6	72.3			

成果指標実績に対するコメント

全国学力・学習状況調査において、成果指標の問い（学びの実生活への活用）に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、前年度に比べて小学6年生で1.7ポイント、中学3年生で1.3ポイント減少し、目標値に達しなかった。スクールESDの推進により、地域課題の解決に向けた主体的・対話的な学びが進む中で、こども達が自らの学びが社会の形成や実生活にどう役立つのかという「学びの有用性」を実感することで、値が向上していくものと考える。

施策の達成度評価

全国学力・学習状況調査における、教科に関する調査結果は小中学校ともに国・県平均を上回り、基礎学力の定着が見られる。また、全20小中学校で展開したスクールESDの取組により、地域課題を自分事として捉え、解決を目指す主体的・対話的な学びを推進した結果、成果指標の問いである「授業で学んだことを実生活に結びつけて考え、生かす力」については、目標値に達しなかったものの、小学校では国・県平均を、中学校では県平均を上回る結果となっている。目標達成のため、児童生徒が自らの学びが社会でどう役立つのかを実感し、社会参画への意欲を高めるための、より実践的な教育活動の展開が必要である。

関連する主観指標「No.16 私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている」の偏差値は66.5と高い水準にある。これは「スクールESD」や「地域協働合校」といった地域と連携した本市の特色ある教育環境が、市民から高く評価されていることを示していると考えられる。こうした良好な教育環境の提供は、将来のまちの創り手の育成という点で、市民全体のウェルビーイング向上に大きく寄与していると評価できる。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

成果指標である、学びを実生活に結びつけ、生かす力を確実に育むため、スクールESDの取組をさらに深化させる。具体的には、地域住民や企業、大学等と連携をより深め、体験的な学習を充実させ、社会の形成に主体的に参画する資質・能力の育成を図ることで、児童生徒が自らの学びの有用性を実感できる機会を拡充する。あわせて、ICTを活用した「New草津型アクティブ・ラーニング」や「AIドリル」の取組により、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、確かな学力の向上に繋げる。

教育環境への高い満足度を維持・向上させるため、「ESDフェスタ」の開催や、各校の学校運営協議会での報告等を通じ、こどもたちが地域課題の解決に向けて学んだ成果を地域へ広く発信する。こうした取組により、「地域全体でこどもを育てる」という意識をさらに醸成し、こどもたちの学びが地域の活性化や市民の幸福感（Well-Being）の向上にもつながる教育活動を展開する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
小1学びの基礎育成事業	児童生徒支援課	○	全小学校で、児童の読みの力を分析・把握し、個々の課題に応じた多層指導モデル（MIM）による「読み」の指導を実施することにより、児童の読みの流暢性につながる能力の向上を図ることができたため。
学校教育支援教員配置事業	学校教育課	○	市内全小中学校に1名の小中連携加配を配置し、授業や児童生徒への支援の充実を図ることで、教育の質の向上に繋がった。また、教員の負担軽減による働き方改革の推進の一助となったため。
スクールESDくさつ推進事業	学校教育課	○	市内全小中学校でスクールESDの取組を推進した。また、奈良教育大学と共催でのESDティーチャー養成講座により、25名のESDティーチャーを認定し、ESDに精通した教員による目的意識の高い指導が可能となったため。

■施策評価シート　　**3-01-①**

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
科学発表展覧会開催事業	学校教育課
英語教育推進事業	学校政策推進課
学力向上重点事業	学校政策推進課
教育委員会運営事業	教育総務課
教育委員会事務局運営事業	教育総務課
学びの教室開催事業	児童生徒支援課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
16	私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている	実数	3.6	3.7			
		偏差値	63.4	66.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

■施策評価シート　　3-01-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	学校教育
基本方針	こどもの生きる力を育む教育の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	3-01-②	施策名	豊かな心と健やかな体の育成	

施策の概要
豊かな心の育成に向けて人権教育を推進するとともに、特別の教科である道徳を要とし、教育活動全体を通じてこどもの道徳性を養います。また、生涯にわたって健康を保持増進し、運動やスポーツに親しめるよう、学校体育の充実を図り、保健教育と学校保健を推進します。

成果指標（単位）	「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合（%） 上段：小学6年生　下段：中学3年生				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	84.3	84.8	85.3	85.8
実績値	83.8	86.8			
目標値	（※基準値）	79.8	80.8	81.8	82.8
実績値	78.8	83.3			

成果指標実績に対するコメント
全国学力・学習状況調査で「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合は、前年度に比べ、小学6年生が3.0ポイント増加するとともに中学3年生は4.5 ポイント増加し、それぞれ目標値を上回った。授業や学校生活において、こどもたちの自己肯定感を高め豊かな心が育まれるよう、児童生徒一人一人に対してきめ細かな支援を行い、成功体験を感じさせる場面を大切にするよう取り組んできた成果が表れたものと考える。

施策の達成度評価
道徳科や人権に関する授業等において児童生徒が主体的に考え学び、また、教職員が関係機関と連携して、児童生徒が有する様々な課題に応じた支援を実施したことにより、児童生徒の人権意識や自己肯定感の向上を図ることができた。また、小中学校における体育推進事業においてスポーツに親しむ機会や部活動の充実を図ることにより、児童生徒の健やかな体の育成を図ることができた。
当該施策に関連する地域幸福度指標は、「No.16　私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている」「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」であり、偏差値が50を上回る結果となった。後者の指標に関連する取組として、教育集会所の維持管理が該当する。児童生徒が地域で学び、交流およびつながりを深めることができるよう快適な施設環境を維持することは、学び等の活動を一層推進するうえで、またウェルビーイングの観点からも重要であり、引き続き実施していく必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
学校、家庭、地域と連携して関係事業を実施することにより、人権意識や道徳性を養ってこれらを土台とした豊かな心を育むとともに、生涯にわたって健康を保持できる健やかな体を育成することができるよう取り組んでいく。また、児童生徒の自己肯定感の向上をめざしてこどもまんなかの理念に沿った学校づくりを推進していくために、教職員や児童生徒がこどもまんなかの理念について理解を深められるよう啓発に取り組んでいく。
小中学校における人権教育、学校保健、学校体育等に関する事業の実施を通じて児童生徒の心身の健全な育成を図り、日々の生活の基礎となる道徳性や社会性の醸成、健康の保持につなげることにより、ウェルビーングの向上につながるものと考えており、引き続き関係事業の実施に取り組んでいく。

■施策評価シート　　3-01-②

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
人権教育推進事業	児童生徒支援課	○	県から受託した「生きぬく力の礎育み事業」において、市内4中学校区において各校園所館・センターが連携し、困難な状況にあるこどもと家庭の支援に取り組むことにより、こどもの安心できる居場所づくりや自己肯定感・自己有用感の醸成を図ることができたため。
生徒指導推進事業	児童生徒支援課	○	いじめ問題に関する市の取組に対して、有識者や関係機関からの助言を聴くことにより、取組の見直しや充実につなげることができたため。また、学校に専門家を派遣し、こどもを取り巻く諸課題の早期解決を図ることができたため。
こども読書活動推進事業	学校教育課	○	全小中学校に学校司書を配置し、図書館環境の整備・充実、図書資料を活用した授業支援を行うことにより、学校図書館の活性化や児童生徒の読書活動を推進することができたため。
小学校体育推進事業	学校教育課	○	レッツエンジョイスポーツやなわとびチャレンジ事業を継続することにより、こどものスポーツに親しむ機会を充実させることができたため。また、プールが老朽化する老上小学校において、市立プールを活用した効果的な水泳学習を実施することができたため。
中学校体育推進事業	学校教育課	○	運動部活動指導員や支援員の配置により、中学校の部活動を充実させたことにより、こどもの体力と健全な心身の醸成を図ることができたため。また、令和6年度と比較し、「運動やスポーツが好き」と回答する生徒の割合が上昇したため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
学校保健推進養護教諭配置事業	学校教育課
学校環境衛生管理事業	学校教育課
学校災害賠償補償保険事務	学校教育課
学校保健推進事務事業	学校教育課
校医等配置事業	学校教育課
児童・生徒安全対策事業	学校教育課
児童・生徒等健康診断事業	学校教育課
就学時健康診断事業	学校教育課
体験実践活動推進事業	学校教育課
日本スポーツ振興センター負担金事務	学校教育課
中学校給食材料購入事業	第二学校給食センター
中学校給食管理運営事業	第二学校給食センター
小学校給食材料購入事業	学校給食センター
小学校給食管理運営事業	学校給食センター
中学校文化部活動推進事業	学校教育課
青少年美術展覧会開催事業	学校政策推進課
体験実践活動推進事業	学校政策推進課
高校生等人権教育活動事業	児童生徒支援課
同和教育指導推進事業	児童生徒支援課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
16	私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている	実数	3.6	3.7			
		偏差値	63.4	66.5			
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）									

■施策評価シート　　3-02-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	学校教育
基本方針	学校の教育力の向上		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	3-02-①	施策名	多様な教育ニーズへの対応	

施策の概要
多様なニーズを有するこどもへの支援等により、こどもたちの個別最適な学びの機会を確保し、すべてのこどもたちがそれぞれの多様性を認め合い、互いに高め合う協働的な学びの機会を確保します

成果指標（単位）	「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と答えた児童生徒の割合（%） 上段：小学6年生　下段：中学3年生				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	68.9	69.4	69.9	70.4
実績値	68.4	69.6			
目標値	（※基準値）	67.6	68.1	68.6	69.1
実績値	67.1	75.4			

成果指標実績に対するコメント
全国学力・学習状況調査で「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と答えた児童生徒の割合は、前年度に比べ、小学6年生が1.2ポイント増加するとともに中学3年生が8.3ポイント増加し、それぞれ目標値を上回った。児童生徒の教育上の多様なニーズに応じたきめ細かな支援を実施することができるよう、支援体制の充実に取り組んできた成果が表れたものと考える。

施策の達成度評価
児童生徒の障害等による教育上の課題に応じた指導や支援の実施、外国人児童生徒が日本語での学習やコミュニケーションを図るうえでの通訳・翻訳等の支援、および不登校等の悩みや不安を抱える児童生徒の居場所づくりや社会的自立を図るための支援を総合的に推進したことにより、多様なニーズに適切に対応するとともに、学びの機会の確保につなげることができた。
当該施策に関連する地域幸福度指標は、「No.16　私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている」であり、偏差値が60を上回る結果となった。ウェルビーイングの観点からも、児童生徒が安心して学校生活を送ることができる環境を確保することが重要であり、引き続き、児童生徒の教育上のニーズに応じたきめ細かな支援を実施していく必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
学校、家庭等の関係機関と連携して児童生徒の教育上のニーズを的確に把握するとともに、ニーズに応じた支援を適切に実施することができるよう関係事業の実施に取り組んでいく。ニーズの把握については、児童生徒のSOSを積極的にキャッチできるよう、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーによる学校巡回や相談支援を随時実施する。これらの取組を通じて、児童生徒がともに学ぶなかで多様性を認め合い、互いを高め合う協働的な学びの機会の確保につなげていく。
小中学校における教育上の適切な支援を通じて、児童生徒が安心して学び、学校生活を送ることができる環境の確保を図ることにより、ウェルビーイングの向上に資するものと考えており、引き続き関係事業の実施に取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
特別支援教育運営事業	児童生徒支援課	○	学校への巡回相談員派遣や通級指導教室に関する業務を行うことにより、個々の教育上のニーズに応じた支援を適切に実施することができたため。
外国人児童生徒教育支援事業	児童生徒支援課	○	外国人児童生徒等への通訳者の派遣や翻訳などの支援、義務教育修了後の進路を見据えた進路説明会や日本の学校説明会を行うことにより、対象となる児童生徒や保護者の疑問や不安の解消を図ることができたため。
やまびこ教育相談室運営事業	教育研究所	○	不登校等の悩みや不安を抱える児童生徒に対して相談対応や体験活動等による支援を実施することにより、児童生徒の自立支援や個別最適な学びの機会の提供をすることができたため。 また、野路教室を南草津駅近傍に開室して3拠点体制としたことにより、自宅からの距離を理由とした通室の難しさの解消を図るとともに、通室希望者の増加に対応できる環境を整備することができたため。

■施策評価シート　　3-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
医療的ケア支援員配置事業	児童生徒支援課
インクルーシブサポーター配置事業	児童生徒支援課
児童就学援助費	学校教育課
小学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課
生徒就学援助費	学校教育課
中学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課
教育支援委員会運営事務	児童生徒支援課
ことばの教室運営事業	児童生徒支援課
フリースクール利用支援事業	児童生徒支援課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
16	私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている	実数	3.6	3.7			
		偏差値	63.4	66.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

■施策評価シート　　3-02-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	学校教育
基本方針	学校の教育力の向上		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	3-02-②	施策名	教職員の指導力と学校経営の充実	

施策の概要

学校における働き方改革を推進し、こどもと教職員のウェルビーイングの向上を図ります。また、各種研修講座の開催等により、教職員の指導力の向上を図るとともに、スクールソーシャルワーカーの配置等によりチーム学校の体制充実を図ります。さらに、コミュニティ・スクールを推進し、地域と連携した学校経営の充実を図ります。

成果指標（単位）	「コミュニティ・スクールくさつの推進を通して学校運営の充実を図るとともに、保護者や地域への積極的な情報発信ができている（1（低）～5（高）の5段階評価）」の平均値				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	4.4	4.4	4.4	4.5
実績値	4.2	4.1			

成果指標実績に対するコメント

令和7年度の実績値は目標値に到達しなかったものの、達成している学校も一定あり、コミュニティ・スクールくさつを通じて地域やこどもの実態を共有し、熟議につなげることで、学校運営の充実や保護者・地域との連携を着実に進めることができた。目標達成に向けては、コミュニティ・スクールくさつの取組に対する学校の理解促進と、保護者および地域への効果的な情報発信について、さらなる検討が必要である。

施策の達成度評価

学校問題サポートチーム運営やスクールサポートスタッフ配置等、校内外の人材を活かした連携を通じて、多様化・複雑化する困難等に対応する”チーム学校”の指導体制充実を図るとともに、教職員の負担軽減に向けた組織体制の強化により、働き方改革を推進することができた。また、学習指導力向上や学校現場の課題への対応力向上のため、教職員向けの研修実施等により、教職員の資質向上や各校での体制づくりの支援を進めることができた。

地域幸福度（Well-Being）指標における「No.16　私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている」という市民意識は、コミュニティ・スクール推進による学校運営の透明化や地域連携の深化と密接に関連している。コミュニティ・スクールくさつを通じた学校と地域の協働をさらに促進し、地域全体で学校を支える体制を強化することが、地域住民が実感する教育環境の満足度向上、ひいては地域幸福度指標の改善に繋がるものである。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

”チーム学校”の体制づくりを継続し、効果的に連携を深めるとともに、教職員の指導力向上および対応力強化のため、課題を捉えた研修の充実を図る。保護者や地域、関係機関と連携し、教職員の働き方改革を含むさまざまな課題に対して組織的かつ継続的に対応できる学校経営を推進するため、保護者や地域への情報発信やPDCAサイクルにより、コミュニティ・スクールの充実、強化を図る。

地域幸福度（Well-Being）指標「No.16　私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている」の向上に寄与するため、令和9年度においては、以下の取り組みを推進する。
コミュニティ・スクールを通じた学校と地域の連携をさらに強化し、地域住民が学校教育に主体的に参画できる機会を拡充する。また、学校運営の透明性を高め、保護者や地域住民が学校の取り組みを深く理解し、教育環境に対する信頼感や安心感を醸成する活動を強化する。質の高い教育環境を提供するため、教職員の指導力向上とウェルビーイングの向上施策を一層推進し、学校に対する満足度を高めることで、地域全体の教育環境の質向上を図る。

■施策評価シート　　3-02-②

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
コミュニティ・スクールくさつ推進事業	学校政策推進課	○	全小中学校にコミュニティ・スクールを導入し、協議において熟議を重ねる意識を高めながら、学校・保護者・地域が継続的に関わる協働体制の構築を図り、スクールESDくさつの推進に向けても、各校が工夫し、地域と連携した取組を進められたため。
スクール・サポート・スタッフ配置事業	学校教育課	○	市内全小中学校に1名以上のスクール・サポート・スタッフを配置し、採点業務や児童生徒の支援の充実を図ることで、教員の負担を軽減し、学校の働き方改革の推進の一助となったため。
教職員研修事業	学校教育課	○	経験年数に応じた研修会や各教科等部会での授業研究会、講演会、ESDマネジメント会議などを行い、教職員の実践力を高め、人材育成を行ったため。
学校問題サポートチーム運営事業	教育研究所	○	学校だけでの解決が困難な事案への対応にあたり、弁護士や社会福祉士からの助言を得ることにより、最適な対応を実施して問題の早期解決や深刻化の防止を図ることができたため。
講座開設事業	教育研究所	○	学校教育に関する幅広いテーマを取り入れて研修講座を実施することにより、教員が知識やスキルを習得して専門性や指導力を高めることができたため。
スキルアップアドバイザー配置事業	教育研究所	○	教員の授業づくりやICT活用に関する個別指導および相談対応による支援を行うことにより、教員が授業力やICT活用力に関する知識やスキルを習得して能力を向上させることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
教育研究所指導員配置事業	教育研究所
教育研究所運営事務	教育研究所
教育調査研究事業	教育研究所
中学校生徒指導主事活動推進事業	児童生徒支援課
教室アシスタント配置事業	児童生徒支援課
学校運営支援事業	教育研究所
学事管理事務	学校教育課
学校運営支援事業	学校教育課
学校基本調査事務	学校教育課
学生ボランティア派遣事業	学校教育課
学校運営支援事業	学校政策推進課
学校支援対策充実事業	児童生徒支援課
児童生徒支援事務	児童生徒支援課
学校問題相談支援事業	児童生徒支援課
教職員管理事務	学校教育課
スクール・サポート・スタッフ配置事業	児童生徒支援課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
16	私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている	実数	3.6	3.5			
		偏差値	63.4	66.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）									

■施策評価シート　　3-02-③

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	学校教育
基本方針	学校の教育力の向上		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	3-02-③	施策名	教育環境の充実	

施策の概要
老朽化が進む小中学校の施設・設備の計画的な長寿命化等の改修・更新を図るとともに、非構造部材の耐震対策を含めた点検・修繕等の維持管理に努めます。また、1人1台端末の効果的な活用を図るとともに、校務DXを推進し、学校内における業務効率を向上させます。

成果指標（単位）	非構造部材の耐震化実施校率（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	75	80	80	85
実績値	75	75			

成果指標実績に対するコメント
矢倉小学校の非構造部材の耐震対策工事を計画どおり実施したことにより、目標値を達成することができた。なお、当該成果指標については、2か年（令和7年度と令和8年度）に分けて工事を実施するため、令和6年度の実績値と同値としている。

施策の達成度評価
小中学校大規模改修事業等を実施した結果、小中学校施設・設備の計画的な改修・更新を図ることができた。また、非構造部材の耐震対策工事を実施した結果、学校施設の安全性を高めることができた。さらに、全小中学校で1人1台端末の更新により学習環境の向上を図るとともに、クラウド活用を推進するため、学習系・校務系ネットワークの統合、校務用端末と指導者用端末の統合、校務支援システムの更新を一体的に実施した結果、職員室に限定されずに教職員がどこでも校務ができるロケーションフリー化等が進み、校務DXを推進することができた。 引き続き、学校施設の改修や非構造部材の耐震化、ICT環境整備および利活用推進等に取り組み、教育力向上につながる環境整備の充実を図っていく。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「№16 私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている」「№17 私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある」「№19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」があり、№16と№17は偏差値60を、№19についても偏差値57を上回る結果であった。 本市は、これまでからもハード・ソフトの両面から教育環境の充実に向けた取組を進めているところであり、こうした偏差値が高い水準であったこと踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、校舎の改修や耐震化等の施設整備、必要なICT環境整備に取り組んでいく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、国の交付金を活用しながら、校舎の改修や非構造部材の耐震化、ICT環境整備および利活用推進等に取り組み、教育力向上につながる環境整備の充実を図る。
教育環境の充実を図ることは、「№16 私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている」「№17 私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある」「№19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも寄与する取組であることから、こうした指標が高い水準であった現状を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも小中学校大規模改修事業や学校ICT推進事業等を実施していく。

■施策評価シート　　3-02-③

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
小学校大規模改修事業	教育総務課	○	長寿命化改良事業に係る予防改修工事や耐力度調査、実施設計業務に加え、トイレ改修工事等を計画どおり実施することができたため。
中学校大規模改修事業	教育総務課	○	トイレ改修工事やグラウンド改修工事を計画どおり実施することができたため。
学校ICT推進事業	学校政策推進課	○	１人１台端末の更新整備を完了するとともに、AI型ドリルの更新に向け、公募型プロポーザルによる選定を実施することができたため。また、クラウド活用推進のため、学習系と校務系のネットワーク統合を実現する教育ネットワーク更新を実施することができたため。
校務情報化推進事業	学校政策推進課	○	クラウド上での校務実施を前提とした校務DX実現のため、校務用端末、校務支援システムを更新し、職員室以外でも校務ができるロケーションフリー化を進めることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
児童通学支援事業	児童生徒支援課
小学校管理運営事業	教育総務課
小学校教育教材整備事業	教育総務課
小学校施設維持管理事業	教育総務課
中学校管理運営事業	教育総務課
中学校教育教材整備事業	教育総務課
中学校施設維持管理事業	教育総務課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
16	私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている	実数	3.6	3.7			
		偏差値	63.4	66.5			
17	私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある	実数	3.7	3.7			
		偏差値	60.6	62.3			
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	28	29							

4.生涯学習・スポーツに関する施策

■施策評価シート　　4-01-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	生涯学習・スポーツ
基本方針	生涯学習の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	4-01-①	施策名	家庭・地域での学びの充実	

施策の概要
学校等の学習活動を地域の大人が支えるとともに、地域人材等による学校教育および家庭教育の支援を進め、こどもと大人がともに学び育つまちづくりを推進します。 また、自ら考え、行動できる人材の育成に取り組むことを通し、地域の担い手づくり、持続可能な地域づくりを目指します。

成果指標（単位）	地域と学校、家庭が協働し、地域の特色を生かして、子どもと大人がともに学びを進める「地域協働合校」の推進に満足している市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	19.9	20.6	21.3	22
実績値	19.2	19.4			

成果指標実績に対するコメント
市内の14小学校および6中学校全てにおいて、学校・家庭・地域が連携して地域協働合校を実施しており、こどもと大人が学び合い、共に育つ地域学習社会づくりを推進している。成果指標については目標値に達していないものの、前年度に比べ0.2ポイント増加しており、全小中学校において地域課題解決型の事業展開を進めたこと、地域においてこどもが主体となって自分の意見を実践につなげる事業展開の検討・モデル事業を実施したことで、自ら考え行動できるこどもの育成に一定の成果が見られたと考えられる。

施策の達成度評価
地域協働合校では、学校・地域・家庭が協働して地域の人材や資源を積極的に活用し、こどもと大人が多種多様な活動を実施しており、様々な経験や知識を持った地域の大人との交流を通じて、こどもの豊かな心の成長や大人自身のやりがいに繋げることができた。また、学校や地域においてこどもの視点に立った地域課題解決型の取組を進めることにより、地域社会の創り手の育成につながった。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.33　私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである」は偏差値74.7、「No.47　私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある」は偏差値55.5という結果であった。「No.33　私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである」の偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、地域協働合校への市民参加が盛んになるよう、事業の検討を行いたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
市内全小中学校に配置している地域コーディネーターを活用することで、新たな地域の教育資源や人材を活かし、様々な地域課題の解決にこどもたちが主体的にかかわることで、地域社会の一員としての意識と行動力を身に着けることを目指した取組を実施する。また、学校や地域においてこどもと大人が共に学びあうことを通して、自ら考え、行動できる人材の育成に取り組むことで、地域で学びつながりの向上を図り、地域の担い手づくりや持続可能な地域づくりを目指す。
「No.47　私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある」の指標が「No.33　私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである」の指標より低い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、地域協働合校の取組以外にも、家庭教育推進事業などの実施により地域においても学びたいことを学べる機会を提供していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
地域協働合校推進事業	生涯学習課	○	市内全小中学校で学校と地域の連携による地域課題解決型の体験学習の事業を実施することで、こどもと大人がともに学び、こどもの意見を実践につなげ、自ら考え行動できる人材の育成に取り組むことができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
地域ぐるみの学校安全推進事業	学校教育課
通学路対策事業	学校教育課
家庭教育推進事業	生涯学習課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　4-01-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
33	私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである	実数	3.2	3.2			
		偏差値	73.5	74.7			
47	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	実数	3.1	3.1			
		偏差値	57.6	55.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

■施策評価シート　　4-01-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	生涯学習・スポーツ
基本方針	生涯学習の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	4-01-②	施策名	生涯学習機会の充実	

施策の概要
大学等と連携した幅広い学習機会の提供や、学習ボランティアの育成・活用による学びの還元を図ることで、誰もが生涯にわたって学び、活躍できる環境づくりを進めます。 また、全世代・全市域における読書活動を推進するとともに、多種多様な図書資料の収集・提供を基盤とした図書館サービスの充実に努め、新たな利用者の拡大を行うことで、読書のまちづくりを推進します。

成果指標（単位）	「生涯学習の推進」に満足している市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	25.0	25.9	26.8	27.7
実績値	24.1	24.0			

成果指標実績に対するコメント
立命館大学との共催による「立命館×草津市びわこ講座」等により、市民の学習意欲の喚起・学習機会を確保し、図書館においては、読書機会の充実に引き続き努め、就学前施設への巡回配本や移動図書館車での小学校への巡回等、読書のまち推進事業を進めた結果、成果指標実績値の維持に繋がった。 一方、市民の価値観の多様化により講座内容のニーズも変容してきているものと考えられる。

施策の達成度評価
「立命館×草津市びわこ講座」では、対面講座形式とオンデマンド配信を行い、市民の学習機会の確保に努めたほか、令和7年度は「リカレントコース」と「教養コース」の2コース制とし、講座数を増やすことで幅広いカテゴリーの講義を実施した結果、現役世代の受講者が倍増する等、一定の効果が見られた。また、絵本の交換会やサテライト機能の推進等の読書のまち推進事業を継続して実施し、より多くの市民が本と出合う機会を創出したほか、全年齢、全市域での図書館サービスの充実に努めた結果、読書機会の創出に繋がった。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、偏差値が高い順に「N0.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No47 私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある」があり、いずれも偏差値が55を上回る結果であった。 本市は、立命館大学と連携し、大学の知的資源を地域の生涯学習支援に生かし、リカレント教育の機会も提供しているほか、読書のまち推進事業として市民のニーズに即した事業を行っている。こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの視点からも、引き続き市民の講座の受講意欲や読書活動・図書館の利用意欲を喚起できるような取組の検討を行いたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
「立命館×草津市びわこ講座」については、受講者アンケートの結果等に基づき、学習意欲を喚起する魅力的な講座タイトルを設け、実施する。また、学習ボランティア活動については、引き続き「ゆうゆうびとバンク」の発行等により情報提供を図るほか、中間支援組織等との連携により、ボランティア団体の活動機会の創出を行い、その活用につなげるなど、広く学習機会の提供を行う。また「草津市読書のまち推進計画」に基づき、さらなる読書機会の充実を図るために、図書館の新規利用者の拡大を目指すとともに、全年齢、全市域での読書機会の充実を図る。
図書館サービスや「立命館×草津市びわこ講座」は、市民の知識を豊かにしているだけでなく、図書館の利用や講座の受講を通じて「N0.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No47 私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある」にかかるウェルビーイングの向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き生涯学習機会の充実に努めるため、市民のニーズに即した読書のまち推進事業や「立命館×草津市びわこ講座」等の事業を実施していく。

■施策評価シート　　4-01-②

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
社会教育推進事業	生涯学習課	○	立命館大学との共催により「立命館×草津市びわこ講座」を実施し、2コース制で幅広い内容の講座を実施することで、新たな受講者の獲得ができ、より多くの市民へ学習機会を提供することができたため。また、社会教育委員会議においては、地域でこどもが自ら意見を出し、多世代が関わり合うことで持続可能な地域づくりを目指す課題解決型の取組について検討することができたため。
学習ボランティア推進事業	生涯学習課	○	学習ボランティア人材バンク冊子「ゆうゆうびとバンク」の発行やバンク登録者の活動の場の提供支援・バンクや登録者について紹介するバンク紹介動画により、学習ボランティア活動の推進を図ることができたため。
草津市読書のまち推進事業	生涯学習課	○	絵本の交換会や図書館のサテライト機能の推進等の実施により、幼少期に多くの本と出合う機会を増やすことや、市域において読書に親しむ層を広げることができたため。
図書館運営事業	図書館	○	読書のまち推進事業を継続して実施し、市の全域での図書館サービスを実施するとともに、今まで図書館を利用したことがない人にも来館のきっかけとなるように乳幼児から高齢者まで、全世代別に工夫したイベントを実施するなど、図書館利用の促進を図ることができたため。
南草津図書館運営事業	南草津図書館	○	

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
図書館施設管理事業	図書館
三ツ池計画予定地管理事業	生涯学習課
南草津図書館施設管理事業	南草津図書館

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
47	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	実数	3.1	3.1			
		偏差値	57.6	55.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	32	111	112						

■施策評価シート　　4-02-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	生涯学習・スポーツ
基本方針	スポーツの充実		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	4-02-①	施策名	スポーツ活動の推進	

施策の概要
生涯スポーツや競技スポーツ、健康づくりなど、多様な市民のスポーツ活動を推進するため、スポーツ協会・体育振興会・総合型地域スポーツクラブ・スポーツ推進委員・大学・企業等との連携を図り、協働によるスポーツ推進体制を強化することで、各種事業を効率的・効果的に取り組みます。

成果指標（単位）	20歳以上の人の週1回30分以上のスポーツ実施率（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	65	66	67	68
実績値	58.1	56.4			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、20歳以上の人の週1回30分以上のスポーツ実施率の割合は、前年度に比べて1.7ポイント減少した。国スポ・障スポの開催もあり、市内の運動・スポーツに対する気運は高まったといえるが、実施率としては上昇しなかったため、幅広い層に向けて、より身近に運動・スポーツに親しむ機会の創出に取り組む必要があると考える。

施策の達成度評価
スポーツ関係団体との連携により、市民がスポーツに親しむことができるよう、各種イベントや教室等を開催することで、運動・スポーツに親しむ機会や環境を提供することができた。一方で目標値には届いていないことから、さらに市民が積極的に運動・スポーツに取り組むことができるよう、各種事業の周知啓発に取り組む必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」であり、令和6年度から令和7年度にかけての上昇幅は2.7ポイントであった。また、当該指標の実数についても0.1ポイント上昇している。 令和7年度は、国スポ・障スポの開催や各種イベントや教室等による「スポーツ活動の推進」の施策を推進しており、こうした上昇傾向を踏まえ、ウェルビーイングの観点からもスポーツ実施率の向上に向けた取組の検討を行いたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
市民が積極的に運動・スポーツに取り組むことができるよう、第3期草津市スポーツ推進計画に掲げる施策を推進しながら、各種スポーツイベントや教室等、市民が運動・スポーツに関わることのできる機会の充実を図る。
スポーツ実施率の向上に向けた取り組みは、スポーツ活動の推進を図るだけでなく、「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続きウェルビーイング向上の観点からも、各種スポーツイベントや教室等、市民がスポーツに関わることのできる機会の充実を図り、スポーツ活動を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
市民スポーツ大会開催費補助事業	スポーツ推進課	○	市民スポーツ大会の開催を通じて、市民が競技スポーツに取り組み、また応援する機会を設けることで期待どおりの成果を得ることができたため。
県民スポーツ大会等出場支援補助事業	スポーツ推進課	○	県民スポーツ大会出場に対する支援を行うことで、市民の競技力向上につながり、県内4位を獲得し、期待どおりの成果を得ることができたため。
学校体育施設開放推進事業	スポーツ推進課	○	適切な維持管理を行い、市民が身近にスポーツに取り組むことのできる環境を提供し、期待どおりの成果を得ることができたため。
国スポ・障スポ開催事業	スポーツ推進課	○	第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会を開催し、「する」、「みる」、「支える」、「知る」といったスポーツに対する多様な関わり方を創出したことで、まちの活性化につなげ、期待どおりの成果を得ることができたため。

■施策評価シート　　4-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
駅伝競走大会開催費補助金事務	スポーツ推進課
スポーツ協会事業費補助金事務	スポーツ推進課
スポーツ少年団育成事業	スポーツ推進課
スポーツ推進委員活動推進事業	スポーツ推進課
スポーツ推進計画事業	スポーツ推進課
スポーツ推進審議会運営事業	スポーツ推進課
総合型地域スポーツクラブ補助事業	スポーツ推進課
チャレンジスポーツデー開催費補助金事務	スポーツ推進課
各種スポーツ団体活動支援事業	スポーツ推進課
各種大会出場者激励事業	スポーツ推進課
各種大会負担金事務	スポーツ推進課
各種大会補助金事務	スポーツ推進課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	31								

■施策評価シート　　4-02-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	生涯学習・スポーツ
基本方針	スポーツの充実		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	4-02-②	施策名	スポーツ環境の充実	

施策の概要

社会体育施設等の計画的な整備や適正な維持管理を行い、誰もが快適にスポーツを楽しむことができる環境を整えます。また、指導者の育成やボランティア機会の充実を図り、スポーツを支える人材を育成することで、市民がスポーツに親しみやすい環境づくりに取り組みます。

成果指標（単位）	社会体育施設利用者満足度（ポイント）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	3.72	3.81	3.9	4.0
実績値	3.63	3.78			

成果指標実績に対するコメント

令和7年度の社会体育施設利用者満足度の全体平均は、令和6年度から0.15ポイント上昇し、目標値を上回ることができた。引き続き、指定管理者と連携し利用者の満足度向上に取り組む必要がある。

施策の達成度評価

施設の適切な維持管理を行うことで、スポーツ教室や講習会、スポーツ大会等を開催し、市民が運動・スポーツに親しむ環境を提供することができた。引き続き、指定管理者と連携し、利用者満足度の向上に取り組む必要がある。

令和6年度から令和7年度にかけて、最も偏差値が上昇した当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being)指標は「No.13　私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある」であり、上昇幅は4.3ポイントであった。また、当該指標の実数についても0.2ポイント上昇している。
令和7年度は、老朽化が進む施設がある中、計画的な改修や維持管理に取り組むなど、「スポーツ環境の充実」の施策を推進してきており、こうした上昇傾向を踏まえ、ウェルビーイングの観点からもさらに利用者満足度の向上に繋がる取組を推進する。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

老朽化が進む施設もあるが、利用者が快適に運動・スポーツを行うことができる環境を確保できるよう、計画的に整備・改修等を実施するとともに、引き続き、指定管理者と連携し、利用者の満足度向上に取り組む。

利用者満足度の向上に繋がる取組は、スポーツの充実を図るだけでなく、「No.13　私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある」や「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続きウェルビーイング向上の観点からも、施設の計画的な改修や維持管理をはじめ、利用者満足度の向上に繋がる取組を推進する。

■施策評価シート　　4-02-②

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
社会体育施設管理運営事業	スポーツ推進課	○	各社会体育施設の計画的な修繕や、適正な日常の維持管理・運営を行うことで安全に運営することができ、期待どおりの成果を得ることができたため。
草津市立プール運営事業	スポーツ推進課	○	適正な日常の維持管理・運営を行うことで安全に運営することができ、大規模大会の誘致やアスリートの育成にも寄与し、期待どおりの成果を得ることができたため。
弾正公園運営事業	スポーツ推進課	○	適正な日常の維持管理・運営を行うことで安全に運営することができ、期待どおりの成果を得ることができたため。
弾正公園運営事業	公園緑地課		
野村公園運営事業	スポーツ推進課	○	適正な日常の維持管理・運営を行うことで安全に運営し、プロスポーツの誘致やにぎわい創出にも取り組んだ結果、期待どおりの成果を得ることができたため。
（仮称）新志津運動公園整備事業	公園緑地課	○	滋賀県自然環境保全条例第23条に基づく、自然環境保全協定の締結に向け、自然環境影響評価調査業務に着手するなど、期待どおりの成果があったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
13	私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	実数	2.8	3.0			
		偏差値	54.3	58.6			
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	20	31							

5.歴史・文化に関する施策

■施策評価シート　　5-01-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	歴史・文化
基本方針	文化財の保存と活用		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	5-01-①	施策名	文化財の保存の推進	

施策の概要
貴重な歴史資産を次世代へ守り伝えるため、文化財調査を推進するとともに、国指定史跡の保存整備や文化財指定の推進、伝承者への支援など、積極的に保存・継承を進めます。

成果指標（単位）	文化財指定件数（件）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	95	95	96	96
実績値	94	96			

成果指標実績に対するコメント
令和7年度には有形文化財（彫刻2件）について市の指定文化財を追加することができ、市にとって新たに貴重な歴史資産を守り・活用し、次世代へと継承する基盤とすることができた。今後も継続して、市内の歴史資産の実態を解明し、その成果の公開と活用を進めていく。

施策の達成度評価
発掘調査の需要は多いものの、滞りなく調査事業を実施し、遺跡の実態を適正に記録保存することができた。また、本市を代表する歴史資産である史跡草津宿本陣と史跡芦浦観音寺跡の整備を計画的に進捗できた。このほか、所有者や保存会等が行う指定文化財の日常管理や修理・民俗文化財継承のための保護助成などを通し、文化財の保存のための取り組みを推進することができた。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標「No.46　将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」の偏差値は80.0と数値が高く、「次世代を担うこども・若者へ、より良き環境・文化を残していきたい」との市民意識が高いことを示している。このことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、本施策「文化財の保存と活用」の目的は、大きく重なり合う因子要素であることから、今後も、市民にとって大切な歴史資産を後世へと引き継げる事業の展開を図っていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
史跡整備については、関係者と調整を図りながら、計画的に実施していく必要がある。また、今後も市内一円の開発事業等に伴う発掘調査の需要は続くことが想定され、適正な調査事業を継続していくよう努める。貴重な文化財を次世代に守り伝えていくため、文化財の指定や所有者等への支援についても、これまで同様、関係機関と連携しながら取り組んでいく。
令和9年度の取組は、高い水準にある地域幸福度（Well-Being）指標「No.46　将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」の偏差値・実数値が上昇につながるよう、市民（個人・各種団体・地域など）が、自らの身近にある「歴史的資産」の魅力やその大切さを感じられるよう「文化財の保存と活用に係る事業（調査・史跡整備・保護助成事業など）」の事業を実践していく。

■施策評価シート　　5-01-①

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
埋蔵文化財発掘調査事業	歴史文化財課	○	試掘、本発掘調査ともに計画どおり実施した結果、遺跡の実態を適切に記録保存することができたため。
宅地開発等関連遺跡発掘調査事業	歴史文化財課	○	開発等に伴う発掘調査や整理業務を計画どおり進めた結果、遺跡の実態を適切に記録保存することができたため。
史跡草津宿本陣整備事業	歴史文化財課	○	「史跡草津宿本陣整備基本計画」に基づき「保存整備事業」について、予算および事業計画どおり,事業を実施した結果、史跡整備の進捗を図ることができたため。
史跡芦浦観音寺跡整備事業	歴史文化財課	○	「史跡芦浦観音寺跡整備基本計画」に基づき「保存整備事業」について予算および事業計画どおりの事業を実施した結果、史跡整備の進捗を図ることができたため。
文化財保護助成事業	歴史文化財課	○	指定文化財の所有者・保存会に対し適正に保護助成を行った結果、文化財の保存管理、育成、活用を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
文化財保護推進事業	歴史文化財課
未指定文化財調査事業	歴史文化財課
史跡野路小野山製鉄遺跡整備事業	歴史文化財課
文化財保護審議会運営事業	歴史文化財課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
46	将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	実数	4.1	4.1			
		偏差値	80.0	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）									

■施策評価シート　　5-01-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	歴史・文化
基本方針	文化財の保存と活用		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	5-01-②	施策名	歴史文化の活用の推進	

施策の概要

文化財を生かしたまちづくりを推進し、市民のふるさと意識を高めるため、「草津市文化財保存活用地域計画」に基づき、史跡や民俗芸能、歴史的建造物など地域で育まれた豊かな歴史文化の価値や魅力を積極的に発信するとともに、地域の歴史文化に触れ、親しんでもらえる機会を創出します。

成果指標（単位）	文化財の保存・活用啓発活動の定員に対する応募者数（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	88.6	92.4	96.2	100
実績値	84.8	89.3			

成果指標実績に対するコメント

令和7年度の成果指標の実績値が目標値を超えて89.3%に達することが出来た。これは発掘調査成果の現地見学会や史跡草津宿本陣の魅力を活かした衣装体験やフォトレッスンなどのイベントを開催した事などが影響している。一方で、他の多くの事業についても、当初の見込み通りの応募者数で推移しており、本市の文化財の啓発事業に多くの市民の関心があったものと考える。

施策の達成度評価

史跡草津宿本陣は令和6年度に耐震工事を行ったため10ヶ月にわたり休館したが、令和7年4月から一般公開を再開し、加えて「歴史文化活用プロジェクトチーム提案」に基づいた新たな事業を実施することができた。「草津市文化財保存活用地域計画」に基づく多様な普及啓発事業についても、年間を通じ継続的に実施できたため、市民の歴史・文化への関心度が高まった。また、「(仮称)草津市歴史資料館整備基本計画」の策定や資料館の用地取得に向けた取り組みなど、着実に事業を進めることができた。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標「No.46　将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」の偏差値は80.0と数値が高く、次世代を担うこども・若者へ、より良き環境・文化を残していきたいといった市民意識の高さを示し、ウェルビーイングの観点からも、本施策「歴史文化の活用の推進」の目的は大きく重なり合う因子であることから、今後も引き続き、市民にとって大切な歴史資産を後世へ引き継げる事業展開を図りたい。また、「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」の偏差値・実数は平均的数値を示し、前年度比較において数値が上昇しており、「史跡草津宿本陣」「草津宿街道交流館」が誰にとっても親しみやすく、楽しめる学習の場として利用される事業運営を図りたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

文化財を活かしたまちづくり意識や市民のふるさと意識の向上を図る動機付け事業となりうる「草津市の歴史・文化や身近な文化財」について、その魅力を地域・学校・関連団体等と連携しながら、発信・学習できる普及啓発事業の企画・実践を図りたい。また、「(仮称)草津市歴史資料館」の整備に向けて、策定中の「整備基本計画」に基づき設計等の事業の進捗を図りたい。

令和9年度の取組は、高い水準にある地域幸福度(Well-Being)指標「No.46　将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」の偏差値・実数値が維持または上昇つながるよう、市民が身近にある「歴史的資産」の魅力と大切を感じられる「文化財普及啓発事業」を実施する。また、「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」の偏差値・実数値の向上を図るため、市民が歴史文化について親しみを持ち、深く理解・学習する場であることを念頭に、(仮称)歴史資料館整備事業を推進するとともに、「史跡草津宿本陣」・「草津宿街道交流館」の管理運営事業の充実を図る。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
文化財普及啓発事業	歴史文化財課	○	イベントや講座・ワークショップの開催など文化財に関する普及啓発事業に務めた結果、文化財の活用を図ることができた。
(仮称)歴史資料館整備事業	歴史文化財課	○	「(仮称)草津市歴史資料館整備基本計画」の策定を進めた結果、(仮称)草津市歴史資料館の開設に向けた取り組みを推進することができた。
史跡草津宿本陣管理事業	草津宿街道交流館	○	歴史文化活用プロジェクトで提案のあった「こども本陣クラブ(ほんじん博士に改称)」、「マイクラ本陣」などの各種事業を関係団体と連携し実施した結果、来館者の増加につなげることができた。
草津宿街道交流館運営事業	草津宿街道交流館	○	SNS等のメディアを活用し交流館事業等の情報発信件数を前年より増加させた結果、来館者の増加につなげることができた。

■施策評価シート　　5-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
46	将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	実数	4.1	4.1			
		偏差値	80.0	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	33								

■施策評価シート　　5-02-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	歴史・文化
基本方針	文化・芸術の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	5-02-①	施策名	文化・芸術活動の推進	

施策の概要
文化振興条例および計画に基づいて、多様な主体と連携し、地域の文化的資産を活用しながら各文化振興施策を展開し、市民の日々の創作活動の奨励と様々な発表・展示・鑑賞の機会と場の提供によって、より一層の文化・芸術の振興を図ります。 また、文化施設の適切な維持管理と活用を行います。

成果指標（単位）	文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	26.5	27	28	28.7
実績値	26.3	26.7			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合は前年度に比べ、0.4%増加し目標値を達成することができた。草津市美術展覧会やアートフェスタくさつの実施に加えて、新たに初心者向けの文化・芸術の連続講座を実施し、文化芸術に触れる機会を増やすなど、文化芸術の振興に向けた取組が市民の評価に表れたものと考える。

施策の達成度評価
草津市美術展覧会、アートフェスタくさつ、文化芸術担い手育成事業、草津キッズシネマ塾など、多様な事業を展開した結果、市民の文化・芸術の振興に一定の効果が見られた。今後、これらの事業がより効果的なものとなるよう、地元との連携をより強化した取組、地域の魅力の再発見につながるような取組を展開するなど、さらに工夫を凝らした事業を実施していく。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.45　暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい」があり、いずれも偏差値は50を上回る結果であった。 本市では美術展覧会や文化芸術担い手育成事業などの事業を実施することにより、文化芸術の創作・発表の場や、体験の場を提供しており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの向上の観点からも、引き続き、文化・芸術活動の発表と文化を通じた出会いや交流の場の提供に取り組んでいく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
これまでの事業を円滑に実施するとともに、誰でも気軽に楽しくアートを体感できる講座の地元での展開、文化施設の適切な維持管理を行うことなどにより、文化・芸術活動の体験の場、文化・芸術活動の発表と文化を通じた出会いや交流の場を拡充させ、さらなる市民の文化・芸術の振興を図る。
文化・芸術の創作・発表の場や、体験の場を提供する取組は、「No.45　暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい」といったいった指標にかかるウェルビーイング向上にも資すると考えている。 また、文化施設の適切な維持管理の取組は、「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資すると考えている。 これらの指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの向上の観点からも、引き続き、文化振興施策の推進と文化施設の適切な維持管理に取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
市美術展覧会開催事業	生涯学習課	○	市民に作品発表・芸術鑑賞の機会を提供するとともに、新たに実行委員によるワークショップの実施を通じて、芸術体験の場を提供することできたため。
市民文化芸術活動支援事業	生涯学習課	○	アートフェスタくさつや草津キッズシネマ塾などに加え、新たに文化芸術担い手育成事業等の事業実施により、文化芸術に触れる機会を充実させることができたため。
俳句のまちづくり事業	生涯学習課	○	青少年俳句大会、ふるさと草津俳句会、宗鑑忌俳句大会、俳句入門講座の開催により、市民が俳句に親しむ多くの機会を提供できたため。
文化ホール管理運営事業	生涯学習課	○	文化活動の拠点施設として、計画的な修繕の実施など、適切な施設管理を行うとともに、令和7年度はクレアホール10周年事業としてコンサートを開催するなど、積極的な文化事業の展開が図れたため。

■施策評価シート　　5-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
45	暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	実数	2.8	2.9			
		偏差値	51.3	53.2			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	104								

「笑顔」輝くまち

6.コミュニティに関する施策

■施策評価シート　6-01-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	コミュニティ
基本方針	市民自治の確立		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	6-01-①	施策名	市民自治の確立のための活動支援と環境整備	

施策の概要

市民や地域主体の組織の活動を支援するとともに、まちづくりの多様な主体間の連携を図り、協働を促進します。また、学びやにぎわい、交流を促進できるよう、市民ニーズに応じた拠点の活用を進めます。

成果指標（単位）	市民主役のまちづくりが進んでいると思う市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	24.6	25.7	26.8	27.9
実績値	23.5	23.2			

成果指標実績に対するコメント

市民総合交流センターや地域まちづくりセンター等において特色のある事業展開がなされているため、そうした情報を広く届けられるよう市民への周知に力を入れる必要があると考えられる。

施策の達成度評価

地域まちづくり一括交付金、地域課題解決応援交付金などの適正な運用について、まちづくり協議会へ共有するとともに、まちづくり拠点の充実を図り、地域の主体性が促進できるよう、組織運営への助言および財政的な支援を行った。
また、市民総合交流センターを活用し、多様な主体の交流の場となる取組を行った。
さらに、公益財団法人草津市コミュニティ事業団が運営し、市民総合交流センターで実施するラウンドテーブルでは、市民活動団体やまちづくり協議会などの多様な主体との連携や交流の場となった。また、市の新規採用職員研修と合同で実施する機会を設け、市職員の協働意識の向上を図った。引き続き、市民活動団体だけに限らず、地縁団体等の多様な主体の参画を促す必要がある。

当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.33　私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである」があり、偏差値が70を上回る結果であった。
各まちづくり協議会への支援や公益財団法人草津市コミュニティ事業団による交流の場の創出により、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、各種支援や交流・参画を促進することで、市民や地域主体の組織の活動の活性化が図れるよう取組を進めていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

地域まちづくりセンターおよび市民総合交流センターを市民活動の拠点として活用し、テーマ型と地縁型の双方の市民活動が活性化することで市民主体のまちづくりとなるよう推進する。
また、まちづくり協議会を主体とする各小学校区の地域づくりを推進するため、地域まちづくり一括交付金および地域課題解決応援交付金を円滑に活用していただくよう支援する。

市民や地域主体の組織の活動を活性化することで、「No.34　暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.35　私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも繋がると考えており、今後も地域課題に活用できる財政的支援や交流の場等を通じて、にぎわいの創出に向けて取組を進めていきたい。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
まちづくり協議会推進事業	まちづくり協働課	○	地域まちづくり一括交付金、地域課題解決応援交付金など、地域の主体性が促進できるように支援を行ったため。
市民総合交流センター管理運営事業	まちづくり協働課	○	市民活動の交流拠点として、市民総合交流センターにおいてキラリエマツリやキラリエ秋まつり、キラリエクリスマスを実施し、多様な市民の交流を促進したため。
地域まちづくりセンター管理運営事業	まちづくり協働課	○	まちづくり拠点の充実やまちづくり協議会の組織運営への助言、財政的な支援を行い、地域活性化を図ることができたため。
協働のまちづくり条例推進事業	まちづくり協働課	○	草津市協働のまちづくり・市民参加推進評価委員会を2回開催し、協働のまちづくり推進計画の進捗を適切に評価できたため。

■施策評価シート　6-01-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
地域まちづくりセンター整備事業	まちづくり協働課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
32	私は、同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している	実数	3.4	3.4			
		偏差値	74.1	74.1			
33	私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである	実数	3.2	3.2			
		偏差値	73.5	74.7			
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9			
		偏差値	60.7	61.3			
35	私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする	実数	3.4	3.5			
		偏差値	78.3	80.0			
36	私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	実数	3.3	3.3			
		偏差値	66.6	68.6			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)	86								

■施策評価シート　6-02-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	コミュニティ
基本方針	基礎的コミュニティの活性化		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	6-02-①	施策名	基礎的コミュニティ活動の支援	

施策の概要
住民の実態やニーズの把握に努め、地域の諸課題を地域とともに向き合いながら、解決できるよう支援を行います。

成果指標（単位）	地域の組織やグループに加入している市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	33.5	34.2	35	35.7
実績値	32.7	29.9			

成果指標実績に対するコメント
高齢化や市民同士の交流の希薄化に加え、共働き世帯増加による担い手不足が要因になる等、町内会を取り巻く課題が多岐にわたっている中で、町内会加入率については、前年度比で1.6ポイント減少し、82.0%（令和8年3月末時点）になったが、町内会設立数は、前年度比で3町内会増加し、224町内会（令和8年3月末時点）となった。

施策の達成度評価
円滑な町内会運営の支援や担い手不足の解消への一助となるべく、町内会長全体説明会でまちづくり資料集で担い手確保の手法や町内会の工夫した取組を紹介することと併せて、随時、町内会長戸別訪問や町内会設立に向けた相談対応を行うなど、町内会活動の支援を行った。引き続き、町内会の活動促進に向けた支援を行う必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、偏差値が高い順に「No.35　私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする」「No.33　私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである」「No.32　私は、同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している」があり、いずれも偏差値が70を上回る結果であった。 本市は、全学区でまちづくり協議会が設立され、町内会と相互連携されており、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、町内会の支援を行うことで、担い手不足の解消や活動の活性化が図れるよう取組を進めていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
町内会における運営体制や各種活動についての課題への対応に向けて、町内会長戸別訪問等を通じて、地域とともに住民のニーズや実態の把握に努め、町内会の支援を継続する。
町内会活動を活性化することで、「No.34　暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.35　私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも繋がると考えており、今後も町内会長戸別訪問等を通じて、地域課題の対応に向けて取組を進めていきたい。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
行政事務委託事務	まちづくり協働課	○	地域と行政をつなぐ橋渡しとして、行政事務の一部を委嘱し、市行政を円滑に運営することが出来たため。
コミュニティハウス整備補助事業	まちづくり協働課	○	集会所整備が進むことで、基礎的コミュニティの活動の活性化を促したため。

■施策評価シート　　6-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
コミュニティ活動初期備品整備補助事業	まちづくり協働課
掲示板設置補助事業	まちづくり協働課
自治会活動保険加入補助事業	まちづくり協働課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
32	私は、同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している	実数	3.4	3.4			
		偏差値	74.1	74.1			
33	私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである	実数	3.2	3.2			
		偏差値	73.5	74.7			
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9			
		偏差値	60.7	61.3			
35	私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする	実数	3.4	3.5			
		偏差値	78.3	80.0			
36	私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	実数	3.3	3.3			
		偏差値	66.6	68.6			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)	86								

■施策評価シート　6-03-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	コミュニティ
基本方針	市民公益活動の促進		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	6-03-①	施策名	市民公益活動の支援	

施策の概要
ボランティアや各種団体等の公益活動を支援するため、中間支援組織である（公財）草津市コミュニティ事業団等と連携を図り、活動を支援する補助金制度の活用や、まちづくり講座、交流イベントを積極的に実施します。

成果指標（単位）	市および中間支援組織が開催する地域人財育成講座の延べ受講者数（人）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	670	680	690	700
実績値	666	431			

成果指標実績に対するコメント
令和6年度まで社会福祉協議会が実施されていた福祉教養大学・大学院等の講座が、令和7年度から複数の関連講座と集約されたこと、また地域人材育成講座は年度により受講者数が前後することから延べ受講者数は235名減少した結果となった。地域人材育成講座はニーズに沿って効果的に実施いただいているものであり、地域人材の育成を継続的に実施できているので、今後は広く市民への周知に力を入れる必要がある。

施策の達成度評価
市民公益活動の支援に関しては目標値を下回ったものの、成果指標である地域人材育成講座の開催以外にも、ラウンドテーブルや市民公益活動団体同士の交流を深める事業や、市民公益活動団体等への活動助成等も行っており一定の成果を上げている。引き続き学区や市民公益活動団体および市民への周知を図りながら、受講者のニーズに応じて講座内容の充実を図っていく必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.33　私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである」があり、偏差値が70を上回る結果であった。 本市は、草津市コミュニティ事業団や社会福祉協議会が中間支援組織として地域のまちづくり活動や市民活動等の活動支援を行っていただいており、今後も中間支援組織と連携し、市民公益活動等のさらなる活性化に取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
講座の開催にあたっては、引き続き社会情勢や市民のニーズに応じたテーマ設定を行い、多くの方に参加いただきやすい内容となるよう工夫するとともに、互いの活動が繋がるような仕掛けづくりを行っていく。また、キラリエ草津での実施事業については、多様な世代や価値観を持つ市民それぞれの関わりしろが増やせるよう工夫していく。 また、協同労働については、引き続き、まちづくり協議会等と連携しながら普及・啓発に努めるとともに、個別相談会を行いながら、協同労働団体等の立ち上げを支援していく。
市民公益活動の支援は、「No.33　私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである」というウェルビーイングの向上の一端を担うことから、引き続き地域人材育成講座の実施や、まちの担い手同士の交流、活動助成などを行っていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
（公財）草津市コミュニティ事業団運営費補助事業	まちづくり協働課	○	多様な世代の市民にアプローチした内容の講座を展開することで、団体同士の交流を促進させたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
市民活動推進事業	まちづくり協働課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　6-03-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
33	私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである	実数	3.2	3.2			
		偏差値	73.5	74.7			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	89								

■施策評価シート　6-04-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	コミュニティ
基本方針	多文化共生社会の構築		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	6-04-①	施策名	多文化共生の推進	

施策の概要
国籍などの違いにかかわらず、共に支え合い、誰もが安心して暮らせる多文化共生の地域づくりを進めるため、草津市国際交流協会と連携し、外国人住民のコミュニケーションや生活に関する分野の支援を行うとともに、日本人住民の国際理解の推進に努めます。

成果指標（単位）	「多文化共生社会の構築」に満足している市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	15.5	16.2	16.9	17.6
実績値	14.8	14.5			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、多文化共生社会の構築に満足している市民の割合は前年度に比べ0.3ポイント減少し、目標値を達成することができなかった。外国人住民が増加する中、草津市多文化共生推進プランに基づく市民向けのやさしい日本語研修会や、市内の小学校でのやさしい日本語出前授業等の実施、市ホームページの多文化共生に関するページの充実を図ったが、各取組について市民への更なる周知が必要であったと考えられる。

施策の達成度評価
やさしい日本語研修会を市職員向けと市民向けに各1回開催し、外国人住民とのコミュニケーション支援につなげた。また、市内の小学校に通う児童を対象に、やさしい日本語出前授業を行うなど、多文化共生への理解の推進を図った。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.37　この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」であり、偏差値は55を上回る結果であった。 本市では、外国人住民の数が増加傾向にある中、多文化共生のまちづくりを進めており、引き続き、国籍等の違いにかかわらず、全ての人が活躍できる地域社会となるよう、令和8年3月に策定した第2次草津市多文化共生推進プランに基づいて取組を進めていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
第2次草津市多文化共生推進プランに基づき、引き続き、草津市国際交流協会と連携しながら各種事業を推進する。また、事業推進の際は、広く市民に周知できるよう広報活動に努め、多文化共生に対する市民の意識向上や、多文化共生の地域づくりに繋げる。
多文化共生社会の構築は、「No.37　この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」という指標にかかるウェルビーイングの向上にも資する取組であると考えており、引き続き、多文化共生への理解や外国人住民とのコミュニケーション支援等の取組を行っていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
国際交流推進事業	まちづくり協働課	○	草津市国際交流協会と連携し、草津市多文化共生推進プランに掲げる各種取組を実施したため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　6-04-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	57.7	58.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)	95								

7.地域福祉に関する施策

■施策評価シート　　7-01-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	地域福祉
基本方針	「地域力」のあるまちづくり		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	7-01-①	施策名	地域福祉の担い手の育成と活躍の促進	

施策の概要
中間支援組織である（福）草津市社会福祉協議会と連携し、福祉講座の実施や各種ボランティア活動への支援等を通じて、地域福祉の担い手の育成や地域で活動する人の輪を広げます。また、民生委員・児童委員等の福祉の担い手が活動しやすい環境を整えます。

成果指標（単位）	民生委員・児童委員活動日数（日）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	46,000	46,000	46,000	46,000
実績値	45,837	43,473			

成果指標実績に対するコメント
委員活動日数は前年度比で2364日（−5.2%）減少し、一人あたりの年間活動日数もおよそ9日減少した。 3年に一度の委員一斉改選の年度であったことから、新旧委員間の引継ぎがあり、通常の地域活動に充てられる時間が一時的に減少したものと考えられる。

施策の達成度評価
（福）草津市社会福祉協議会と連携し実施している福祉教養大学や福祉委員を対象にした学習会等の内容を見直したことにより、地域福祉の担い手の育成やボランティア活動の活性化に繋げることができた。 また、民生委員・児童委員（以下「委員」という。）の一斉改選や各単位民児協（14民児協）の会長および市民児協の主任児童委員代表に対し、ノートパソコンを配備するなど、委員が活動しやすい環境の構築に努めた。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.35私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする」「No.33私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである」「No.32私は、同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している」「No.34暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」があり、いずれも偏差値が60を上回る結果であった。 ウェルビーイングの観点からも、引き続き、ボランティア活動の活性化や民生委員・児童委員が活動しやすい環境の構築に努めたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
委員が地域のパイプ役として、日常的な見守り、声かけ、個別相談などに安心して取り組めるよう、引き続き（福）草津市社会福祉協議会との連携を強化し、委員活動の支援、活動しやすい環境の整備を行う。 また、（福）草津市社会福祉協議会が実施する地域福祉活動をテーマにした講座やボランティアの育成・活動等への支援や委員活動の情報発信を通じて、若い世代の福祉意識の向上や新たな地域福祉の担い手の育成・確保の取組を進める。
地域福祉の担い手の育成やボランティア活動の活性化、民生委員・児童委員が活動しやすい環境の構築は、「No.35私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする」「No.33私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである」「No.32私は、同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している」「No.34暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、引き続き、高い水準を維持・向上できるよう、上記の取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
民生委員児童委員協議会活動補助事業	健康福祉政策課	○	各単位民児協（14民児協）の会長および市民児協の主任児童委員代表に対し、ノートパソコンを配備するなど、民生委員・児童委員がより効率的に活動できるよう環境の整備を行うことができたため。
社会福祉協議会活動補助事業	健康福祉政策課	○	（福）草津市社会福祉協議会において、草津市福祉教養大学等の見直しを行い、福祉講座やボランティアマルシェを開催するなど、地域福祉の担い手の育成を図ることができたため。

■施策評価シート　　7-01-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
民生委員児童委員諸事務	健康福祉政策課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
32	私は、同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している	実数	3.4	3.4			
		偏差値	74.1	74.1			
33	私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである	実数	3.2	3.2			
		偏差値	73.5	74.7			
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9			
		偏差値	60.7	61.3			
35	私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする	実数	3.4	3.5			
		偏差値	78.3	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)	89								

■施策評価シート　　7-01-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	地域福祉
基本方針	「地域力」のあるまちづくり		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	7-01-②	施策名	地域福祉を支えるネットワークづくり	

施策の概要
各学区社会福祉協議会およびまちづくり協議会や町内会の活動等を中心に暮らしの問題を解決する住民主体の活動を広げ、地域で支えるネットワークづくりを促進するため、地域福祉関係者との連携により、「地域力」を高める取組を推進します。

成果指標（単位）	避難行動要支援者名簿への登録者数（人）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	4,600	4,700	4,800	4,900
実績値	3,901	4,462			

成果指標実績に対するコメント
昨年度より登録者数は500名以上増加したが、死亡・転居等による登録を抹消される方もいたことから、目標値に対する達成率は97.0%と未達となった。

施策の達成度評価
令和6年度にWeb申請（電子申請サービス）を開始したことにより、登録しやすい環境が整備できたほか、登録勧奨の対象者を従来の新規対象者に加えて、80歳の未登録者にも拡大し、当該制度の普及啓発を図ったことから、登録者数が大幅に増加した。 その他、住民主体の活動を広げるために、（福）草津市社会福祉協議会及び社会福祉関係団体の活動支援を通して、地域福祉活動の促進を図ることができた。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.35私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする」「No.33私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである」「No.32私は、同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している」「No.29私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」「No.34暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.37この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」があり、おおむね偏差値が60を上回る結果であり、実数・偏差値ともに維持または向上していた。 ウェルビーイングの観点からも、引き続き、（福）草津市社会福祉協議会及び社会福祉関係団体の活動支援を通して、地域福祉活動の促進に取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
登録者数増加に向け、アプローチ対象の検討を行うとともに、地域内における助け合い・支え合いの仕組みとして、本制度が有効に機能するよう、引き続き未登録者への周知・啓発、および他自治体の取組等を参考に調査検討を行う。 また、（福）草津市社会福祉協議会及び社会福祉関係団体の活動支援を通して、引き続き地域福祉活動の促進を図る。
（福）草津市社会福祉協議会及び社会福祉関係団体の活動支援を通した地域福祉活動の促進は、「No.35私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする」「No.33私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである」「No.32私は、同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している」「No.29私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」「No.34暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.37この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、引き続き、高い水準を維持・向上できるよう、上記の取組を推進していく。

■施策評価シート　　7-01-②

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
社会福祉関係団体補助事業	健康福祉政策課	○	社会福祉関係団体が行う活動への補助・支援を通じて、地域福祉活動および地域で支え合うネットワークづくりを進めることができたため。
地域福祉計画推進事業	健康福祉政策課	○	（福）草津市社会福祉協議会が実施する各種事業に対して補助・支援を行うことを通じて、地域における助け合い・支え合いの推進を図ることができたため。
避難行動要支援者登録制度推進費	健康福祉政策課	○	登録申請書の見直しやWeb申請の導入とともに、登録勧奨の対象者を拡大することで、避難行動要支援者名簿の作成・登録を推進することができたため。
地域コミュニティ支援推進事業	人とくらしのサポートセンター	○	高齢者等ごみ出し支援事業の制度化により、ごみ出し支援団体が結成され、ごみ出しに困難を抱える方を地域で支える仕組みづくりが進んだことで、地域の支え合い・助け合い活動の推進につながったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
社会を明るくする運動啓発推進事業	健康福祉政策課
戦没者遺族等援護推進事業	健康福祉政策課
福祉バス運行事業	健康福祉政策課
福祉事務所運営事業	健康福祉政策課
戦没者遺族等援護推進事業	人とくらしのサポートセンター

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
29	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.6	66.0			
32	私は、同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	実数	3.4	3.4			
		偏差値	74.1	74.1			
33	私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである	実数	3.2	3.2			
		偏差値	73.5	74.7			
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9			
		偏差値	60.7	61.3			
35	私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	実数	3.4	3.5			
		偏差値	78.3	80.0			
37	この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	57.7	58.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	73	75	86						

■施策評価シート　7-02-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	地域福祉
基本方針	福祉の総合的な相談・支援の充実		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	7-02-①	施策名	セーフティネットの充実	

施策の概要

経済的な困窮等、市民の生活安定の危機に対し、福祉施策や年金、重層的支援体制整備事業による支援、生活保護制度の適用等を行います。また、働く意欲と能力のある人への就労支援や、住まいに困窮される人への市営住宅等の供給を行います。

成果指標（単位）	就労を理由として生活保護を廃止したケースの比率（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	2	2	2	2
実績値	1.6	2.3			

成果指標実績に対するコメント

就労を理由として生活保護を廃止したケースの割合は、令和5年度の1.0%（9件／915世帯）から令和6年度の1.6%（15件／970世帯）と0.6ポイント増加し、令和7年度は2.3%（23件/1,025世帯）となり、目標値を達成することができた。
ケースワーカーや就労支援員による継続的な就労支援や就労意欲の喚起に加え、ハローワークをはじめとした関係機関との連携による支援を実施した結果、就労による自立につながったものと考えられる。

施策の達成度評価

生活保護制度により市民の最低限度の生活を保障するとともに、ケースワーカーや就労支援員による就労支援、ハローワークをはじめとした関係機関との連携支援を実施することで、就労による自立につなげることができた。また、生活困窮者自立支援事業や重層的支援体制整備事業と連携し、就労に直結しない課題を抱える方に対しても、相談支援や社会参加支援等を行うことで、自立に向けた支援を進めることができた。

当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、偏差値が高い順に「49　私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」「48　私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」があるが、いずれも偏差値が55前後であった。
本市は、交通アクセスが発達していることから、就労先を市内に限定することなく、市外に求めるケースも多いが、ウェルビーイングの観点からも地域資源の活用に向け、市内の就労先を新規開拓するなど、就労支援がより効果的になるよう手法を検討したい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

被保護者のうち稼働能力のある方に対しては、引き続きケースワーカーや就労支援員による就労指導・就労支援を実施するとともに、ハローワークをはじめとした関係機関との連携を強化し、就労による自立を支援する。また、就労に向けた準備や生活面での課題を抱える方に対しては、生活困窮者自立支援事業や重層的支援体制整備事業を活用しながら、相談支援や社会参加に向けた支援等を行い、一人ひとりの状況に応じた段階的な自立支援を推進する。

就労支援の取組は、単に就労先を紹介するのではなく、「48　私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「49　私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」といった指標にかかるウェルビーイング向上に資するように、ケースワーカーや就労支援員が被保護者に寄り添い、関係機関と連携しながら事業を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
生活保護費支給事務	生活支援課	○	生活保護を申請された方に対して、資産調査等を実施し、適正に生活保護を適用したため。 また、被保護者の収入状況を的確に把握し、適正に生活保護費の支給を行ったため。
多機関協働等事業	人とくらしのサポートセンター	○	既存制度や各分野のみでは対応困難な複雑化・複合化した課題等を抱える世帯に対し、総合調整（コーディネート）やアウトリーチ支援、参加支援等を実施した結果、自ら支援につながることが難しい人等へ包括的な支援を行うことができたため。
国民年金事務	保険年金課	○	国民年金への加入、学生納付特例、免除・猶予等の申請受付および年金相談を実施した結果、被保険者の年金受給権を確保することができ、健全な生活の維持および向上に寄与することができたため。
市営住宅運営事業	市営住宅課	△	住まいに困窮される方に市営住宅の新規募集を行っているが、老朽化等により募集可能な住戸を十分に提供できていないため。

■施策評価シート　　7-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
公営住宅建設事業	市営住宅課
生活保護費返還金債権管理回収事務	生活支援課
生活保護法施行事務	生活支援課
行旅病人・行旅死亡人に対する扶助事業	人とくらしのサポートセンター
災害被災者見舞金交付事業	人とくらしのサポートセンター
社会福祉関係団体補助金事務	人とくらしのサポートセンター
就労支援対策事業	商工観光労政課
定額減税補足給付金給付事業	人とくらしのサポートセンター
在日外国人老齢福祉金支給事務	保険年金課
物価高騰対応くらし応援給付金給付事業	物価高騰対応重点支援室

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8			
		偏差値	55.6	56.1			
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	54.9	56.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	122								

■施策評価シート　7-02-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	地域福祉
基本方針	福祉の総合的な相談・支援の充実		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	7-02-②	施策名	福祉の総合相談窓口の充実	

施策の概要
多様で複合的な生活課題を抱える人の相談を受け、相談者に寄り添いながら共に課題を整理し、(福)草津市社会福祉協議会等の関係機関や地域と連携することで、それぞれが世代や分野を超えて「丸ごと」つながる総合的な相談・支援を行います。

成果指標(単位)	「福祉の総合的な相談・支援の充実」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	20.7	21.4	22.1	22.8
実績値	20	20.5			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、「福祉の総合的な相談・支援の充実」に満足している市民の割合は、目標値を若干下回ったものの、前年度に比べ0．5ポイント増加した。多様かつ複合的な生活課題を抱える人へ寄り添いながら相談・支援を行い、各種制度や関係機関等につなげることで課題解決に向けた取組を進めることができたことが要因の一つと考えられる。

施策の達成度評価
多様で複合的な生活課題を抱える相談者に対し、関係機関等と連携しつつ、生活困窮者自立支援制度をはじめとする各種制度や就労支援等へのつなぎを行うことで、本人や世帯全体の課題解決に向けた支援を進めることができた。今後も制度周知に取り組み、必要な人に必要な支援が届く体制の充実を図る必要がある。
当施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標において、「No.34 暮らしている地域には、困った時に相談できる人が身近にいる」の偏差値が61.3と最も高く、「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」および「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」の指標においても前年度の偏差値を上回る結果であった。 本市では多様で複合的な生活課題を抱える相談者に対し、関係機関等と連携しつつ、生活困窮者自立支援制度をはじめとする各種制度や就労支援等へのつなぎを行っており、ウェルビーイング向上の観点からも、上記の指標の水準を踏まえ、引き続き、相談者に寄り添いながら相談・支援を行い、各種制度や関係機関等につなげることで課題解決に向けた支援を継続して実施していきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
多様で複合的な生活課題を抱える人に対し、関係機関等との連携を図りながら、生活困窮者自立支援制度をはじめとする各種制度等を活用し、必要な人に必要な支援を届けられるよう相談・支援の充実に取り組む。
生活困窮者をはじめとした、ひきこもりや生きづらさを感じている人や世帯に対し、就労相談、住まいの相談、家計相談、学習支援・居場所の提供、適切な機関へのつなぎなどを行うことは、「No.34 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.47 私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある」「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」といった指標にかかるウェルビーイングの向上に資する取組であると考えている。令和7年度は令和6年度と比較し、4つ中3つの指標で偏差値が高くなっていることから、今後もこれらの指標をさらに高い水準とするために、引き続き生活課題の深刻化を防ぎ自立支援を推進するため、関係機関等と連携した総合的な相談・支援を行っていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度(主要事業のみ)	達成度評価理由
生活困窮者自立支援事業	人とくらしのサポートセンター	○	多様かつ複合的な生活課題を抱える相談者に対し、福祉の総合相談窓口として相談を受け止め、相談者に寄り添いながら課題整理を行うとともに、生活困窮者自立支援制度による支援や各種制度、関係機関へのつなぎを行い、自立や課題解決に向けた支援を進めることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　7-02-②

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9			
		偏差値	60.7	61.3			
47	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	実数	3.1	3.1			
		偏差値	57.6	55.5			
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8			
		偏差値	55.6	56.1			
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	54.9	56.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	80	115	116	117	122				

8.健康に関する施策

■施策評価シート　　8-01-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	健康
基本方針	市民の健康づくり		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	8-01-①	施策名	市民の健康づくり支援	

施策の概要
市民一人ひとりの健康づくりを促進するため、事業者や地域団体等の様々な主体との連携を強化・拡大し、健康啓発や生活習慣の改善につながる取組を強化するとともに、地域の主体的な健康づくりの取組を支援します。また、誰もが心身の不調について「気づき」や「見守り」を行える環境づくりや、支援を必要とする方が適切に相談や支援を受けられる体制整備に取り組みます。

成果指標（単位）	健康寿命（年）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	男性81.86	男性82.10	男性82.34	男性82.58
実績値	男性81.62	未確定			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	女性85.88	女性85.89	女性85.91	女性85.92
実績値	女性85.86	未確定			

成果指標実績に対するコメント
令和7年度における健康寿命は未確定。令和6年度における男性の健康寿命は、令和5年度に比べ0.36年短縮し、女性の健康寿命は、令和5年度に比べ0.86年延伸した。なお、男性の健康寿命が短縮したことについては、85歳以上の死亡者数が令和5年度と比べ増加していること等が一因になっていると考えられる。

施策の達成度評価
「第3次健康くさつ21」や「第3次草津市自殺対策行動計画」に基づき、生活習慣の改善や心身機能の維持・向上に資する各種事業を地域の関係団体等とともに取り組むことができた。特に、令和7年度は様々なイベント開催等を通じて、若者世代・働く世代から高齢者まで幅広い年代に対し、健康づくりの重要性を周知するほか、こころの健康については、相談支援のネットワークづくりを行うことができた。なお、今後についても、「第3次健康くさつ21」や「第3次草津市自殺対策行動計画」に基づき、市民一人ひとりの健康づくりを促進するとともに、地域の主体的な健康づくりの取組を支援していく必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.35　私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする」「No.43　私は、身体的に健康な状態である」「No.44　私は、精神的に健康な状態である」「No.34　暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」は、いずれも前年度と比較し偏差値が上昇しており、特に、No.35、No.43、No.44については、偏差値が80と高い。 本市では、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、市民一人ひとりの健康づくりを促進するとともに、地域の主体的な健康づくりの取組を支援していく必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
これまでも市民の健康づくり促進の取組を行ってきた中、令和6年度における健康寿命については、令和5年度と比べ、男性は0.36年短縮し、女性は0.86年延伸した。引き続き、市民一人ひとりの健康づくりの推進に向け、地域の関係団体等の様々な主体との連携を強化・拡大し、健康づくりや生活習慣の改善に向けた取組を進めるとともに、地域の主体的な取組を支援していく。また、誰もが心身の不調について「気づき」や「見守り」を行える環境づくりや、支援を必要とする方が適切に相談や支援を受けられる体制整備に取り組んでいく。
健康啓発や生活習慣の改善につながる取組や心身の不調について「気づき」や「見守り」を行える環境づくりについては、健康寿命を延伸するだけでなく、「No.35　私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする」「No.43　私は、身体的に健康な状態である」「No.44　私は、精神的に健康な状態である」「No.34　暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、引き続き、市民一人ひとりの健康づくりの推進に向け、地域の関係団体等の様々な主体との連携を強化・拡大し、健康づくりや生活習慣の改善に向けた取組を進めるとともに、地域の主体的な取組を支援していく。また、誰もが心身の不調について「気づき」や「見守り」を行える環境づくりや、支援を必要とする方が適切に相談や支援を受けられる体制整備に取り組んでいく。

■施策評価シート　　8-01-①

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
地域保健活動事業	人とくらしのサポートセンター	○	地区担当保健師が地区診断を通じて学区の健康課題の整理を行うとともに地域住民や団体、企業等と協働した取組を行った結果、地域の主体的な健康づくりの取組を支援することができたため。
健康推進員活動事業	健康増進課	○	市民の健康づくりに関する啓発活動等を、市民自らの活動で、各学区の特性にあわせて行うことができたため。
自殺対策緊急強化事業	健康増進課	○	第3次草津市自殺対策行動計画に基づき、こころの健康づくりの啓発や地域や関係機関、教育機関と連携したゲートキーパー養成研修の開催により、市民が主体的にこころの健康づくりに取り組むことができる環境づくりや、周囲の人のこころの不調に気づき、行動できる地域づくりの推進、連携体制の強化を図ることができたため。
食育推進事業	健康増進課	○	第3次健康くさつ21に基づき、食生活改善に向けた啓発に加え、草津たび丸kitchenでは地場野菜を活用したレシピ、バランスの良い食事、働き世代向けのレシピを毎月掲載するなど、食育についての学びや知識の普及を図ることができたため。
健康啓発推進事業	健康増進課	○	市内の飲食店や運動事業所、文化芸術施設等と連携した「食と運動プロジェクト2025～草津市の文化とともに～」を展開し、野菜摂取の大切さや運動習慣の重要性等について周知啓発を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
健康づくり推進協議会運営事業	健康増進課
健幸都市づくり推進事業	健康福祉政策課
健康管理システム事業	子育て相談センター
健康管理システム事業	人とくらしのサポートセンター
かかりつけ医等普及促進事業	健康増進課
湖南広域行政組合負担金事務	健康増進課
さわやか保健センター施設管理事業	総務課
保健師活動事業	健康増進課
医療関係団体への保健事業事務委託事務	健康増進課
救急医療情報システム運営負担金事務	健康増進課
健康管理システム事業	健康増進課
健康教育事業	健康増進課
健康相談事業	健康増進課
献血推進事業	健康増進課
市民の健康づくり推進事務	健康増進課
精神保健福祉対策事業	健康増進課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9			
		偏差値	60.7	61.3			
35	私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	実数	3.4	3.5			
		偏差値	78.3	80.0			
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
		偏差値	79.3	80.0			
44	私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6	3.7			
		偏差値	79.7	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	80	101	102						

■施策評価シート　　8-01-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	健康
基本方針	市民の健康づくり		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	8-01-②	施策名	疾病予防対策の強化	

施策の概要
疾病の予防と早期発見のため、予防接種、各種けん診について、体制の充実や啓発方法の工夫による受診率向上や早期対応の勧奨に取り組むとともに、病気になっても患者や家族等が必要な支援を受けることができる環境づくりを行います。また、感染症について、正しい知識の普及と予防の啓発等に取り組みます。

成果指標（単位）	乳がん検診受診率(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	12.0	12.4	12.8	13.2
実績値	11.6	11.7			

成果指標実績に対するコメント
草津市乳がん検診受診率については、国が示す対象枠から拡大した無料クーポン券の送付や個別勧奨通知の発送のほか、イベントでの乳がん触診体験の実施等により、受診率向上に向けた取組を行い、前年度より0.1ポイント増加したものの、目標値を達成することはできなかった。なお、乳がん検診の受診間隔は2年度に1度であることから、受診率は前年度と今年度の受診者を合わせ2年連続受診者を除いた受診率を用いて評価している。

施策の達成度評価
予防接種や各種けん診について、予防接種を希望される方が接種を受けられる体制整備や、集団けん診の実施や個別勧奨通知、正しい理解に向けた啓発等に取り組み、疾病予防対策を進めることができた。今後については、引き続き、接種率や受診率の向上、早期対応の勧奨に取り組むとともに、病気になっても患者や家族が必要な支援を受けることができる環境づくりを進めていく必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.43　私は、身体的に健康な状態である」「No.44　私は、精神的に健康な状態である」があり、いずれも偏差値が80となっている。 本市では、予防接種や各種けん診について、地域の医療機関等での接種・受診体制の充実に取り組むとともに、正しい知識の普及と予防の啓発等を行っており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、接種率や受診率の向上、早期対応の勧奨に取り組むとともに、病気になっても患者や家族が必要な支援を受けることができる環境づくりを進めていく必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
疾病の発症予防と早期発見のため、予防接種や各種けん診については、体制の充実や啓発方法の工夫による受診率等の向上に取り組むとともに、病気になっても患者や家族等が必要な支援を受けることができる環境づくりを行う必要がある。また、引き続き、感染症にかかる正しい知識の普及と予防の啓発等に取り組む必要がある。
予防接種や各種がん検診については、疾病の発症予防や早期発見だけでなく、「No.43　私は、身体的に健康な状態である」「No.44　私は、精神的に健康な状態である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、引き続き、予防接種や各種けん診については、体制の充実や啓発方法の工夫による受診率等の向上に取り組むとともに、病気になっても患者や家族等が必要な支援を受けることができる環境づくりを行う必要がある。また、感染症にかかる正しい知識の普及と予防の啓発等に取り組む必要がある。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
予防接種事業	健康増進課	○	予防接種法に基づく定期接種については、個別通知の送付や小中学校を通じた啓発等、対象者（こどもや高齢者）に、必要な周知啓発が行えたため。令和7年度より定期接種となった帯状疱疹予防接種について、希望する人が地域の医療機関で接種を受けられる体制を整え、疾病予防を図ることができたため。
健康診査事業	健康増進課	○	がん検診については、ナッジ理論を活用した個別勧奨通知の送付や集団けん診の予約枠の拡大、Web予約や託児支援の実施、イオンシネマでの啓発動画の放映など、受診率向上に向けた各種取組を推進できたため。
歯科保健指導事業	健康増進課	○	節目歯科健康診査の対象者に20歳および30歳を加えるとともに、妊婦歯科健康診査の受診費用を無料にすることで、定期的な歯科健康診査の機会を提供し、生涯を通じた歯の健康づくりや口腔機能の維持・向上の実現を図ることができたため。

■施策評価シート　　8-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
感染症予防事業	健康増進課
予防接種事業	子育て相談センター

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
		偏差値	79.3	80.0			
44	私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6	3.7			
		偏差値	79.7	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	101	102							

■施策評価シート　8-02-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	健康
基本方針	医療保険制度の適正運用		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	8-02-①	施策名	国民健康保険制度の運用	

施策の概要
持続可能な国民健康保険制度の運営を進めるため、国民健康保険財政の健全化、保険料負担と給付の公平化、特定健康診査・特定保健指導の実施等による健康の保持・増進と医療費の適正化を図るとともに、被保険者への啓発活動等、制度への理解促進に努めます。

成果指標（単位）	「医療保険制度の適正運用」に満足している市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	37.4	39.2	41	42.8
実績値	35.6	34.2			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査における「医療保険制度の適正運用」に「満足」「やや満足」と回答された市民の割合は、令和6年度と比べて減少し、令和7年度の目標値は達成することができなかった。 令和8年度については、引き続き、資格管理や給付等の事務を適切に行い、国民健康保険制度を適正に運営するとともに、特定健診・特定保健指導の実施率向上に向けた事業を継続して行うことで、医療費の適正化を進めていく。

施策の達成度評価
資格管理や保険給付等の事務を適正に行い、保険財政の健全運営を保ちつつ被保険者負担の抑制を図るよう国保税率設定を行った。
当該施策に関する「地域幸福度（Well-Being）指標」は、偏差値が高い順に、「No.43　私は、身体的に健康な状態である」「No.5　暮らしている地域は、医療機関が充実している」であり、いずれも偏差値は70を上回った。 ウェルビーイングの観点からも、引き続き、資格管理や給付等の事務を適切に行い、国民健康保険制度を適正に運営するとともに、特定健診・特定保健指導の実施率向上に向けた事業を継続して行うことで、医療費の適正化を進めていく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
医療費の適正化や保健事業の積極的な実施により、引き続き、国保財政の健全運営を図る。 また、国民健康保険制度の改正時等には、市民への十分な周知・啓発を行う。
医療費の適正化や保健事業の積極的な実施は、「No.43　私は、身体的に健康な状態である」「No.5　暮らしている地域は、医療機関が充実している」といった指標にかかるウェルビーイング向上に資する取組であると考えており、今後も継続して取組を実施していく。

■施策評価シート　　8-02-①

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
特定保健指導事業	健康増進課	○	特定保健指導において、オンライン面談やイベント型での実施など、利用しやすい環境を整えることができたため。また、糖尿病性腎症の重症化予防として、電話や訪問で複数回の勧奨を行い、かかりつけ医と連携した保健指導を行うことができたため。
レセプト管理事業	保険年金課	○	医療費適正化のため、レセプトの管理を適正に行い、また、過誤返戻や本人請求を適切に執行したため。
医療費適正化特別対策事業	保険年金課	○	医療費通知とジェネリック医薬品差額通知の送付を行うことで、医療費の抑制に努めたため。
特定健康診査事業	保険年金課	○	個別健診のほか、被用者保険との連携による集団けん診を12回実施し、受診機会の拡充を図るとともに、文書や電話等による受診勧奨を行うことより、受診率向上に努めた。 また、糖尿病性腎症の重症化予防として、電話や訪問で勧奨を行い、医療機関受診に繋がった実績が向上したため。
人間ドック等助成事業	保険年金課	○	被保険者の健康保持増進を目的とする本事業について、助成制度利用の積極的な周知啓発を行ったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
特定健康診査事業	健康増進課
国民健康保険税賦課事務	税務課
国保事業費納付金事業事務（医療給付費分）	保険年金課
国保事業費納付金事業事務（後期高齢者支援金等分）	保険年金課
国保事業費納付金事業事務（介護納付金分）	保険年金課
重複頻回受診訪問指導事業	保険年金課
高額介護合算医療事業	保険年金課
高額療養事業	保険年金課
療養事業	保険年金課
療養給付事業	保険年金課
国保運営協議会運営事業	保険年金課
国保連合会負担金拠出事務	保険年金課
国民健康保険給付執行事務	保険年金課
出産育児一時金事務	保険年金課
出産育児一時金支払手数料事務	保険年金課
審査支払手数料事務	保険年金課
葬祭給付事業	保険年金課
傷病手当金事務	保険年金課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
5	暮らしている地域は、医療機関が充実している	実数	3.9	4.0			
		偏差値	69.7	73.3			
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
		偏差値	79.7	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	2	4	101	102					

■施策評価シート　8-02-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	健康
基本方針	医療保険制度の適正運用		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	8-02-②	施策名	後期高齢者医療制度の運用	

施策の概要
高齢者の誰もが、安心して健やかに暮らすことができる健全で円滑な医療制度の運営を進めるため、運営主体の滋賀県後期高齢者医療広域連合と連携し、被保険者への制度周知や健康診査等の保健事業による健康の保持・増進と医療費の適正化に努めます。

成果指標（単位）	後期高齢者医療保険料収納率（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	99.62	99.62	99.62	99.62
実績値	99.61	99.66			

成果指標実績に対するコメント
後期高齢者医療（現年分）の収納率は、令和6年度に引き続き、高い値であった。

施策の達成度評価
定期的な電話や催告書の送付等による働きかけや、納付相談等を積極的に実施することにより、高い収納率を維持することができた。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は「No.43　私は、身体的に健康な状態である」であり、偏差値は80となっている。これには後期高齢者医療保険料の収納率を高く維持することで保険財政の安定に繋がり、健康診査事業等を通じ早期に医療へアクセスしやすい状況を提供していることが寄与していると考えられる。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
収納率のさらなる向上を図るため、引き続き取組を進めていく。
当該施策は「No.43　私は、身体的に健康な状態である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であり、こうした指標が高い水準だったことを踏まえ、後期高齢者医療保険料の収納率のさらなる向上を図り、保険財政の安定に繋げることで医療へアクセスしやすい状況を引き続き提供できるよう、引き続き収納対策にかかる取組を進めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
後期高齢者健康診査事業	保険年金課	○	滋賀県後期高齢者医療広域連合より委託を受け対象者に健康診査受診券を送付し、生活習慣病の早期発見を目的とした健康診査事業を進めたため。
後期高齢者医療保険料徴収事務	保険年金課	○	定期的な電話や催告書の送付等による働きかけや、納付相談等の実施により、高い収納率を維持することができたため。

■施策評価シート　8-02-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
後期高齢者医療事務	保険年金課
広域連合医療費負担金事務	保険年金課
広域連合事務負担金事務	保険年金課
広域連合審査手数料負担金事務	保険年金課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
5	暮らしている地域は、医療機関が充実している	実数	3.9	4.0			
		偏差値	69.7	73.3			
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
		偏差値	79.5	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	3	4	101	102					

■施策評価シート　8-02-③

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	健康
基本方針	医療保険制度の適正運用		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	8-02-③	施策名	福祉医療費の助成	

施策の概要
社会的に弱い立場の方の経済的負担軽減を図るため、障害者等を対象に医療保険適用医療費の自己負担額の一部もしくは全部を助成します。

成果指標（単位）	対象者（障害者（児）、障害老人）1人あたりの年間助成額（千円）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	125	125	125	125
実績値	125	124			

成果指標実績に対するコメント
目標助成額を下回っているものの、助成対象者へ適切な助成を行うことができた。引き続き制度の周知と適切な助成に取り組んでいく。

施策の達成度評価
令和7年度も前年度に引き続き、助成対象者の医療費負担の軽減に寄与した。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は「No.5　暮らしている地域は、医療機関が充実している」であり。偏差値は70を上回る結果となった。こうした結果を踏まえ、指標に関連する事業として、引き続き適切に助成事業を進めていく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
これまでの取組と同様、制度の周知も含め、適切な助成事業実施に取り組む。
福祉医療費助成制度は「No.5　暮らしている地域は、医療機関が充実している」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、引き続き適切に助成事業を進めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
障害者福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行ったため。
障害老人等福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行ったため。

■施策評価シート　　8-02-③

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ひとり暮らし寡婦福祉医療助成事業	保険年金課
ひとり暮らし高齢寡婦福祉医療助成事業	保険年金課
障害者福祉医療事務	保険年金課
精神障害者精神科通院医療事務	保険年金課
精神障害者精神科通院医療助成事業	保険年金課
精神障害老人精神科通院医療助成事業	保険年金課
老人福祉医療事務	保険年金課
老人福祉医療助成事業	保険年金課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
5	暮らしている地域は、医療機関が充実している	実数	3.9	4.0			
		偏差値	69.7	73.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

9.こども・子育て・若者に関する施策

■施策評価シート　　9-01-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	安心してこどもを産み育てられる支援の充実		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	9-01-①	施策名	結婚・妊娠・出産に向けた環境整備	

施策の概要
妊娠届出時からすべての妊婦・子育て家庭に寄り添い、面談等を通じて相談に応じ、各家庭のニーズに応じた必要な支援につなぐとともに、新婚世帯や子育て世帯の負担軽減を図るため、経済的支援を一体的に実施します。また、妊産婦の健康診査に要する費用の助成を実施することで、妊産婦の健康管理の充実および経済的負担の軽減を図ります。

成果指標（単位）	妊娠期から出産後において、助産師や保健師、保育士等からの相談・指導・ケア等を十分に受けることができたかについて、「満足」と回答された方の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	92.3	92.6	92.9	93.2
実績値	92	92.6			

成果指標実績に対するコメント
妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援を提供するため、様々な悩みや不安に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施した。また、妊娠期から子育て支援サービスに関する情報を子育て家庭に広く周知するため、ホームページや子育て情報サイトを活用した情報発信にも努めた。これらの取組みにより、成果指標は目標値を上回った。

施策の達成度評価
妊娠から出産、子育て期まで必要な支援につなぐ伴走型相談支援と経済的支援を効果的に組み合わせることで、多様な悩みや不安に対応した切れ目のない支援を実施することができた。今後は、妊婦や子育て家庭にさらに寄り添った伴走型相談支援の充実を図るとともに、必要な子育て情報や子育て支援サービスがより広く対象者に届くよう、周知方法や情報発信の工夫を継続していく必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.14　私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」であり、偏差値は59.5という結果であった。本市では、偏差値が比較的高水準であることから、引き続きこれらの支援を継続する。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
すべての妊婦や子育て家庭が、安心して妊娠・出産・子育てができきるよう、多種多様なニーズに応じた伴走型相談支援と経済的支援の充実を図る。また、子育て情報や子育て支援サービス等の取組みが市民に十分に認識されるよう、情報発信の工夫を行い広く周知に努める。
結婚・妊娠・出産に向けた環境整備については、「No.14　私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」という指標にかかるウェルビーイング向上にも資すると考えており、ライフステージが変化する節目における支援を実施していく。

■施策評価シート　　9-01-①

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
総合相談事業（衛生費）	子育て相談センター	○	母子健康手帳交付時や随時の相談を実施し、情報提供や不安の軽減を図り、また、継続支援が必要な場合は、関係機関と情報共有や連携を図り、必要な支援につなげることができ、期待どおりの成果を得るとこができたため。
妊婦健診事業	子育て相談センター	○	安心して出産を迎えるため、妊婦健診や1か月児健康診査にかかる費用負担を軽減するため、公費負担助成を実施し、期待どおりの成果を得ることができたため。
妊娠・出産包括支援事業	子育て相談センター	○	産前産後サポート事業や産婦健診など産後の母児の相談支援に加え、令和7年度から産後ケア事業の「通所サービス」を新たに導入し、支援を充実させ、期待どおりの成果を得るとこができたため。
妊婦等包括相談支援事業	子育て相談センター	○	妊娠届出時より、妊婦や特に0～2歳の低年齢期の子育て家庭に寄り添い、必要な支援につなぐ伴走型相談支援と妊婦のための支援給付を効果的に組み合わせて行うことにより、妊婦等の身体的、精神的ケア及び経済的支援を実施し、期待どおりの成果を得るとこができたため。
結婚新生活支援事業	こども若者政策課	○	新生活にかかる住居費等の支援を実施したことにより、新婚世帯の負担軽減とともに、安心して結婚できる環境づくりおよび定住促進を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
不妊・不育治療費助成事業	子育て相談センター

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
14	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2			
		偏差値	59.5	59.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	26	82							

■施策評価シート　　9-01-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	安心してこどもを産み育てられる支援の充実		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	9-01-②	施策名	こどもの発育・発達に向けた子育て支援	

施策の概要
すべてのこどもが健やかに育つよう、病気等の予防・早期発見・早期対応に努めます。また、子育て家庭の負担軽減のための家事・育児を支援するヘルパー派遣やこどもの成長や発達に関して、養育者等が正しい知識を持ち、こどもと共に育つことで、不安や悩みを軽減し育児できるよう切れ目のない子育て支援の充実を図ります。

成果指標（単位）	出産後にすこやか訪問を利用した人数（人）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	1,050	1,040	1,049	1,056
実績値	1,112	994			

成果指標実績に対するコメント
乳幼児健診や専門職による訪問などにより、こどもの発育や発達、病気等の早期発見・早期対応をすることで、養育者への正しい知識や情報を提供し、不安軽減や育児支援に繋げられるよう努めたが、すこやか訪問の対象者が目標値を下回ったことから、実績値も下回った。

施策の達成度評価
こどもの成長や発達について、養育者が正しく知識を持ち、理解を深めることで、乳幼児健診や専門職による訪問時の早期発見から関係機関への適切な支援につなげ、養育者等の不安や悩みを軽減でき、引き続き切れ目のない支援を充実させる。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.14　私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」であり、偏差値は59.5という結果であった。本市では、偏差値が比較的高水準であることから、引き続きすべてのこどもが健やかに育つよう、これらの支援を継続する。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
養育者がこどもに適切な関わりができるよう相談支援や情報提供を行うことで、成長・発達について正しい知識を持ち、不安や悩みを軽減できる取組に努める。
こどもの発育・発達に向けた子育て支援については、「No.14　私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」という指標にかかるウェルビーイング向上にも資すると考えており、ライフステージが変化する節目における支援を実施していく。

■施策評価シート　　9-01-②

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
総合相談事業（民生費）	子育て相談センター	○	出産から育児、子育てに関して切れ目のない子育て支援（草津市版ネウボラ）を行うため、相談支援や子育てサービスの情報提供を実施し、不安の軽減を図るとともに、相談等を通じて必要な子育て支援サービスにつなげ、期待どおりの成果を得ることができたため。
乳幼児健診事業	子育て相談センター	○	こどもの健全な育成・健康増進を図るとともに、障害の早期発見・早期療育を推進し、福祉・教育につながる最初の役割を担い、不適切な養育を早期発見し、早期に子育ての支援が必要な乳幼児を把握でき、期待どおりの成果を得ることができたため。
新生児訪問事業（すこやか訪問事業（1回目））	子育て相談センター	○	概ね生後4か月未満の乳児のいる家庭を訪問し、養育者の心身の状況および養育の状況を把握し、育児等に係る相談支援を行い、育児不安の解消を行うとともに、虐待予防の観点から養育支援が必要なケースを早期に発見し、関係機関と連絡調整を図り、期待どおりの成果を得ることができたため。
育児等支援家庭訪問事業（すこやか訪問事業（2回目））	子育て相談センター	○	育児に関する相談・子育てサービスの情報提供を実施し、不安の軽減を図るため、生後6か月から1歳未満のこどもがいるご家庭に、保育士が訪問し、育児相談や子育ての情報提供などを行い、育児支援の必要なケースを早期に把握し、適切な子育て支援サービスにつなげ、期待どおりの成果を得ることができたため。
草津っ子サポート事業	こども家庭若者課	○	生後1歳未満の子を持つ子育て世帯の希望者に対し、家事・育児を担うヘルパー派遣を行い、子育て支援を行うことができ、期待どおりの成果を得ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
未熟児養育医療事業	子育て相談センター
母子健康教室開催事業	子育て相談センター
養育支援訪問事業	子育て相談センター
多胎児養育支援ヘルパー派遣事業	こども家庭若者課
児童福祉援護事務	こども家庭若者課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
14	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2			
		偏差値	59.5	59.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	26								

■施策評価シート　　9-02-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	9-02-①	施策名	就学前教育・保育の量の確保と質の向上	

施策の概要

児童数や教育・保育ニーズの変化に対応するため、安全・安心な保育環境や施設定員の確保と併せて、教育・保育を担う質の高い人材の安定的な確保・育成に取り組みます。また、こどもの豊かな育ちや学びを支えるため、長期的な視点に立ち、学校教育への円滑な接続を図りながら、教育・保育内容の充実に努めます。

成果指標（単位）	「就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実」に満足している市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	21.8	22.1	22.4	22.7
実績値	21.5	22.6			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実に満足している市民の割合は、前年度より1.1ポイント増加し、目標値を達成することができた。待機児童が発生したものの、小規模保育施設の整備支援により、保育の受け皿を拡充したことや、子育て支援施策として、第3子以降の保育料無償化や保育施設等へ紙おむつを無償配布等を行っていることなどに対する市民の評価が表れたものと考える。

施策の達成度評価

安全・安心な保育環境に向けて、保育所・認定こども園等の運営支援や、公立施設における適正な維持管理等を行うとともに、待機児童解消に向けた小規模保育施設施設の整備を支援し、施設定員増を行った。
また、奨学金返還支援や定着応援支援補助の実施、ダイレクトメールやSNSを活用した広報周知強化により、市内保育施設の人材確保および定着を推進するとともに、質の高い就学前教育・保育の提供に向けて、保育士等を対象とした各種研修を実施し、人材育成を図った。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標のなかで、「No.15　私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」「No.6　私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」は、偏差値が60を上回る結果であった。こうした偏差値が高い水準であったことを継続できるよう、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、保育の受け皿と保育士確保と合わせ、質の高い就学前教育・保育を提供するための人材育成等を行っていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

保育所・認定こども園等の運営支援や、公立施設における適正な維持管理等を引き続き行うとともに、就学前児童数や保育需要の動向を見極めながら、待機児童の解消に向けた施設定員と保育士の確保、また質の高い就学前教育・保育を提供するための人材確保、必要な保護者負担軽減に取り組む。

就学前教育・保育の量の確保と質の向上の取組は、「No.6　私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」「No.14　私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」「No.15　私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーング向上にも資する取組であると考えており、引き続き、就学前教育・保育施設における運営支援、維持管理、施設定員と保育士の確保や人材育成、保護者負担の軽減を実施していく。

■施策評価シート　　9-02-①

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
施設等利用給付事業（民生費）	幼児課	○	認可外保育施設や私立幼稚園等における幼児教育・保育の無償化対象者への子ども・子育て支援法に基づく利用給付を円滑に行い、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができたため。
施設等利用給付事業（教育費）	幼児課	○	
保育所・認定こども園運営支援事業	幼児課	○	公立保育所・認定こども園において、必要な保育士等の配置を行うことにより、保育体制の確保を行うことができたため。
認定こども園運営支援事業	幼児課	○	
保育所・認定こども園指導研修事業	幼児課	○	初任者や若年層職員を対象とした研修や、中堅職員等に対するキャリアアップ研修等を行い、職員のスキルや知識の向上を促進できたため。
認定こども園指導研修事業	幼児課	○	
保育士等確保対策事業（民生費）	幼児課	○	学生や潜在保育士等に対し、ダイレクトメールやSNS広告配信等を活用し、本市の保育士支援制度や保育施設の情報を発信することにより、保育士の安定的確保につなげることができたため。
保育士等確保対策事業（教育費）	幼児課	○	
家庭的保育事業	幼児課	○	家庭的保育施設に対して、給付費の支弁に併せて、保育体制の強化に対する支援や食材料費高騰対策への支援を行うことにより、低年齢児の保育環境の充実を図ることができたため。
家庭的保育事業	幼児施設課	○	
小規模保育事業	幼児課	○	保育ニーズを満たすためには、定員確保とともに人材確保も重要であることから、小規模保育施設に対して、給付費の支弁に併せて、良質な教育・保育を提供するため国基準より充実した保育士等の配置や保育士確保、食材料費高騰対策への支援を行うことで、低年齢児の保育環境の充実を図ることができたため。
小規模保育事業	幼児施設課	○	
民間保育所委託費支給事業	幼児施設課	○	私立認可保育所に対して、子ども・子育て支援法に基づき、給付費を支弁することにより、入所児童の保育環境の充実を図ることができたため。

■施策評価シート　　9-02-①

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
民間保育所運営補助事業	幼児施設課	○	保育ニーズを満たすためには、定員確保とともに人材確保も重要であることから、私立認可保育所に対して、良質な教育・保育を提供するため国基準より充実した保育士等の配置や保育士確保、食材料費高騰対策への支援を行うことで、入所児童の保育環境の充実を図ることができたため。
民間認定こども園施設型給付費支給事業（民生費）	幼児施設課	○	私立幼保連携型認定こども園などに対して、給付費を支弁することにより、入所児童の保育環境の充実を図ることができたため。
民間認定こども園運営補助事業	幼児施設課	○	保育ニーズを満たすためには、定員確保とともに人材確保も重要であることから、私立幼保連携型認定こども園などに対して、良質な教育・保育を提供するため国基準より充実した保育士等の配置や保育士確保、食材料費高騰対策への支援を行うことで、入所児童の保育環境の充実を図ることができたため。
保育所・認定こども園管理運営事業（民生費）	幼児施設課	○	公立保育所および公立幼保連携型認定こども園の運営や維持管理を適切に行うことにより、良質な教育・保育環境を提供することができたため。
認定こども園管理運営事業（教育費）	幼児施設課	○	公立幼稚園型認定こども園の運営や維持管理を適切に行うことにより、良質な教育・保育環境を提供することができたため。
民間幼稚園・認定こども園運営事業（教育費）	幼児施設課	○	私立幼稚園や幼稚園型認定こども園に対して、食材料費高騰対策への支援等を行うことで、入所児童の教育・保育環境の充実を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
保育所・認定こども園管理運営事業	こども若者政策課
認定こども園運営支援事業（教育費）	幼児施設課
保育所・認定こども園運営支援事業（民生費）	幼児施設課
家庭支援活動事業	幼児課
私立幼稚園運営推進事業	幼児課
認定こども園運営補助事業（幼児課）	幼児課
認定こども園管理運営事業	幼児課
認定こども園給食事業	幼児課
認定こども園保健推進事業	幼児課
保育所・認定こども園管理運営事業	幼児課
保育所・認定こども園給食事業	幼児課
保育所・認定こども園健康管理事業	幼児課
保育所運営補助事業（幼児課）	幼児課
預かり保育事業	幼児課
幼稚園・認定こども園運営事業（幼児課）	幼児課
利用者負担額管理回収事業	幼児課
他自治体広域入所事業（教育費）	幼児施設課
他自治体広域入所事業（民生費）	幼児施設課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
		偏差値	58.0	63.0			
14	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2			
		偏差値	59.5	59.5			
15	私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	実数	3.4	3.5			
		偏差値	64.6	66.5			
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

■施策評価シート　　9-02-①

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	6	21	22	23	24				

■施策評価シート　　9-02-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	9-02-②	施策名	多様なニーズに対応する保育サービスの充実	

施策の概要
こどもが安全で安心でき、健やかに育まれる放課後の活動場所として、児童育成クラブの充実と施設の整備を図ります。また、病気や病気回復期で、保護者の就労等により家庭保育が困難な場合に、病児保育室での保育を行います。

成果指標（単位）	児童育成クラブ入会率（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	100	100	100	100
実績値	99.6	99.7			

成果指標実績に対するコメント
令和7年度の児童育成クラブ入会率は、前年度より0.1%増加したものの、目標値を達成することはできなかった。新たに民設民営の児童育成クラブを整備したものの、一部の小学校区で受入可能人数を上回る入会申し込みがあり、継続して利用ニーズが増加していることが要因である。

施策の達成度評価
民設児童育成クラブの開設による定員増や、各児童育成クラブにおける受け入れにかかる弾力運用を行い、前年度比で106人増の受け入れを行ったが、一部の小学校区で受入可能人数を上回る入会希望があったため、待機児童が発生した。 病児保育室については、新たに1施設を開設したことで受け入れ体制を強化し、より安心して働き続けられる環境を整えた。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、偏差値が高い順に、「No.15　私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」「No.14　私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」があり、いずれも偏差値が55を上回る結果であった。 本市は、家庭の就労支援として、児童育成クラブや病児保育室の取組を進めており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、児童育成クラブや病児保育室がより効果的な取組となるよう引き続き取り組む。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
これまでの取組により、児童育成クラブについては、民設児童育成クラブの開設による定員増に努めてきた。市域全体の小学生人口はピークを迎える見込みであるが、開発等による影響や多様化する保育ニーズにより、今後も児童育成クラブへの入会希望者数が増加する可能性があるため、引き続き保育ニーズを注視しながら、待機児童の解消に向けた取組を行っていく。 また、病児保育室については、就労と子育ての両立に向け、これまでの環境を安定的に維持していく。
児童育成クラブ・病児保育室の取組は、子育て世帯への就労支援だけではなく、「No.14　私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」「No.15　私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも子育て環境の整備の取組をはじめ、多様な保育ニーズに応える事業を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
児童育成クラブ運営事業	こども若者政策課	○	待機児童の解消に向けた取組を実施するとともに、支援員等への研修を行うことにより、安全・安心なクラブ運営が図れたため。
病児・病後児保育運営事業	こども若者政策課	○	安全・安心な病児・病後児保育の運営体制を確保できたため。

■施策評価シート　　9-02-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
14	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2			
		偏差値	59.5	59.5			
15	私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	実数	3.4	3.5			
		偏差値	64.6	66.5			
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

■施策評価シート　　9-03-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者や親子がいきいき過ごせる場づくり		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	9-03-①	施策名	子育て支援ネットワークの推進	

施策の概要

JR 草津駅前と南草津駅前の子育て支援拠点施設を中心とした子育て支援施設を通じて、子育て支援に関する様々な情報や、交流の場を提供するとともに、関係団体等のネットワークをさらに強化し、関係機関との連携を深めます。

成果指標（単位）	子育て支援拠点施設を利用された人数（人）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	116,333	112,522	109,052	108,651
実績値	117,041	118,116			

成果指標実績に対するコメント

こどもと子育て中の親子の交流の場の提供、子育てに関する相談や情報発信を行うため、子育て支援拠点施設の適正な運営を行い、地域の身近な場所で、親子の交流や育児相談等を通じて、子育ての不安を軽減するとともに、こどもの健やかな育ちを促進したことで、目標値を上回ることができた。

施策の達成度評価

市内に7か所の子育て支援施設を設置し、地域の身近な場所で気軽に育児相談等ができ、関係機関への必要な支援に繋げました。引き続き、子育て世帯の必要な支援に繋げられるよう関係機関との連携を強化したい。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.14　私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」、「No19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」であり、偏差値は両方とも50後半という結果であった。本市では、偏差値が比較的高水準であることから、引き続きこれらの支援を継続する。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

これまでの取組により、子育て支援施設の利用者数は増加傾向であり、さらに利用しやすくなる取り組みとして、子育て関連イベントの充実や積極的な周知に努めていきたい。

子育て支援ネットーワークを推進し、関係機関の連携が強化されることで、、「No.14　私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」、「No19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上に資すると考えており、子育て世帯の必要な支援に繋げられるよう関係機関との子育て支援ネットワークを強化したい。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
児童館運営事業	子育て相談センター	○	児童健全育成の推進を図るため、児童館活動を実施する社会福祉法人への補助を行い、子育てに関する相談や親子の交流の場を提供するための広場を運営した結果、期待どおりの成果を得ることができたため。
つどいの広場事業	子育て相談センター	○	おおむね3歳未満の子育て家庭が気軽に集い、こどもの育ちや思いを語り合い、交流するための広場を運営した結果、期待どおりの成果を得ることができたため。
子育て支援センター運営事業	子育て相談センター	○	子育てに関する相談や親子の交流、学習の場を提供するとともに、公的なサービスや民間活動の情報を集約し、子育て情報サイト等を通して発信し、子育ての不安や悩みを抱える家庭の解消に向け事業を推進した結果、期待どおりの成果を得ることができたため。
子育て支援拠点施設運営事業	子育て相談センター	○	こどもと保護者が交流することのできる場の提供、子育てに関する相談機能、子育てに関する情報発信機能を備えた子育ての中核拠点となる施設、子育て支援拠点施設を適正に運営した結果、期待どおりの成果を得ることができたため。

■施策評価シート　　9-03-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
子育て支援事業	子育て相談センター

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
14	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2			
		偏差値	59.5	59.5			
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	26								

■施策評価シート　　9-03-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者や親子がいきいき過ごせる場づくり		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	9-03-②	施策名	こども・若者が安心できる場づくり	

施策の概要
社会生活を送るうえで様々な悩みを抱えているこども・若者に対して、個性や能力に合わせた居場所を提供し、自己肯定感や自己有用感を高め、社会参加や自立に向けたステップを歩めるよう支援します。また、地域や団体と連携し、地域行事や体験活動、社会活動への参加を通じて、地域におけるこども・若者の居場所の充実を図ります。

成果指標（単位）	草津市子ども・若者の居場所に参加して、期間当初から環境に変化が見られた者の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	60	60	60	60
実績値	60	75			

成果指標実績に対するコメント
居場所に参加したこども・若者における効果測定の結果、期間当初から環境に変化が見られた割合は前年度より15ポイント増加し、令和7年度の目標値を上回った。これは、居場所スタッフやこども・若者相談員が、本人の個性や能力をみながら、思いを表出できて安心できる場づくりを行ったことにより変化が表れたものと考える。

施策の達成度評価
こども・若者の居場所事業を推進した結果、様々な悩みを抱えているこども・若者の社会参加や自立に向けたステップを歩むことができ、一定の効果がみられた。引き続き、社会活動への参加等を通じて効果的な居場所事業となるよう進めていく。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.15　私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」があり、偏差値が60を上回る結果であった。引き続き、ウェルビーイングの観点からも、社会生活を送るうえで様々な悩みを抱えているこども・若者が社会参加や自立に向けたステップを歩めるよう、個性や能力に合わせた柔軟な居場所を提供できるよう相談・支援を行いたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
これまでの取組みにより、居場所に参加したこども・若者は、目標値以上に参加者の環境に変化が見られた一方で、参加者の固定化など課題はあることから、令和9年度は引き続き、参加しているこども・若者に対して、個性や能力に合わせた柔軟な居場所を提供するための相談・支援を行うとともに、支援を必要とする人には新たに一歩踏み出して居場所に参加できるよう相談・支援を進めていく。
様々な悩みを抱えているこども・若者に合った居場所を提供する取組は、「No.15　私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、引き続き、関係機関等との連携を深め、参加者の個性や能力に合わせた柔軟な居場所が提供できるよう相談・支援を行っていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
こども・若者支援事業	こども家庭若者課	○	社会生活を送るうえで様々な悩みを抱えているこども・若者が社会参加や自立に向けたステップを歩めるよう、関係機関等との連携を深め、個性や能力に合わせた柔軟な居場所を提供し、相談・支援を行うことができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　9-03-②

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
15	私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	実数	3.4	3.5			
		偏差値	64.6	66.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

■施策評価シート　　9-04-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者を支える環境づくり		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	9-04-①	施策名	こども・若者の健全育成の推進	

施策の概要
こども・若者が、自分らしく自らの希望に応じてその意欲と能力を生かすことができる環境を作るため、地域・学校・関係機関が連携し、こども・若者の健全育成を進めます。 また、相談業務や支援プログラムを実施し、非行からの立ち直りを支援します。

成果指標（単位）	草津市青少年育成大会の内容について「とてもよかった」「よかった」と回答した市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	85	86	87	88
実績値	82.8	81.2			

成果指標実績に対するコメント
青少年育成大会の参加者へのアンケートの結果、草津市青少年育成大会の内容について「とてもよかった」「よかった」と回答した市民の割合は、前年度に比べて1.6ポイント減少し、目標値の達成には至らなかったが、参加者からは「こどもたちの逞しさと思いの強さを感じた」「社会に出るための経験の必要さを感じた」等の意見があり、青少年への理解や関心を示されていたものと考える。

施策の達成度評価
青少年の育成活動事業などの各種事業を推進した結果、地域・学校・関係機関との連携や草津市青少年育成市民会議の活動については、青少年の健全育成に関する意識・関心につなげることができ、一定の効果が見られた。また、少年センターにおける相談業務や支援プログラムについては、就労や進学につなげるなど非行等からの立ち直りへの一助となった。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.15　私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」は偏差値が65を上回り、「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」は、偏差値が55を上回る結果であった。 ウェルビーイングの観点からも、こども・若者が、自分らしく自らの希望に応じてその意欲と能力を生かすことができるよう、引き続き、関係機関等との連携を深め、一人ひとりに寄り添った環境づくりや相談・支援を行う。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き青少年の健全育成のため、地域・学校・関係機関が連携を深め、こども・若者が自分らしく自らの希望に応じてその意欲と能力を生かすことができる環境づくりを草津市青少年育成市民会議の活動を通して行う。また、立ち直り支援については、一人ひとりに寄り添った支援ができるよう、相談や支援プログラム等を行っていく。
こども・若者が、自分らしく自らの希望に応じてその意欲と能力を生かすことができるよう、関係機関等との連携を深め、一人ひとりに寄り添った環境づくりや相談・支援を行う取組は、「No.15　私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、こども・若者が、自分らしく自らの希望に応じてその意欲と能力を生かすことができるよう、引き続き、関係機関等との連携を深め、一人ひとりに寄り添った環境づくりや相談・支援を行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
こども・若者育成支援推進事業	こども家庭若者課	○	様々な悩みを抱えるこども・若者に対して、相談窓口での丁寧な相談支援を行うことができた。またこども若者支援協議会や研修会の開催により関係機関との連携強化を図ることができたため。
少年センター管理運営事業	こども家庭若者課	○	草津市青少年市民会議と共同して、育成大会の開催や、挨拶（あいさつ）運動の推進など青少年の健全育成を推進できたため。
青少年育成活動事業	こども家庭若者課	○	相談や支援プログラムの実施と併せ、少年補導委員や警察、学校等と協力しながら街頭補導活動を通じて、非行防止と立ち直り支援を図ることができたため。

■施策評価シート　　9-04-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
こども・若者会議運営事業	こども若者政策課
青年国際交流事業	生涯学習課
20歳のつどい開催事業	生涯学習課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
15	私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	実数	3.4	3.5			
		偏差値	64.6	66.5			
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

■施策評価シート　　9-04-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者を支える環境づくり		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	9-04-②	施策名	児童虐待の防止と早期発見・早期対応	

施策の概要
児童虐待の防止、早期発見・早期対応に努めるとともに、こどもとその家族の安心できる生活のための支援として、必要な相談体制の充実や関係機関等との連携を進めます。

成果指標（単位）	児童虐待による死亡事例の発生件数（件）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	0	0	0	0
実績値	0	0			

成果指標実績に対するコメント
令和7年度の児童虐待による死亡事例の発生件数は0件であり、目標値を達成することができた。児童虐待の防止、早期発見・早期対応の推進によるものと考える。

施策の達成度評価
相談窓口の周知や関係機関連携を図るとともに、オレンジリボンの啓発や関係機関向けの研修を実施したことにより、児童虐待防止の効果がみられた。引き続き、児童虐待の防止に向け、早期発見と迅速かつ適切な支援を行うため、各関係機関と連携し、対策・支援策を講じる必要がある。
当該施策に関する地域幸福度(Well-Being)指標は「No.15　私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」であり、偏差値が60を上回る結果であった。高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、児童虐待の防止に向け、早期発見と迅速かつ適切な支援を行うため、各関係機関と連携し、対策・支援策を講じる必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
これまでの取組により、児童虐待の防止の効果がみられたことから、引き続き、様々な相談に応じ、関係機関と連携し、児童虐待の防止、早期発見・早期対応に取り組む。
児童虐待防止の取組は、「No.15　私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する取組であると考えており、指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、引き続き、様々な相談に応じ、関係機関と連携し、児童虐待の防止、早期発見・早期対応に取り組む。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
養育支援ヘルパー派遣事業	家庭児童相談室	○	支援が必要な家庭にヘルパー派遣を行い、子育ての負担軽減を図った結果、良好な育児環境を整えることができたため。
家庭児童相談指導事業	家庭児童相談室	○	児童虐待防止担当者向けの外部研修への参加や、内部研修を実施した結果、相談支援体制を強化することができたため。

■施策評価シート　　9-04-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
子育て短期支援事業	家庭児童相談室

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
15	私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	実数	3.4	3.5			
		偏差値	64.6	66.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

■施策評価シート　　9-04-③

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者を支える環境づくり		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	9-04-③	施策名	ひとり親家庭や経済的困窮家庭等への支援の充実	

施策の概要

ひとり親家庭等の自立と生活の安定のため、相談体制や経済的支援、日常生活の支援等の充実を図ります。また、こどもが生まれ育った環境に左右されることなく、将来の夢や目標の実現に向かっていけるよう、必要な支援を行います。

成果指標（単位）	高等職業訓練促進給付制度利用により資格取得後、就労に結びついた割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	100	100	100	100
実績値	100	100			

成果指標実績に対するコメント

令和7年度の高等職業訓練促進給付制度利用により資格取得後、就労に結びついた割合は100%であり、取得した資格を十分に活かし、就労につながったものと考える。

施策の達成度評価

相談に応じながら、ひとり親家庭や経済的困窮家庭等への日常生活の支援や経済的支援、就職に有利な技能の習得や資格取得等のための各種給付金を活用いただいた結果、ひとり親家庭等の自立と安定を図ることができた。引き続き、ひとり親家庭等への相談支援や経済的支援、日常生活の支援等の充実を行いたい。

当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標、「No.14　私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」の、偏差値は59.5であり、60に近い結果であった。
これは、必要な方へ必要な施策が届いていると考えられるが、さらなる向上を目指し、引き続き、必要な方へ必要な支援が届くように各事業を推進する。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

これまでの取組により、ひとり親家庭や経済的困窮家庭等への支援については相談体制の充実や経済的支援、日常生活の支援等において一定支援することができているが、さらにその取り組みを進めていくためには、支援制度の情報発信を積極的に行い、ひとり親家庭等の相談対応や、関係機関と連携を実施していく。

ひとり親家庭や生活困窮家庭等への支援の取組については、「No.14.私たちの暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」の向上に資する取り組みであると考えており、この指標が高い水準であったことを踏まえ、今後においても必要な支援が必要な方へ届くよう、制度の周知や相談支援を行う。

■施策評価シート　　9-04-③

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
児童扶養手当給付事業	こども家庭若者課	○	受給資格を確認のうえ、適切に給付を行ったため。
母子生活支援施設入所事業	こども家庭若者課	○	DV等の理由により母子の保護を行い自立に向けた支援を行うことができたため。
ひとり親家庭等支援事業	こども家庭若者課	○	母子・父子自立支援員を3名配置し、ひとり親家庭の相談対応や、各種支援制度の利用を勧め、ひとり親家庭の生活の安定を図ることができたため。
ひとり親家庭等就業支援事業	こども家庭若者課	○	ひとり親家庭の自立のため、就労に有利な技能の習得および資格取得等の支援を行うことができたため。
母子家庭福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行ったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
助産施設入所事業	こども家庭若者課
母子等福祉活動費補助金事業	こども家庭若者課
母子福祉資金等貸付事業	こども家庭若者課
父子家庭福祉医療助成事業	保険年金課
母子家庭等福祉医療事務	保険年金課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
14	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2			
		偏差値	59.5	59.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）									

■施策評価シート　　9-04-④

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者を支える環境づくり		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	9-04-④	施策名	発達障害児等への支援の充実	

施策の概要
ライフステージを通して、医療、保育、教育、福祉、就労等の多様な関係機関と連携しながら、切れ目のない相談支援を進めます。また、発達に支援が必要なこどもに対して、早期に療育につなげるとともに、地域の教育・保育施設や 児童発達支援事業所等が支援の充実を図ることができるよう児童発達支援センターの機能強化を推進します。

成果指標（単位）	相談支援延べ人数（人）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	3,992	4,032	4,073	4,113
実績値	3,914	4,008			

成果指標実績に対するコメント
発達に支援が必要な方への相談件数は前年度に比べ94人増加し、目標値を達成することができた。発達に支援が必要な方に対する相談支援のニーズは増加しており、発達支援センターに専門職を配置したことで、医療、保育、教育、福祉、就労等の多様な相談支援のニーズに対応できたものと考える。

施策の達成度評価
発達支援センターが、地域の障害児支援の中核的役割を担う児童発達支援センターとして、早期療育や親子体験教室を実施し、早期からの発達支援に取り組んだ。また、乳幼児期から成人期にかけて相談支援を実施するとともにグループ保育やペアレント・トレーニングを行い地域支援や家族支援の充実を図ることができた。
令和6年度から令和7年度にかけて、最も偏差値が上昇した当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は「№6　私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」であり、上昇幅は5.0ポイントであった。 令和7年度は、切れ目のない相談支援などの「児童発達支援センターの機能強化」の施策を推進してきており、こうした上昇傾向を踏まえ、ウェルビーイングの観点からも引き続き支援の充実を図っていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
早期療育の充実や多様な相談支援のニーズに関係機関と連携しながら対応するとともに、地域の就学前教育・保育施設、学校、障害児通所支援事業所等の関係機関への支援に取り組む。
切れ目のない相談支援などの取組は、児童発達支援センターの機能強化を図るだけでなく「№6　私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイングの観点からも、切れ目のない相談支援をはじめ、発達に支援が必要なこどもに対して早期に療育につなげるための取組を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
発達支援センター運営事業	発達支援センター	○	多様な相談支援のニーズに対応するとともに、グループ保育やペアレント・トレーニングを実施し、地域支援や家族支援に取り組むことができたため。
湖の子園運営事業	発達支援センター	○	親子体験教室を実施し、早期からの療育につなげるとともに、地域の保育所等に在籍する加配対象児の保護者の交流会を実施し、保護者支援に取り組むことができたため。

■施策評価シート　　9-04-④

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
障害児通所給付事業	発達支援センター
障害児支援事業	発達支援センター

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
		偏差値	58.0	63.0			
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	6								

■施策評価シート　　9-04-⑤

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者を支える環境づくり		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	9-04-⑤	施策名	子育てに伴う経済的負担の軽減	

施策の概要
子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、児童手当の支給や乳幼児、小中学生・高校生等の医療費助成等を行います。

成果指標（単位）	「こども・若者を支える環境づくり」に満足している市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	21.8	22.1	22.4	22.7
実績値	21.5	20.0			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、こども・若者を支える環境づくりに満足している市民の割合は、前年度と比べ1.5ポイント低くなり、目標値を達成することはできなかったものの、子育てに伴う経済的負担の軽減については一定図れていると考える。

施策の達成度評価
子育て家庭への児童手当の支給や、乳幼児・小中学生・高校生等の医療費助成等を適切に行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ることができた。引き続き、子育てに伴う経済的負担の軽減に向け施策の推進を図っていく。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標、「No.14　私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」の、偏差値は59.5であり、60に近い結果であった。 これは、必要な方へ必要な施策が届いていると考えられるが、さらなる向上を目指し、引き続き、必要な方へ必要な支援が届くように各事業を推進する。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
子育て家庭への経済的負担軽減のため、引き続き適切な助成や手当の給付を進める。
子育て家庭への経済的負担軽減については、「No.14　私たちの暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」の向上に資する取り組みであると考えており、この指標が高い水準であったことを踏まえ、今後においても必要な支援が必要な方へ届くように、制度の周知や相談支援を行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
児童手当給付事業	こども家庭若者課	○	受給資格・対象を確認のうえ、適切に給付を行ったため。
乳幼児福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行ったため。
小中学生・高校生等医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行ったため。

■施策評価シート　　9-04-⑤

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
特別児童扶養手当給付事務	こども家庭若者課
児童手当給付事務	こども家庭若者課
小中学生・高校生等医療事務	保険年金課
乳幼児福祉医療事務	保険年金課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
14	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2			
		偏差値	59.5	59.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	26								

10.長寿・介護に関する施策

■施策評価シート　10-01-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	長寿・介護
基本方針	いきいきとした高齢社会の実現		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	10-01-①	施策名	高齢者の生きがいづくり・社会参加の促進	

施策の概要
生きがいづくりや健康の保持増進のため、就労やボランティア活動等への社会参加による交流の促進、活躍の場づくりの充実等に努めます。

成果指標（単位）	シルバー人材センター会員数（人）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	721	731	741	751
実績値	711	722			

成果指標実績に対するコメント
健康講座や人権研修等と仕事説明会を同時開催し、草津市シルバー人材センターの普及啓発を図るとともに、サークル活動もPRすることで、草津市シルバー人材センターの魅力を発信することができ、会員数の増加（前年度比1.5%増）に繋げることができた。

施策の達成度評価
長寿の郷ロクハ荘やなごみの郷といった多世代交流機能・健康増進機能・介護予防機能を兼ね備えた施設を運営し、スポーツや文化的事業など、様々な方が参加・活躍できるような事業を計画・実施するとともに、シルバー人材センターや老人クラブの取組を支援することにより、高齢者の社会参加や生きがいづくりや健康の保持増進を図ることができた。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、偏差値が高い順に「No.44　私は、精神的に健康な状態である」「No.43私は、身体的に健康な状態である」「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.48　私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49　私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」があり、いずれも偏差値が50を上回る結果であった。就労やボランティア活動等を通じた社会参加の促進により、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、各種施策を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
高齢者の生きがいづくりや健康の保持増進を推進するために、引き続き、積極的な社会参加による交流の促進を目的とした施設運営や関係機関への支援に努める。
就労やボランティア活動等を通じた社会参加等の取組は、生きがいづくりや健康の保持増進だけでなく、「No.43　私は、身体的に健康な状態である」「No.44　私は、精神的に健康な状態である」といった指標ににおいて、高い水準であり、ウェルビーイング向上にも資する取組であると考えることから、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
シルバー人材センター運営・活動事業	商工観光労政課	○	一般市民や企業への多様な周知活動を実施したこと等により、全国的に会員数の減少傾向が続く中で、草津市シルバー人材センターの入会登録者数は、会員は722人（前年度比1.5%増）と増加することができたため。
ロクハ荘管理運営事業	長寿いきがい課	○	指定管理者と協議のうえ、eスポーツなど新たな取組により、フレイル予防や高齢者の生きがいづくり、仲間づくりの展開を図り、さらに、多世代交流を目的としたイベントを積極的に企画し、多彩な事業の実施や他団体との連携事業の実施を通し、利用者の満足度の向上に努めたため。
なごみの郷管理運営事業	長寿いきがい課	○	

■施策評価シート　10-01-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ねんりんピック出場選手激励金支給事業	長寿いきがい課
老人福祉法施行事務	長寿いきがい課
老人クラブ活動補助事業	長寿いきがい課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
		偏差値	79.3	80.0			
44	私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6	3.7			
		偏差値	79.7	80.0			
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8			
		偏差値	55.6	56.1			
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	54.9	56.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	101	102	118						

■施策評価シート　　10-01-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	長寿・介護
基本方針	いきいきとした高齢社会の実現		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	10-01-②	施策名	高齢者の健康づくり・介護予防の推進	

施策の概要
要支援・要介護状態になることを予防し、日常生活の活動を高めることで、生きがいのある生活を送ることができるよう、介護予防の知識普及や地域での介護予防事業の展開等に努めます。

成果指標（単位）	地域サロン年間延べ参加者数（人）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	67,000	70,000	73,000	76,000
実績値	64,000	69,464			

成果指標実績に対するコメント
地域サロンについて、草津市社会福祉協議会が主体となって、企画運営相談や立ち上げ相談の対応を行うことで、地域サロンの活動が促進され、令和7年度の地域サロン年間延べ参加者数が目標値を上回った。

施策の達成度評価
高齢者が主体的に介護予防に取り組むためのきっかけづくりを目的として、市立プールを活用した介護予防事業やまちづくりセンター等におけるeスポーツ介護予防事業を実施し、また、地域における自主的な介護予防の取組を継続して支援したことで、介護予防につなげることができた。 地域サロンにおいては、草津市社会福祉協議会と連携して活性化を図り、地域での介護予防事業の展開に努めることができた。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、偏差値が高い順に「No.44　私は、精神的に健康な状態である」「No.43　私は、身体的に健康な状態である」があり、いずれも偏差値が約80という結果であった。高齢者の生きがいづくりや地域での自主的な介護予防活動の推進により、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、各種施策を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、地域で住民が自主的に介護予防に取り組むことができるよう、多彩な介護予防事業を展開するとともに、草津市社会福祉協議会と連携して地域サロンの活動を支援することにより、地域での支え合いや介護予防の普及に努めます。
高齢者が地域で主体的に介護予防に取り組むことは、要支援・要介護になることを予防するだけでなく、「No.43　私は、身体的に健康な状態である」「No.44　私は、精神的に健康な状態である」といった指標において高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■施策評価シート　　10-01-②

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
介護予防普及啓発事業	長寿いきがい課	○	高齢者をささえるしくみの発行や高齢者を対象としたプール介護予防教室、eスポーツ体験教室・地域出前講座・eスポーツルームの開設といった事業の拡大を行ったことで、地域において新たに介護予防活動を始めるきっかけづくりを進めることができたため。
地域介護予防活動支援事業	長寿いきがい課	○	いきいき百歳体操や草津歯・口からこんにちは体操において、専門の指導員を地域に派遣することで、介護予防活動を始めるきっかけや既に活動している地域団体の活動継続を図ることができたため。
高齢者フレイル予防事業	長寿いきがい課	○	専門職を派遣する出前講座を通して自らフレイル予防に取り組むきっかけづくりを行い、出前講座の周知方法を見直すことにより、申込数が増加した。このことにより、高齢者がフレイル予防に関する正しい知識を得て、自らフレイル予防に取り組むきっかけとなる機会を増やすことができたため。
地域サロン推進事業	長寿いきがい課	○	地域サロン活動の促進に向けた訪問活動により、活動している地域サロン数が前年度と比べ増加した。また、地域サロン交流会の実施等を通じて、一定の活性化を図ることができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
一般介護予防事業評価事業	長寿いきがい課
介護予防ケアマネジメント事業	長寿いきがい課
介護予防通所介護相当サービス事業	長寿いきがい課
介護予防訪問介護相当サービス事業	長寿いきがい課
活動型デイサービス事業	長寿いきがい課
高額医療合算介護予防サービス費相当事業	長寿いきがい課
高額介護予防サービス費相当事業	長寿いきがい課
高齢者配食サービス事業	長寿いきがい課
住民主体支援事業	長寿いきがい課
審査支払事務	長寿いきがい課
生活支援型訪問サービス事業	長寿いきがい課
短期集中予防サービス事業（通所型）	長寿いきがい課
短期集中予防サービス事業（訪問型）	長寿いきがい課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
		偏差値	79.3	80.0			
44	私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6	3.7			
		偏差値	79.7	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	101	102							

■施策評価シート　　10-02-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	長寿・介護
基本方針	あんしんできる高齢期の生活への支援		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	10-02-①	施策名	地域包括ケアシステムの深化・推進	

施策の概要
助け合い・支え合う地域づくりを推進するとともに、医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、医療と介護が連携して、在宅生活を支援するサービスを一体的に提供できる体制を整えます。

成果指標（単位）	地域包括支援センターへの相談件数（件）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	24,200	25,200	26,200	27,200
実績値	23,300	23,078			

成果指標実績に対するコメント
地域住民の心身の健康の保持と生活安定のために、地域包括支援センターにおいて総合相談支援などの必要な支援を行っている。草津市地域包括支援センター相談実績より、令和7年度の相談件数は目標値を約1,000件下回る結果となった。相談内容の内訳については、介護や介護予防に関する相談は増加しているのに対し、権利擁護に関する相談が約1,000件減少しており、このことについては、成年後見センターもだまや法テラス（日本司法支援センター）における権利擁護支援を活用していることが要因として考えられる。

施策の達成度評価
高齢者が医療や介護等の支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、住民が地域の課題を共有し、「我が事」ととらえ、課題解決に向けて話し合うために、各小学校区において「学区の医療福祉を考える会議」や地域包括支援センターが地域ケア推進会議を主催し、住民同士が支え合う地域づくりの機運を高め、民生委員やケアマネジャーの連携強化を図った。また、草津市在宅医療介護連携センターを核として、多様な組織・機関と協働しながら相談対応等を通じて在宅医療と介護の連携を進めることにより、切れ目のないサービスの提供につなげることができた。こうした助け合い・支えあう地域づくりや、医療と介護が連携して在宅生活を支援する取組を継続して実施する必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、偏差値が高い順に「No.44　私は、精神的に健康な状態である」「No.43　私は、身体的に健康な状態である」「No.35私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする」「No.34暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」がある。こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、今後もより安心できるまちとなるよう、地域住民や学区社協、地域包括支援センター、介護事業所、医療機関等が連携しながら地域づくりや、高齢者への支援体制を整える取組を継続していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
地域の医療福祉の関係機関や地域関係者、各種団体とのネットワークづくりを推進し、多職種が相互に役割を発揮し、切れ目のない医療・介護のサービスを提供することで、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制づくり（地域包括ケアシステム）の深化・推進を図る。
高齢者総合相談・支援事業や在宅医療・介護連携推進事業を進めることで、「No.34　暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」という点において、Well-Beingの向上につながると考えている。また、生活支援体制整備事業や地域ケア会議推進事業を進めることで、「No.35　私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする」の観点につながるため、上記施策を継続しながら、助け合い・支えあう地域づくりを推進していく。

■施策評価シート　　10-02-①

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
生活支援体制整備事業	人とくらしのサポートセンター	○	各小学校区に生活支援コーディネーターを配置し、学区の医療福祉を考える会議を通じて、地域の医療・介護関係者等が地域の課題を共有し、課題解決に向けた支え合いの取組を検討・実施することができたため。
生活支援体制整備事業	長寿いきがい課	○	生活支援サポーター養成講座を開催し、地域で役割を持つ元気な高齢者を増やすとともに、社会参加のきっかけづくり、地域でお互いに支え合える仕組みづくりの推進を図ることができたため。
在宅医療・介護連携推進事業	長寿いきがい課	○	訪問診療医のネットワーク構築を目的とした在宅医療ネット会議について、今後需要が高まる在宅医療に関する基盤づくりの検討を行った。また、多職種連携交流会・研修会、多職種連携推進会議等を開催し、情報共有や多職種間の相互理解を深める機会を設けた。これらの取組により、医療と介護の連携体制の推進を図り、在宅医療と介護を一体的に提供できる体制の構築に努めたため。
高齢者総合相談・支援事業	長寿いきがい課	○	高齢者の身近な相談窓口である地域包括支援センターにおいて、地域住民や関係機関から延べ23,078件の相談を受けることで、早期に支援が必要な高齢者を把握し、適切な支援につなぐことができたため。
地域ケア会議推進事業	長寿いきがい課	○	自立支援地域ケアカンファレンスを開催し、多職種の専門職による多角的な助言を行うことで個別課題の抽出や適切なサービス提供の手法を習得することにより、高齢者の自立支援、重症化予防に資するケアマネジメントの充実を図った。 また、地域ケア個別会議を実施し、高齢者が抱える課題を地域の関係者や専門職と共有し、解決方法の検討を行った。個別会議で把握した個別課題を整理し、地域課題を抽出、地域ケア推進会議で地域課題の共有や解決方法の検討を行ったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
すっきりさわやかサービス事業	介護保険課
自動車改造支援事業	長寿いきがい課
緊急通報システム設置支援事業	長寿いきがい課
シルバーほっとカード発行事業	長寿いきがい課
地域自立生活支援事業	長寿いきがい課
ふとんクリーンサービス事業	長寿いきがい課
家族介護教室事業	長寿いきがい課
外出支援サービス事業	長寿いきがい課
高齢者成年後見制度利用支援事業（一般会計）	長寿いきがい課
生活管理指導短期宿泊事業	長寿いきがい課
長寿祝金等支給事業	長寿いきがい課
日常生活用具給付事業	長寿いきがい課
福祉理髪サービス事業	長寿いきがい課
包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	長寿いきがい課
老人小規模住宅改造費補助事業	長寿いきがい課
老人福祉施設入所措置事業	長寿いきがい課
老人福祉施設入所判定事業	長寿いきがい課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　10-02-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9			
		偏差値	60.7	61.3			
35	私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	実数	3.4	3.5			
		偏差値	78.3	80.0			
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
		偏差値	79.3	80.0			
44	私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6	3.7			
		偏差値	79.7	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	101	102							

■施策評価シート　　10-02-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	長寿・介護
基本方針	あんしんできる高齢期の生活への支援		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	10-02-②	施策名	認知症施策の推進	

施策の概要
認知症の人もその家族も安心して生活できるまちの実現に向けて、認知症に関する正しい知識と理解の普及啓発を推進し、認知症を「我が事」と捉え、声かけ・見守りなど地域での関係づくりを進めることで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進します。

成果指標（単位）	認知症サポーター養成講座受講者数（人）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	1,000	1,100	1,200	1,300
実績値	860	1,026			

成果指標実績に対するコメント
認知症について正しい理解の普及等を目的として認知症サポーター養成講座を実施した結果、受講者数は目標値を上回った。認知症を自分事と捉えて受講している方が多く、認知症の人およびその家族が安心して生活できるまちの実現に向けて、認知症施策を継続して実施していることに対する市民の評価が表れたものと考える。

施策の達成度評価
認知症サポーター養成講座や認知症カフェ等を推進した結果、認知症の人も地域で暮らす一員としての見守りや交流の広がりをつくることができた。また、地域や医療・介護関係者と連携し、早期発見・支援体制の構築を推進することができた。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、偏差値が高い順に「No.44　私は、精神的に健康な状態である」「No.43　私は、身体的に健康な状態である」「No.6私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」であり、いずれも偏差値が60を上回る結果であった。本市は、全国に先駆けて「草津市認知症があっても安心なまちづくり条例」を制定し、認知症の人やその家族の視点を尊重して認知症施策を推進しており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、本人ミーティング等で認知症の人や家族と対話しながら、各種施策を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
草津市認知症があっても安心なまちづくり条例に規定する基本理念の実現に向けて、認知症の人とその家族の視点を尊重し、認知症に関する正しい知識と理解の普及・啓発、声かけ・見守りなどの地域での関係づくりを進めることで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進する。
認知症施策は誰もが安心して暮らせる地域づくりにつながるだけではなく、「No.6　私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」「No.43　私は、身体的に健康な状態である」「No.44　私は、精神的に健康な状態である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、指標の偏差値が高水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、認知症サポーター養成講座をはじめ、各種認知症施策を実施していく。

■施策評価シート　　10-02-②

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
認知症総合支援事業	長寿いきがい課	○	各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行った。 また、認知症初期集中支援事業について、9名の対象者に対して、チーム員会議を10回開催、訪問支援を31回行い、関係機関と連携を図ることで、対象者の半数以上が早期に必要な医療や介護サービスにつながったため。
認知症施策推進事業	長寿いきがい課	○	草津市認知症施策アクション・プランに基づき、認知症サポーター養成講座や地域安心声かけ訓練の開催、見守りネットワーク事業の周知を実施したことにより、認知症の人およびその家族のネットワークの強化につながった。また、認知症本人ミーティングを3回開催し、認知症の人が気軽に語り合える機会の創出と、認知症の人同士の交流につながった。
権利擁護事業	長寿いきがい課	○	高齢者虐待通報が56件であり、虐待を早期に発見できるよう、関係機関へ周知・啓発を行うとともに、処遇検討会議や支援ネット会議を計12回開催し、高齢者の尊厳ある生活を確保するための支援について検討した。
高齢者成年後見制度利用支援事業(特別会計)	長寿いきがい課	○	申立費用および後見報酬にかかる補助金の交付を行うとともに、被後見人の状況を把握し、裁判所への申立者がいないケースは市長申立を行うなど、高齢者の成年後見制度の利用を促進した。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
認知症高齢者等探索システム利用支援事業	長寿いきがい課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
		偏差値	58.0	63.0			
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
		偏差値	79.3	80.0			
44	私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6	3.7			
		偏差値	79.7	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	8	101	102						

■施策評価シート　10-02-③

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	長寿・介護
基本方針	あんしんできる高齢期の生活への支援		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	10-02-③	施策名	介護サービスの充実	

施策の概要
要支援・要介護の状態にあっても、誰もがその人らしく豊かな高齢期を過ごすことができるよう、介護サービスの適正水準の維持・向上を図ります。また、介護人材の定着や確保に向けた取組を進めます。

成果指標（単位）	介護保険サービスの標準給付費（千円）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	9,704,453	10,065,814	10,463,333	10,876,551
実績値	9,315,554	9,581,947			

成果指標実績に対するコメント
令和6年度の標準給付費(実績値)9,211,583千円と比較すると、令和7年度は9,581,947千円で約104%の実績となっており、令和7年度計画値である9,704,453千円に対しては約98.7%の実績であり、おおむね目標としていた値となっている。 これは、介護給付適正化事業（「要介護認定の適正化」「ケアプランの点検」「住宅改修等の点検」「縦覧点検・医療情報との突合」など）の取組の効果によって、介護給付を必要とする利用者を適切に認定し、利用者が真に必要とするサービスを介護サービス事業者が過不足なく提供することができたことが要因のひとつであると考える。

施策の達成度評価
令和6年3月に策定した「草津あんしんいきいきプラン第9期計画」（計画期間：令和6年度～令和8年度）における令和7年度の目標値に対して、おおむね計画どおりの実績となっている。 高齢化の進展に伴う要支援・要介護認定者数の増加等を要因として、今後も介護保険に係る給付費が右肩上がりになることが想定されることを踏まえて、引き続き適正な制度運用を行っていく必要がある。 また、将来にわたる介護保険制度の持続性を確保するためには、介護人材の定着や確保が重要である。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、偏差値が高い順に「No.43　私は、身体的に健康な状態である」、「No.44　私は、精神的に健康な状態である」、「No.6　私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」があり、いずれも偏差値が60を上回る結果であった。 こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、地域幸福度の観点からも、引き続き利用者が真に必要とするサービスを介護サービス事業者が過不足なく提供することができるよう、介護給付適正化事業および介護・福祉人材確保定着支援事業の取組を実施していきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
適正な制度運用を行い、介護サービスの適正水準の維持・向上を図るため、引き続き、介護給付適正化の取組を継続する。 また、介護サービスの安定供給を図るため、介護人材の定着や確保に向けた取組についても、引き続き実施していく。
介護給付適正化事業および介護・福祉人材確保定着支援事業の取組は、「No.43　私は、身体的に健康な状態である」、「No.44　私は、精神的に健康な状態である」、「No.6　私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」といった指標にかかる地域幸福度向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、地域幸福度向上の観点からも継続して実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
居宅介護サービス給付事業	介護保険課	○	草津あんしんいきいきプラン第9期計画策定時のほぼ想定どおりであり、適正な給付を行うことができたため。 なお、給付実績ベースでは前年度比106.1%となった。
地域密着型介護サービス給付事業	介護保険課	○	草津あんしんいきいきプラン第9期計画策定時のほぼ想定どおりであり、適正な給付を行うことができたため。 なお、給付実績ベースでは前年度比102.9%となった。
施設介護サービス給付事業	介護保険課	○	草津あんしんいきいきプラン第9期計画策定時における想定をやや下回ったものの、適正な給付を行うことができたため。 なお、給付実績ベースでは前年度比101.5%となった。
介護・福祉人材確保定着支援事業	介護保険課	○	草津あんしんいきいきプラン第9期計画策定時のほぼ想定どおりであり、関係機関との広域的な連携を行うことができたため。 また、若年層への介護職の魅力発信を目的とした介護介助体験を企画・実施した。

■施策評価シート　　10-02-③

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
施設整備費補助事務	介護保険課
地域密着型サービス等推進事業	介護保険課
老人福祉推進事務	長寿いきがい課
高額医療合算介護サービス事業	介護保険課
高額介護サービス事業	介護保険課
高額介護予防サービス事業	介護保険課
すっきりさわやかサービス事業	介護保険課
特定入所者介護サービス事業	介護保険課
特定入所者介護予防サービス事業	介護保険課
訪問介護利用者負担軽減事業	介護保険課
介護予防サービス給付事業	介護保険課
介護予防サービス計画給付事業	介護保険課
介護予防住宅改修事業	介護保険課
介護予防福祉用具購入事業	介護保険課
居宅介護サービス計画給付事業	介護保険課
居宅介護住宅改修事業	介護保険課
居宅介護福祉用具購入事業	介護保険課
社会福祉法人助成事業	介護保険課
地域密着型介護予防サービス給付事業	介護保険課
特例介護予防サービス給付事業	介護保険課
特例介護予防サービス計画給付事業	介護保険課
特例居宅介護サービス給付事業	介護保険課
特例居宅介護サービス計画給付事業	介護保険課
特例施設介護サービス給付事業	介護保険課
特例地域密着型介護サービス給付事業	介護保険課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
		偏差値	58.0	63.0			
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
		偏差値	79.3	80.0			
44	私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6	3.7			
		偏差値	79.7	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	5	101	102						

■施策評価シート　10-02-④

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	長寿・介護
基本方針	あんしんできる高齢期の生活への支援		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	10-02-④	施策名	介護保険制度の適正運用	

施策の概要
介護保険制度等の理解促進と利用支援、要介護認定、ケアマネジメント、事業者のサービス提供体制および介護報酬請求においてチェック体制を整備し、適正化の取組を進めます。

成果指標（単位）	介護保険料収納率（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	99.6	99.6	99.6	99.6
実績値	99.7	99.7			

成果指標実績に対するコメント
前年度に引き続き督促や催告等を含めた滞納対策に取り組んだ結果、介護保険料収納率の目標値である99.6%を達成することができた。

施策の達成度評価
・介護保険料収納率については、目標値を達成し、適切な徴収業務を実施できた。 ・要介護認定についても、審査請求による審査差戻し等は発生せず、適正な運用を行うことができた。 ・介護給付費の適正化の観点からは、ケアマネジャーに対するケアプラン点検の実施(60件)や住宅改修の事前確認、軽度者に対する福祉用具貸与のチェック等を通じて適正な介護サービスの利用促進を行うことができた。 ・市内の地域密着型サービス事業所に対する書面確認による実施を含む運営指導（29件）により、サービス提供体制や介護報酬請求に関して事業者への指導を行うことができた。 ・要支援･要介護認定者数の増加が見込まれる中、適正化の取組を継続することが課題である。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、偏差値が高い順に「No.43　私は、身体的に健康な状態である」、「No.44　私は、精神的に健康な状態である」、「No.6　私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」があり、いずれも偏差値が60を上回る結果であった。 こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、地域幸福度の観点からも、引き続き利用者が真に必要とするサービスを介護サービス事業者が過不足なく提供することができるよう、介護給付適正化事業の取組を実施していきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
・介護保険料収納率については、本収納率が維持できるように滞納対策等の徴収業務に取り組む。 ・要介護認定については、認定件数が増加する傾向にあるが、適正な認定調査水準および審査水準を維持することで、不服申し立てによる審査差戻し等が発生しないよう、適正な認定審査に取り組む。 ・介護給付費の適正化については、引き続き、ケアプラン点検や住宅改修の事前承認、軽度者に対する福祉用具貸与のチェック等を実施するとともに、運営指導を行い、適切な介護サービスの利用を促進する。
介護給付適正化事業の取組は、「No.43　私は、身体的に健康な状態である」、「No.44　私は、精神的に健康な状態である」、「No.6　私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」といった指標にかかる地域幸福度向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、地域幸福度向上の観点からも継続して実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
介護保険制度啓発普及事業	介護保険課	○	介護保険制度に関するパンフレットを郵送・配布することで啓発に努めた。また、広報くさつへの掲載や出前講座を利用して介護保険制度の啓発を実施することで、制度の周知を図った。
介護認定事務	介護保険課	○	審査請求による審査差戻しが0人であり、年間を通じて適正な介護認定事務を行った。また、審査会システムのDX化により、審査会資料作成時間が短縮され、事務の効率化が図れた。
介護給付費等適正化事業	介護保険課	○	ケアマネジャーに対するケアプラン点検の実施により、介護給付費の適正化を推進した。また、市内地域密着型サービス事業所に対して運営指導および集団指導を行い、介護サービスの質の向上に寄与した。

■施策評価シート　10-02-④

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
介護保険事業計画推進事業	長寿いきがい課
介護保険事務処理システム運営事業	介護保険課
介護保険制度運営事務	介護保険課
介護保険料管理回収事務	介護保険課
介護保険料賦課徴収事務	介護保険課
国保連合会点検・審査手数料事務	介護保険課
国保連合会負担金事務	介護保険課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
		偏差値	58.0	63.0			
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
		偏差値	79.3	80.0			
44	私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6	3.7			
		偏差値	79.7	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	101	102							

11.障害福祉に関する施策

■施策評価シート　　11-01-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	障害福祉
基本方針	共に生きる社会の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	11-01-①	施策名	障害のある人の暮らしを支えるサービス基盤の充実	

施策の概要
障害のある人のいのちと健康を守り、安心して日常生活が送れるようにするため、保健・医療・福祉等の関係機関の連携に努めるとともに、日常生活支援等の充実や細やかな相談支援を通じた障害福祉サービスの提供や施設整備の支援を行い、暮らしを支える基盤の充実と安定を図ります。

成果指標（単位）	計画相談支援利用率（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	90.8%	92.8%	94.8%	96.8%
実績値	88.8%	88.9%			

成果指標実績に対するコメント
計画相談支援利用率について、前年度より0.1%増加した。障害福祉サービスの利用者が増加する中で、基幹相談支援センターや各相談支援事業所と連携して計画相談支援を実施したことが利用率の上昇につながったと考えられるものの、目標値には及ばなかったことから、より多くの障害福祉サービス利用者が計画相談支援事業を利用され適切なケアマネジメントが行われるように、事業所等と継続して取り組んでいく必要がある。

施策の達成度評価
関係機関と連携しながら、障害のある人の現状に即した障害福祉サービスの提供を実施した。また、施設整備に対する支援や計画相談事業所への補助等を行い、暮らしを支えるサービス基盤の充実に取り組んだことで、障害福祉サービスの利用者が増加する中でも、相談支援や日常生活支援、家族等への支援に係るサービスを適切に提供することができたと考える。引き続き、サービス基盤の充実を図りたい。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「№6.私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」があり、偏差値が昨年度実績を上回る数値となった。 障害のある人が自立した日常生活、社会生活を営むことができるように、各種障害福祉サービスの維持と適正運用、施設整備の促進等により、引き続きサービス基盤の充実を図りたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、障害のある人のケアマネジメントを充実し、より利用者の現状に即した支援を提供することができるよう、計画相談支援事業所やサービス提供事業所など関係機関との連携を強化し、暮らしを支える基盤の充実と安定に取り組む。
相談支援体制を強化していくことは、様々な障害福祉サービスや給付・補助事業につながるものであることから、「№6.私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」の指標にかかるウェルビーイング向上の観点から、引き続き、障害福祉サービス提供基盤の充実に取り組む。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
居宅介護事業	障害福祉課	○	障害者のニーズに対して適切なサービス決定を行い、生活基盤の充実につながったため。
生活介護事業	障害福祉課	○	障害者のニーズに対して適切なサービス決定を行い、生活基盤の充実につながったため。
サービス利用計画事業	障害福祉課	○	サービス等利用計画の作成により、適正なサービスの利用につながったため。

■施策評価シート　　11-01-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
24時間対応型利用制度支援事業	障害福祉課
育成医療給付事業	障害福祉課
医療的ケア児保護者支援事業	障害福祉課
行動援護事業	障害福祉課
人材育成研修受講支援事業	障害福祉課
施設整備費補助金事務	障害福祉課
共同生活援助事業	障害福祉課
緊急通報システム支援事業	障害福祉課
軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業	障害福祉課
湖南地域地域活動支援センター事業	障害福祉課
更生医療給付事務	障害福祉課
高額障害福祉サービス等給付事業	障害福祉課
在宅重度障害者住宅改造費補助金事務	障害福祉課
施設入所支援事業	障害福祉課
滋賀型地域活動支援センター運営費補助金事務	障害福祉課
自立訓練事業	障害福祉課
社会的事業所運営費補助金事務	障害福祉課
重度訪問介護事業	障害福祉課
障害支援区分認定事務	障害福祉課
障害者施設家賃補助事業	障害福祉課
障害者紙おむつ助成事業	障害福祉課
障害者自立支援事業所運営費補助事業	障害福祉課
障害者生活支援システム運用事業	障害福祉課
障害者福祉計画推進事業	障害福祉課
相談支援機能強化事業	障害福祉課
短期入所事業	障害福祉課
地域相談支援給付事業	障害福祉課
同行援護事業	障害福祉課
特別障害者手当等給付事業	障害福祉課
日常生活用具給付事業	障害福祉課
日中一時支援事業	障害福祉課
補装具給付事業	障害福祉課
訪問入浴サービス事業	障害福祉課
療養介護医療給付事業	障害福祉課
療養介護事業	障害福祉課
指定特定相談支援体制強化事業	障害福祉課
重症心身障害者通所施設運営費補助金事務	障害福祉課
基幹相談支援事業	障害福祉課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
		偏差値	58.0	63.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	7								

■施策評価シート　　11-01-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	障害福祉
基本方針	共に生きる社会の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	11-01-②	施策名	障害のある人の社会参加の促進	

施策の概要
ともに育ち、学び、遊び、輝けるような暮らしやすい社会づくりを進めるため、就労支援や外出支援、コミュニケーション支援等の充実を図ります。

成果指標（単位）	福祉施設から一般就労への移行者数（人）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	28	31	34	37
実績値	26	30			

成果指標実績に対するコメント
福祉施設から一般就労への移行者数について、前年度より4名増加し、目標値を達成することができた。職場体験や実務訓練、ビジネスマナー習得、面接対応等の就労サポートを利用者に寄り添って実施したことが実績に結びついたと考える。

施策の達成度評価
関係機関と連携しながら、障害のある人が社会参加できる環境を整え、個々の能力を発揮できる環境づくりを進めたことで、就労支援や外出支援等に係るサービスを適切に提供することができたと考える。特に、就労系サービスについては、丁寧にアセスメントを実施し、利用者の意向や能力、経験を基に、必要とされるサービスに結びつけることができた。引き続き、利用者の意向や特性に寄り添ったサービスの提供を図りたい。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「6.私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」があり、偏差値が昨年度実績を上回る結果となった。 就労継続支援事業や移動支援事業、コミュニケーション支援事業等の各種取組を継続して実施することにより、障害のある人のさらなる社会参加につなげたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、就労支援や外出支援、コミュニケーション支援等の取組を推進する。また、令和9年度より就労選択支援事業の対象となる範囲が拡大することから、就労系サービス事業所や相談支援事業所などの関係機関と連携をさらに強化して事業を展開する。
「№6私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」の指標にかかるウェルビーイング向上の観点から、引き続き、関係機関と連携して障害のある人の社会参加につながる取組を実践していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
就労継続支援事業	障害福祉課	○	障害者のニーズに対して適切なサービス決定を行い、生活基盤の充実につながったため。
移動支援事業	障害福祉課	○	屋外での移動が困難な障害のある人の自立した生活および社会参加を促進することができたため。
コミュニケーション支援事業	障害福祉課	○	手話通訳者および要約筆記者の派遣を通じて、障害がある人の社会参加につながったため。また、手話奉仕員養成講座の開催により、手話通訳者の養成が図れたため。

■施策評価シート　　11-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
孤立化防止対策事業	障害福祉課
自動車改造支援事業	障害福祉課
自動車燃料・福祉タクシー運賃助成事業	障害福祉課
社会参加促進事業	障害福祉課
就労移行支援事業	障害福祉課
障害者就労促進事業	障害福祉課
障害者相談員活動事業	障害福祉課
精神障害者生活支援推進事業	障害福祉課
点字新聞購読費助成事業	障害福祉課
重度障害者等就労支援事業	障害福祉課
手話通訳員配置事業	障害福祉課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
		偏差値	58.0	63.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	7								

■施策評価シート　　11-01-③

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	障害福祉
基本方針	共に生きる社会の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	11-01-③	施策名	障害と障害のある人への理解促進と尊厳の保持	

施策の概要
すべての人権が守られ、一人ひとりの尊厳が保たれるようにするため、障害者福祉センターを核とした多様なふれあい・交流や知識普及と意識啓発により、障害と障害のある人についての理解促進を図るとともに、成年後見制度の利用支援や虐待防止対策事業の推進等に努めます。

成果指標（単位）	「共に生きる社会の推進」に満足している市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	19	21	23	25
実績値	16	17.4			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、「共に生きる社会の推進」に満足している市民の割合は前年度に比べて1.4ポイント増加した。事業の参加者には意識啓発・理解促進が図れたことが満足度の上昇につながったと考えられるものの、目標値には及ばなかったことから、より多くの市民に届くように継続した啓発が必要である。

施策の達成度評価
成年後見制度の利用促進や虐待防止対策にかかる事業を実施した。また、12月の障害者週間に合わせたパネル展示等の啓発や草津手をつなぐ育成会との協働事業による出前講座等を実施した結果、権利擁護の推進および障害と障害のある人についての理解促進を図れたことで、満足度の上昇につながったと考えられる。引き続き、障害と障害のある人についての理解促進を図りたい。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.19　.暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.37　この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」があり、いずれも偏差値が昨年度実績を上回る数値となった。 各種の取組を継続して実施することにより、引き続き、権利擁護の推進および障害と障害のある人についての理解促進を図りたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、成年後見制度の利用促進や虐待防止対策にかかる事業を実施し、権利擁護の取組を推進する。また、障害者福祉センターを核とした多様なふれあい・交流や意識啓発等を継続するとともに、草津手をつなぐ育成会との協働事業を行う等、障害と障害のある人への理解がより多くの市民に広がるよう、関係機関と連携して事業を展開する。
「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.37　この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」といった指標にかかるウェルビーイング向上の観点から、引き続き、関係機関と連携して権利擁護の推進および障害と障害のある人についての理解促進に係る取組を実践していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
障害者福祉センター管理運営事業	障害福祉課	○	多様な啓発活動などを適切に実施することができたため。
成年後見制度利用支援事業	障害福祉課	○	電話、訪問等による相談、申立支援を通じて、成年後見制度の利用につながったため。
障害者虐待防止対策支援事業	障害福祉課	○	支援体制の専門性の強化を図ったり、被虐待者を一時的に保護する居室等の確保を行うことで、虐待事案への備えや対応を図ることができたため。

■施策評価シート　　11-01-③

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
精神保健福祉対策事業	障害福祉課
各種団体活動費補助金事務	障害福祉課
障害福祉推進事務	障害福祉課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	57.7	58.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)	96								

「暮らし」支えるまち

12.防災に関する施策

■施策評価シート　12-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	防災
基本方針	自助・共助による防災対策の充実		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	12-01-①	施策名	自主防災体制の確立と市民意識の高揚	

施策の概要
自主防災組織の育成等を進め、防災訓練や地域協働での防災教育、また、住宅耐震化の支援等を進めます。また、災害時において支援を必要とされる避難行動要支援者の支援体制を事前に決定するなど、地域と一体となって防災対策を進めます。

成果指標（単位）	自主防災組織数（団体）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	210	211	212	213
実績値	209	215			

成果指標実績に対するコメント
自主防災組織数の実績値は、目標値を5件上回り、目標値を達成することができた。新たにマンション管理組合を自主防災組織事業補助金の対象としたことに合わせ、自主防災組織の設立支援に取り組んだことにより、組織数が増加したものと考える。

施策の達成度評価
自主防災組織への補助制度を拡充した結果、備品や消耗品の購入、防災訓練が実施され、地域の備蓄の強化および防災意識の向上が図られた。民間事業者により、マンションの建設や宅地の開発が進められているので、町内会の設立と合わせ、自主防災組織の設立を積極的に促す必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」があり、偏差値は60を上回る結果であった。 本市では、自主防災組織への支援を進めており、上述のとおり偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、自主防災組織の取組を推進し、共助力の向上に引き続き取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
自主防災組織への補助制度の拡充およびマンション管理組合の自主防災組織設立支援により、共助力が高まっている状況ではあるが、一部の戸数が多いマンションにおいて自主防災組織が未設置の状況であるので、積極的な設立支援に取り組む。
自主防災組織の取組は、「No.29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」の指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、支援を継続するとともに、マンション管理組合における自主防災組織設立の取組を推進する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
自主防災組織育成事業	危機管理課	○	自主防災組織への補助制度を拡充した結果、地域の備蓄の強化および防災意識の向上が図られたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
震災避難経路整備促進事業	建築政策課
民間建築物耐震化助成事務	建築政策課
自主防災組織出初式開催事業	危機管理課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
29	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.6	66.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	66	67	68	69	70	72	73	75	

■施策評価シート　12-02-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	防災
基本方針	災害に強いまちづくり		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	12-02-①	施策名	消防体制・基盤の充実	

施策の概要
消防・防災体制に係る人的資源の充実を図るとともに、消防団装備品の整備を進めるなど、迅速・確実な消防活動の確保に努めます。

成果指標（単位）	実消防団員数／定数（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	83	84	85	86
実績値	82.8	87.2			

成果指標実績に対するコメント
消防団員充足率の実績値は、目標値を4.2ポイント上回り目標を達成することができた。地域での各団員による勧誘、広報くさつ特集記事での消防団活動の紹介および団員募集、SNSでの情報発信等を行ったことで、新規団員が入団したものと考えられる。

施策の達成度評価
新規団員の獲得に向けた取り組みは一定の成果が見られた。消防団は、災害に強いまちづくりに欠かせない存在であることから、団員を確保できるよう一層の広報活動に取り組む必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」があり、偏差値は60を上回る結果であった。 本市では、消防団員の確保および装備の充実を進めており、上述のとおり偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、消防力の強化に引き続き取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、消防団の資機材・消防車両の計画的な整備や消防水利の適切な維持管理、機能別消防団員の拡充に取り込みことで、より一層の団員確保に努める。
消防団の取組は、「No.29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」の指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、消防団の装備の充実と団員確保に一層取り組む。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
湖南広域行政組合負担金事務（消防費）	危機管理課	○	消防・防災体制に係る人的・物的資源の適正な管理を行うことで、迅速な消防・防災活動につなげることができたため。
消防団活動事業	危機管理課	○	消防団装備の計画的な整備を行ったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
コミュニティ防災センター運営事業	危機管理課
消防車両等整備事業	危機管理課
消防水利維持管理事業	危機管理課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
29	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.6	66.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	66	67	68	69	70	72	73	75	

■施策評価シート　　12-02-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	防災
基本方針	災害に強いまちづくり		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	12-02-②	施策名	地域防災体制・基盤の強化	

施策の概要
災害時に即応できる防災体制と情報伝達体制等を強化させるほか、計画的な備蓄確保や地域ごとの防災拠点の整備等に努めます。

成果指標（単位）	「災害に強いまちづくり」に満足している市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	22.5	23	23.5	24
実績値	22.2	24.7			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、「災害に強いまちづくり」に満足している市民の割合は、目標値を2.2ポイント上回り、目標を達成することができた。大型備蓄倉庫や広域避難所の備蓄倉庫の新設および資機材の充実を進めた結果、満足度が上昇したものと考える。

施策の達成度評価
国の交付金を活用しながら備蓄の強化を進めた結果、避難所の衛生環境等の向上が図ることができた。引き続き、大規模災害に備え、計画的に備蓄を進めるとともに、災害に即応できる体制の強化に取り組む必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」があり、偏差値は60を上回る結果であった。 本市では、計画的な備蓄を進めており、上述のとおり偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、市民の安心につながる防災対策に引き続き取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
計画的な備蓄等により、防災に対する市民の満足度が高まっている状況ではあるが、近年の激甚化・頻発化する災害に迅速かつ的確に対応するためには、災害対策本部の機能向上に取り組む必要があることから、（仮称）危機管理センターの建設を検討する。
防災の取組は、「No.29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」の指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、計画的な備蓄を進めるとともに、（仮称）危機管理センターの建設を検討する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
防災対策事業	危機管理課	○	大型備蓄倉庫や広域避難所の備蓄倉庫の新設および資機材の充実を進めることができたため。
水防訓練事業	河川課	○	水防訓練等を実施し、水防活動の強化や県・消防等との連携強化を図ることができたため。
大雨警報警戒体制事業	河川課	○	気象情報をリアルタイムに取得し、迅速な水防活動のための体制を整えることができたため。

■施策評価シート　12-02-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
29	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.6	66.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	66	67	68	69	70	72	73	75	

■施策評価シート　12-03-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	防災
基本方針	治水対策の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	12-03-①	施策名	河川・排水路の整備	

施策の概要
雨水排水能力の向上と浸水の防除を図るため、河川・排水路の整備や適切な維持管理を行うとともに、一級河川の早期整備や適切な維持管理の実施に向け、管理者である県への要望活動に取り組みます。

成果指標（単位）	要望件数に対する実施率（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	93.4	94.5	95.6	96.7
実績値	92.3	96.2			

成果指標実績に対するコメント
いただいた要望に対して適宜対応を行い、また必要な改修時期に予算措置を行うことにより、実績値が目標値を上回る結果となった。

施策の達成度評価
各町内会の要望に対する河川・排水路の整備や適切な維持管理を実施し、雨水排水能力の向上を図ることができた。また、一級河川の整備について要望活動を行った。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.29　私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」であり、偏差値は60を上回る結果であった。 本市は、「市内点々補修工事」や「河川パトロール業務」により、河川・排水路の適切な維持管理に関する要望に即時に対応できる体制を構築していることが、高い偏差値に結びついていると考えており、ウェルビーイングの観点からも、引き続き適切な維持管理体制を整えていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、各町内会からの要望に対して迅速に対応をし、河川・排水路の雨水排水能力の向上を図るとともに、関係機関とも連携し、計画的に河川・排水路整備を行う。
河川・排水路の整備や適切な維持管理を行うことや、一級河川の整備について要望活動は、「No.29　私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する取組であると考えており、この指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、引き続き事業を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
河川改修事業	河川課	○	予定通り排水路の整備を行うことができた。
河川維持補修事業	河川課	○	適時補修を行い、適切な維持管理をすることができた。

■施策評価シート　12-03-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
草刈等河川愛護推進事業	河川課
町内会河川清掃浚渫土運搬事業	河川課
調整池維持管理事業	河川課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
29	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.6	66.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	66	68	71	75					

■施策評価シート　　12-03-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	防災
基本方針	治水対策の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	12-03-②	施策名	公共下水道雨水幹線の整備	

施策の概要
大雨による市街地の浸水被害の未然防止・軽減を図るため、雨水幹線の整備や適切な維持管理を行います。

成果指標（単位）	雨水排水路整備完了面積（ha）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	638.9	640.9	642.9	644.9
実績値	636.9	638.2			

成果指標実績に対するコメント
一部事業を繰り越したため、わずかに目標値を下回る結果となったが、計画的に雨水排水路を整備したことから、目標に近い実績となった。

施策の達成度評価
令和7年度は新草津川右岸第1排水区や北川第6排水区等の雨水幹線整備を行い、浸水被害の軽減・未然防止を図ることができた。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.29　私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」であり、偏差値は60を上回る結果であった。 全体整備計画に対する整備率において、本市は県内でも上位であり、そのような現状も、高い偏差値に結びついている要因と考えており、ウェルビーイングの観点からも、引き続き計画的に雨水幹線の整備や適切な維持管理を進めていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、計画的に整備を進め、浸水被害の軽減・防止を図る。
雨水幹線の整備や適切な維持管理を行うことは、「No.29　私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する取組であると考えており、この指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、引き続き事業を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
雨水管渠等維持管理事業	河川課	○	適時補修を行い、適切な維持管理を行うことができた。
雨水管渠整備事業	河川課	○	概ね計画通りの雨水排水路の整備を行うことができた。

■施策評価シート　　12-03-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
29	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.6	66.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	66	68	71	75					

13.生活安心・防犯
に関する施策

■施策評価シート　13-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	生活安心・防犯
基本方針	暮らしの安心の確保		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	13-01-①	施策名	市民相談業務の充実	

施策の概要
相談員の資質向上や相談体制の充実に努め、相談を受けた市民の生活上の不安や問題の早期解決を図ります。

成果指標（単位）	市民相談件数（件）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	730	730	730	730
実績値	720	807			

成果指標実績に対するコメント
相続や相隣関係など市民生活の心配ごとや不安について807件の相談があり、解決に向けた助言や情報提供を行うことができた。

施策の達成度評価
相談の解決を図るための助言や、庁内外の関係機関や法律・税務等の専門機関への案内や情報提供を行い、心配ごとや不安の解消に向けて丁寧な対応を行うことができた。
－

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
市民生活における心配ごとや不安の相談窓口として、相談内容に応じた助言および関係機関や専門機関への案内や情報提供を行うとともに、相談員の資質向上を図り、相談者へ丁寧な対応をする。
－

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
市民相談室運営事業	生活安心課	○	市民生活における様々な相談に応じた助言および関係機関や専門機関への案内や情報提供を行い、相談に適切に対応できたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　13-01-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		実数					
		偏差値					

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

■施策評価シート　13-01-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	生活安心・防犯
基本方針	暮らしの安心の確保		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	13-01-②	施策名	消費者の自立支援・消費者教育の推進と消費者団体の育成	

施策の概要

消費生活に関する相談や出前講座を行い、消費者がトラブルに巻き込まれないように教育や啓発に努めるとともに、消費者団体の育成や支援を行います。

成果指標（単位）	消費生活センターのあっせんによる相談事案の解決率（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	96.8	97.1	97.4	97.7
実績値	96.5	96.6			

成果指標実績に対するコメント

消費生活に関する契約トラブルなどの相談（苦情）が1,217件寄せられており、消費生活相談員が丁寧に聞き取り、助言、情報提供、あっせんを行い、課題解決・消費者被害救済につなげた。目標値には達しなかったが、悪質性の高い事業者への対応や自力で解決が難しい相談も多く、引き続き粘り強い交渉で消費者被害の救済に取り組んでいく。

施策の達成度評価

身近な相談窓口として、消費者トラブル解決のための助言や支援を行うことができた。また、草津市消費者リーダー会と連携して、イベントでの啓発や地域サロンや学校等で消費者教育の出前講座を実施するとともに、広報紙やホームページ等の媒体を活用した情報発信や注意喚起を行うことができた。引き続き、消費者被害の未然防止と消費者の自立支援をしていく必要がある。

－

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

引き続き、解決に向けた助言等を積極的に行い消費者被害救済に努めるとともに、複雑多様化する相談に対応するため、,国民生活センター等が実施する消費生活相談に関する専門研修を積極的に受講し消費生活相談員のスキルアップに努める。また、消費者トラブルや消費者被害の未然防止のため、草津市消費者リーダー会と連携し、学校や地域における出前講座の実施など積極的に啓発を行うとともに、消費者トラブル事例と対処法の情報発信など、あらゆる年代に向けた注意喚起を行っていく。

－

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
消費者教育推進事業	生活安心課	○	消費者トラブルに関する情報発信や消費者教育の出前講座の実施など啓発活動に取り組んだ結果、消費者被害の未然防止を図ることができたため。
消費生活相談啓発事業	生活安心課	○	消費生活相談員による丁寧な聞き取り、助言、情報提供、あっせんを行った結果、消費者被害救済につなげることができたため。

■施策評価シート　　13-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		実数					
		偏差値					

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

■施策評価シート　13-01-③

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	生活安心・防犯
基本方針	暮らしの安心の確保		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	13-01-③	施策名	生活衛生の向上と栗東市との広域連携による火葬体制の確立	

施策の概要

生活衛生の向上のため、畜犬登録・狂犬病予防注射の実施、火葬場や市営墓地の適正管理等とともに、栗東市との広域連携による新たな火葬施設の整備に向けた取組を進めます。

成果指標（単位）	狂犬病予防注射接種率（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	79.9	80.1	80.4	80.6
実績値	79.6	79.0			

成果指標実績に対するコメント

犬の飼い主に対して狂犬病予防注射について案内し、各地域まちづくりセンター等を会場に集合注射を実施し、未接種の飼い主に対して接種の勧奨を行った結果、目標値には達しなかったが、全国（R6接種率：70.8%）および滋賀県（R6接種率：66.6%）の接種率に比べて、高い接種率を保つことができた。

施策の達成度評価

狂犬病予防注射の接種率向上のため、未接種の飼い主に対して接種の勧奨を行い、周知啓発を図るとともに、畜犬登録が適切に行われるよう、ペットショップや転入者等への案内に加え、新たに畜犬登録に係るオンライン申請を開始した。そして、生活衛生の向上、市民生活の安心につなげるため、火葬場の安定的な管理運営や市営墓地の適正な維持管理に努めた。また、新たな火葬施設の整備に向け、一部事務組合および栗東市と連携し、事業推進に取り組んだ。

当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」であり、偏差値は57.9と、前年度の55.2より高い数値となった。この結果を踏まえ、引き続き、新たな火葬施設の整備に向け、取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

狂犬病予防注射の未接種の飼い主に対して接種の勧奨、接種率の向上のため周知啓発を行うとともに、火葬場および市営墓地の管理を適正に行い、生活衛生の向上を図っていく。また、新たな火葬施設の整備については、令和9年度末に供用開始がされるよう、一部事務組合および栗東市と連携しながら、引き続き取り組んでいく。

火葬場や市営墓地の適正管理は、「No19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、指標の数値が年々高まっていることを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、新たな火葬施設の整備に向けて取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
畜犬対策事業	生活安心課	○	畜犬登録に関する周知啓発、狂犬病予防注射の接種促進に努めた結果、全国と滋賀県の平均接種率より高い接種率を保つことができたため。
火葬場管理運営事業	生活安心課	○	指定管理者制度による火葬場の管理運営を行うとともに、必要な保全修繕を実施した結果、円滑な火葬業務が実施できたため。
市営墓地管理事業	生活安心課	○	墓地の清掃や草刈等を実施した結果、良好な墓地の環境が維持でき、市営墓地の適正管理が実施できたため。
草津栗東行政事務組合負担金事務	生活安心課	○	草津栗東行政事務組合および栗東市と連携し、新たな火葬施設の整備に向けて取り組むことができたため。

■施策評価シート　13-01-③

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
小動物死骸処理事業	環境政策課
駅前公衆便所維持管理事業	資源循環推進課
公衆衛生確保対策事業	生活安心課
路上喫煙対策事業	生活安心課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）									

■施策評価シート　13-02-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	生活安心・防犯
基本方針	犯罪のないまちづくり		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	13-02-①	施策名	自主防犯活動の展開	

施策の概要
街頭啓発の実施や防犯ボランティア団体等への活動支援等を通じて市民の防犯意識の高揚につなげ、警察や県と連携を図りながら、犯罪抑止に努めます。

成果指標（単位）	人口1万人当たりの犯罪認知件数（件）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	63	62	61	60
実績値	63.4	67.6			

成果指標実績に対するコメント
人口1万人当たりの犯罪認知件数の実績値は、目標値を4.6件上回り、目標値を達成することができなかった。県内でも知能犯を中心に犯罪認知件数が増加しており、社会的な問題となっている特殊詐欺や闇バイト等の発生が影響しているものと考える。

施策の達成度評価
地域や警察と連携した啓発活動等により、人口1万人当たりの犯罪認知件数は県平均との差が縮まってきたものの、発生件数は増加傾向にあり、犯罪抑止に向けて、市民の防犯意識の向上に取り組む必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.30 私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい」があり、偏差値は60を上回る結果であった。 本市では、地域や警察と連携し、子ども110番の家や防犯パトロール等の取り組みを推進しており、上述のとおり偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、犯罪抑止に向けて、地域や警察と連携した防犯対策に引き続き取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
特殊詐欺等の被害防止に取り組むため、警察と連携した啓発や防犯アプリの登録に力を入れるとともに、地域の防犯活動を支援するため、栗東市と連携し草津栗東防犯自治会の取組を進める。
地域や警察と連携した取組は、「No.30 私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい」の指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、地域や警察と連携した取組を一層進める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
防犯対策事業	危機管理課	○	啓発や地域の防犯活動への支援に取り組み、犯罪抑止力を強化できたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　13-02-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
30	私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい	実数	3.2	3.3			
		偏差値	58.8	61.8			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	78								

■施策評価シート　13-02-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	生活安心・防犯
基本方針	犯罪のないまちづくり		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	13-02-②	施策名	防犯設備の維持・整備	

施策の概要
長寿命を考慮したLED防犯灯の設置、また、防犯設備の設置促進等により、犯罪を未然に防ぐまちづくりを進めます。

成果指標（単位）	人口1万人当たりの犯罪認知件数（件）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	63	62	61	60
実績値	63.4	67.6			

成果指標実績に対するコメント
人口1万人当たりの犯罪認知件数の実績値は、目標値を4.6件上回り、目標値を達成することができなかった。県内でも知能犯を中心に犯罪認知件数が増加しており、社会的な問題となっている特殊詐欺や闇バイト等の発生が影響しているものと考える。

施策の達成度評価
子ども見守り防犯カメラおよびくらし見守り防犯カメラの設置により、人口1万人当たりの犯罪認知件数は県平均との差が縮まってきたものの、発生件数は増加傾向にあり、犯罪抑止に向けて、防犯灯や防犯カメラの設置を一層推進する必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.30 私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい」があり、偏差値は60を上回る結果であった。 本市では、県内で先駆けて防犯カメラの設置に取り組んでおり、上述のとおり偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、犯罪抑止に向けて、警察と連携した防犯カメラの活用に引き続き取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
市で設置する防犯灯の設置要望の受付、町内会への防犯灯・防犯カメラ設置補助金の交付を実施する他、警察と連携しながら防犯カメラの運用を進める。また、町内会等が管理するLEDの防犯灯が耐用年数を迎えつつあることから、維持管理費の負担軽減策について検討を進める。
防犯カメラおよび防犯灯設置の取組は、「No.30 私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい」の指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、防犯カメラおよび防犯灯設置の取組を一層進める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
防犯灯維持管理事業	危機管理課	○	防犯灯の新設、修繕等に取り組み、犯罪抑止力を強化できたため。
防犯カメラ維持管理事業	危機管理課	○	防犯カメラの維持管理を行い、犯罪抑止力をを強化できたため。

■施策評価シート　　13-02-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
30	私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい	実数	3.2	3.3			
		偏差値	58.8	61.8			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	78								

14.環境に関する施策

■施策評価シート　　14-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-01-①	施策名	自然環境の保全	

施策の概要
生物多様性の保全や市民が自然とふれあうための活動を推進し、自然とともに生活する環境づくりを進めます。

成果指標（単位）	「いきもの自然学校」受講者数（名）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	210	260	310	380
実績値	166	213			

成果指標実績に対するコメント
総合的に環境が学べるモデル地域2学区（志津・笠縫東）において、専門家、地域、団体等との協働により、環境学習プログラムを実施した。令和7年度の受講者数は笠縫東学区29名、志津学区18名の合計47名で目標値を達成することができた。特に志津学区に関しては、過去の参加者とまちづくり協議会が主体となってプログラムの実施に携わっており、地域の自然環境の保護や保全に関わる人材の育成にもつなげることができた。

施策の達成度評価
第3次草津市環境基本計画に基づき各種事業を推進した結果、重点事業1「いきもの自然学校」に関する取組については、参加者とまちづくり協議会が主体となり、事業の推進に関わる人材育成や、モデル地域の利活用を図るための環境学習プログラムを実施する等、一定の効果がみられた。また、自然環境保全地区における危険木除去事業は4地区で危険木を除去し、令和3年度危険木調査でA判定となった樹木106本すべての除去が完了した。そのうえで、現時点での樹木の状態を個別調査し、新たに危険木判定された7地区で9本の樹木を除去し、地域の自然環境の保全を図ることができた。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」があり、偏差値が58.5という平均以上の高い結果であった。 ウェルビーイングの観点からも、地域の自然に目を向け身近に感じることができるよう地域の自然環境の保全や地域資源の利活用を取り入れた事業を継続して実施していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
重点事業1「いきもの自然学校」については、受講者が自然に関心を持ち、地域の自然環境の保全につながる事業を目指し、まちづくり協議会等の関係機関と連携を強めながら事業内容の充実を図るとともに、新たなモデル地区での事業実施を進める。また、事業について市ホームページ等で発信し、周知を行う。自然環境保全地区については、危険木の個別調査を実施し、各地区の管理者等に対し補助を行うことにより、自然環境等に親しむことができる場と機会の提供を推進する。
重点事業1「いきもの自然学校」や、危険木除去事業は、地域の環境保全だけではなく、「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」の指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、高い水準ではあるものの、引き続き目標の達成に向け、地域の自然環境の保全や自然環境に親しむ場と機会の提供に努めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
自然環境保全啓発推進事業	環境政策課	○	「いきもの自然学校」や自然環境保全地区危険木除去等事業を実施した結果、市民の自然に対する関心を深めるとともに、地域の自然環境を保全することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
環境審議会運営事務	環境政策課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　14-01-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
26	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	実数	3.6	3.7			
		偏差値	56.4	58.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

■施策評価シート　　14-01-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-01-②	施策名	環境汚染、環境負荷対策の促進	

施策の概要
事業所等への適切な指導・啓発を通じ、環境汚染等の未然防止に努めるとともに、環境負荷の低減を図ります。

成果指標（単位）	河川の水質における環境管理基準の達成状況（達成回数／調査回数）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	72/72	72/72	72/72	72/72
実績値	66/72	60/72			

成果指標実績に対するコメント
市内2河川にて、3項目12回の水質調査をそれぞれ行った結果、伊佐々川で3回、狼川で9回の基準超過があり、目標値には達しなかった。基準超過の原因を究明するため、上流での追加調査や流域の事業所の排水調査を重点的に実施したが、発生源の特定には至らなかった。

施策の達成度評価
河川の水質調査については、調査の結果、72回の測定のうち12回が環境管理基準を超過したため、継続して河川監視の強化、規制対象の事業所の排水調査に努めた。事業所等指導については、水質汚濁、大気汚染、騒音、振動、悪臭等の環境負荷が大きいと懸念される事業所への定期的な立入や、従来から苦情が継続している事業所への定期的なパトロールを実施し、積極的な指導啓発を行った。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、偏差値が高い順に「No.28　私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」「No.27　暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる」があり、いずれも偏差値が55を上回る結果であった。 一方で、水質の基準超過が複数回あるため、ウェルビーイングの観点からも、引き続き水質汚濁の原因究明および河川監視の強化の継続実施に努める。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
河川の水質調査など環境調査を継続するとともに、狼川流域の河川監視の強化、規制対象の事業所の排水調査に努め、規制対象外の事業所に対しても調査や啓発等を実施していく。また、引き続き環境負荷が大きいと懸念される事業所への定期的な立入や従来からの苦情が継続している事業所への定期的なパトロールを実施し、積極的な指導啓発を実施していく。
河川の水質調査や事業所への指導・啓発は環境汚染の未然防止や負荷の低減を図るだけでなく、当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標である「No.28　私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」「No.27　暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる」といったウェルビーイング向上にも寄与できると考える。今後も、市民の環境への興味関心が高まるよう、河川水質結果等の公表、周知を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
事業所等指導事業	環境政策課	○	環境負荷が大きいと懸念される事業所への定期的な立入や従来からの苦情が継続している事業所への定期的なパトロールを実施し、積極的な指導啓発を行った結果、環境汚染等の未然防止が図れたため。
環境調査事業	環境政策課	○	継続して河川調査などの環境調査を実施した結果、市内の環境の状況を適切に把握し、良好な環境の維持管理につなげることができたため。

■施策評価シート　　14-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
市街地排水浄化施設維持管理事業	河川課
流域下水道維持管理費負担金事務	河川課
浄化槽法等指導事業	上下水道施設課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
27	暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	実数	3.4	3.5			
		偏差値	55.8	56.7			
28	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.0	68.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	51	52	53	54	60	61			

■施策評価シート　　14-01-③

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-01-③	施策名	環境学習の拡充	

施策の概要
地域資源を生かした環境学習を充実させ、環境活動に携わる人材の確保に努めることにより、生涯を通じて誰もが環境について豊かに学び行動できる、持続可能な地域社会づくりを進めます。

成果指標（単位）	こども環境会議参加団体数（団体）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	76	78	80	82
実績値	61	65			

成果指標実績に対するコメント
令和7年度目標値76団体に対して、実績値は65団体となり、目標を達成できなかったが、幅広く参加を呼びかけることにより、令和6年度と比較して4団体増加させることができた。 目標未達の原因としては、コロナ禍以前の水準（R1：64団体）に戻ってきたものの、休日開催のため、小・中学校からの参加が難しくなってきていることや、新規の地域活動団体が少なくなっていること等の要因により伸び率が緩やかになっているものと考えられる。

施策の達成度評価
第3次草津市環境基本計画に基づき、環境について学び行動できる地域社会づくりとして、環境学習教材の貸出や環境学習への講師派遣を実施した。こども環境会議は壁新聞や展示物をくさつエコスタイルプラザ、イオンモールで展示を行うとともに、YouTube「くさつチャンネル」、くさつスケッチのTV放送等で発信することにより、環境学習活動の啓発を行うことができた。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、偏差値が高い順に「No.28　私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」「No.26　暮らしている地域では、身近に自然に感じることができる」「No.27　暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる」があり、いずれも偏差値が55を上回る結果であった。 一方で、成果指標目標の参加団体数に達しなかったことから、ウェルビーイングの観点からも、引き続き環境学習を通じて環境について学び行動できる地域社会づくりをすすめたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
市民が環境に関心を持ち、様々な環境学習が行えるよう、市ホームページやイベント等で環境学習情報を発信するとともに、講師派遣や貸出教材のさらなる充実を図る。また、こども環境会議は、交流やつながりが深まるよう実行委員会において内容の充実を図るとともに、開催について広報等で周知を行い、事業所、団体、大学など多種多様な主体による参画が図れるよう参加の呼びかけを行う。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標である「No.28　私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」「No.26　暮らしている地域では、身近に自然に感じることができる」「No.27　暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる」は、市民の環境への興味関心に基づいた指標であり、より一層の広報、周知を行い環境活動に携わる人材を増やしていくことで、ウェルビーイング向上に寄与できると考える。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
環境学習推進事業	環境政策課	○	こども環境会議などの環境に関するイベントの開催や、環境学習のための教材貸出・講師派遣を実施した結果、市民の環境への関心を深め、環境学習を推進することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
26	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	実数	3.6	3.7			
		偏差値	56.4	58.5			
27	暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	実数	3.4	3.5			
		偏差値	55.8	56.7			
28	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.0	68.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

■施策評価シート　14-02-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	脱炭素社会への転換		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-02-①	施策名	様々な主体の自主的な取組の支援とネットワークの拡充	

施策の概要
脱炭素社会への転換に向けた取組を支援するため、愛する地球のために約束する協定をはじめ、様々な主体が自主的に取り組むための制度・仕組みづくりを行うとともに、自主的な取組を促す情報提供やネットワークの拡充を図ります。

成果指標（単位）	草津市地球冷やしたい推進協議会の会員数（者）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	82	87	92	97
実績値	77	74			

成果指標実績に対するコメント
草津市地球冷やしたい推進協議会の会員数は、令和7年度は新たな入会者が無く、一方で3者が退会となったため減少し、目標値には届かなかった。「愛する地球のために約束する協定」については、令和7年度より補助金交付の要件としたこと等により新たに9者と締結するに至ったものの、いずれの協定締結者も協議会へ入会されなかったことが主な要因と考える。

施策の達成度評価
補助金というインセンティブが協定締結者の増加に繋がったものの、協議会員は増加せず活動が活発だとは言い難い状況を反映していると考える。協議会員になることにより、研修や啓発活動における会員同士の情報交換で脱炭素経営等に繋がるメリットが得られると実感いただけるよう、事務局として活動内容の充実を促していきたい。
当該施策に関連する地域幸福度（Well―Being）指標は、「No.28　私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」であり、偏差値は68.4%であった。本市は、国の法整備に先駆けて、「草津市地球冷やしたい推進協議会」を組織し、市民・事業者・団体・市の協働で地球温暖化対策を進めてきた経緯があることから、偏差値が高い水準になったと考えられる。ウェルビーイングの観点からも、引き続き各主体が地球温暖化対策に積極的に取組んでいけるよう、協議会活動の活性化を図りたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
協定締結者の増加にも繋がる補助金制度等は継続するとともに、市の負担金という限られた財源の使い道を工夫し、研修を充実させるなど協議会活動の活性化を図り、会員ネットワークの充実させることで、協定締結者の入会を促していく。
協議会活動は、脱炭素社会への転換に向けた会員の取組を支援するだけでなく、「No.28　私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」という指標に係るウェルビーイングの向上にも資する取組と考えており、当該指標が高い水準であったことも踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、協議会会員の増加に向けた事業を展開していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
地域協議会運営事業	温暖化対策室	○	協議会の目的である「実行計画（区域施策編）を推進」するため、啓発や研修などの活動を行うことができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　14-02-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
28	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.0	68.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	63	64	65						

■施策評価シート　　14-02-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	脱炭素社会への転換		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-02-②	施策名	省エネルギー対策・再生可能エネルギー利用等の推進	

施策の概要
省エネルギー機器の導入・更新や再生可能エネルギーの利活用を進めるため、様々な情報提供や支援を行います。

成果指標（単位）	省エネルギー・再生可能エネルギー機器等導入に伴い市の支援を受けた市民・事業者の数（世帯・者）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	51	52	54	56
実績値	27	51			

成果指標実績に対するコメント
目標値と同じ実績値となった。令和7年度から開始した、中小企業等の脱炭素取組支援のための補助金交付者数は、11者を想定していたところ9者となった。一方、既存住宅に新規に設置する太陽光発電と、既存の太陽光発電に接続する蓄電池の設置に対する補助金交付者数は、40者を想定していたところ42者となった。補助事業初年度であったにも関わらず、概ねPRができており実績に繋がったと考える。

施策の達成度評価
中小企業等の支援補助金は、県の同補助金の同額上乗せ補助金として開始したが、目標にはわずかに届かず誘導効果が限定的だったため、目標達成に向け、より補助事業の周知を図る必要がある。太陽光発電等の補助金については、導入によるCO2削減・省エネ効果などをより丁寧に伝えていくことにより、引き続き目標を上回る支援を行いたいと考える。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.28　私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」であり、偏差値は68.4%であった。本市は、令和3年にゼロカーボンシティを表明しており、CO2削減目標の達成に向けて市民・事業者に向けた脱炭素取組支援策を強化しており、偏差値が高い水準だったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き補助事業を活用した省エネルギー・再生可能エネルギー機器等の導入を促していきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
令和7年度から開始した補助事業（支援策）を、今後も継続して実施することにより、事業の周知が図られ活用者数の増加が見込めるが、あわせて省エネルギー・再生可能エネルギー機器導入によるCO2削減・省エネ効果を丁寧に伝えていくことにより、継続して取組んでいただけるよう促していく。
補助事業は、交付を受けた市民・事業者の取組を支援するだけでなく、「No.28　私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」という指標に係るウェルビーイングの向上にも資する取組と考えており、こうした指標が高い水準であったことも踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、より多くの市民・事業者が継続して省エネルギー・再生可能エネルギー機器等の導入を進められるよう事業を展開していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
地域脱炭素事業	温暖化対策室	○	市の率先行動として、再生可能エネルギーの公共施設への導入を進めるため、ごみ発電の利活用を開始したり、太陽光発電導入に向けた基本設計を行ったりしたため。
エネルギー対策事業	温暖化対策室	○	省エネルギー・再生可能エネルギー機器等導入補助金を、当初の期待どおり市民・事業者に活用いただけたため。
広報啓発活動事業	温暖化対策室	○	セミナー等で省エネルギー・再生可能エネルギー機器等の導入効果について啓発できたため。

■施策評価シート　　14-02-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
28	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.0	68.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	63	64	65						

■施策評価シート　　14-03-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-03-①	施策名	ごみの発生抑制・再使用・資源化の推進	

施策の概要
資源循環型社会の構築のため、発生抑制、再使用によるごみ発生量の削減と資源化による最終処分量の削減の取組を進めます。

成果指標（単位）	1人1日あたりの家庭系ごみ排出量（集団回収量を含む）（g／人・日）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）※487.2	485.8	484.4	482.9	481.5
実績値	479.1	469.7			

成果指標実績に対するコメント
人口は149,257人と前年度比で844人増加しているものの、これまでの継続したごみの減量や分別に関する啓発等の取組により、令和7年度の家庭系ごみの総排出量についても25,591tと前年度比で364tの削減となり、1人1日あたりの家庭系ごみ排出量が目標値の485.8g/人・日に対して実績が469.7g/人・日と目標を達成することができた。

施策の達成度評価
計画に基づき各種事業を推進した結果、家庭系ごみ排出量（集団回収量を除く）は、前年度の24,236tに対して24,024tと212tの削減となり、資源化率は前年度17.8%に対し17.3%となった。最終処分量は前年度3,791.2tから3,733.9tと57.3t削減することができた。今後も循環型社会の構築に向けて引き続きごみの減量・リサイクルに取り組む必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.28　私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」があり、偏差値が60を上回る結果であった。 本市は、全国に先駆けて廃家具等のリユース事業を行っており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、ごみの減量・リサイクルに取り組む必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
更なるごみの減量・リサイクルによる「資源循環型社会の構築」に向けて、ごみの発生抑制と再使用を進める取組に重点を置きつつ、取組を進めてもなお、排出されるごみについては、できる限り資源物としてリサイクルするため、適正な分別に向けた取組を推進する。
これまでの継続したごみの減量や分別に関する啓発等の取組は、「No.28　私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」の指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、ごみの発生抑制と再使用を進める取組に重点を置きつつ、取組を進めてもなお、排出されるごみについては、できる限り資源物としてリサイクルするため、適正な分別に向けた取組を推進する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
ごみ減量化推進事業	資源循環推進課	○	生ごみ処理容器の購入に係る補助や資源回収活動の奨励、事業系ごみの減量指導等により、ごみの減量を推進することができたため。
ごみ分別啓発事業	資源循環推進課	○	分別アプリの普及推進や分別ブックの発行等、ごみの分別を周知啓発することにより、ごみの資源化を推進することができたため。
ごみ問題を考える草津市民会議活動補助事業	資源循環推進課	○	ごみ問題を考える草津市民会議と連携して、エコライフフェアの開催や広報誌ごみジャーナルの刊行等により、3Rを啓発することができたため。

■施策評価シート　14-03-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ごみ分別啓発事業	環境政策課
指定ごみ袋購入配布事業	資源循環推進課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
28	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.0	68.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	62								

■施策評価シート　　14-03-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-03-②	施策名	ごみの適正処理	

施策の概要
効率的な収集とクリーンセンターの適正な運転管理を行います。

成果指標（単位）	排ガス中のダイオキシン類測定結果（ng-TEQ/Nm³）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	0.1	0.1	0.1	0.1
実績値	0.00016	0.00084			

成果指標実績に対するコメント
一般廃棄物処理施設の維持管理の技術上の基準を満たすよう運転を行った結果、排ガス中のダイオキシン類の測定値は、法令で定められた基準値の1ng-TEQ/Nm³はもちろんのこと、目標値である0.1ng-TEQ/Nm³も満たすことができた。

施策の達成度評価
各家庭から排出される廃棄物を効率的に収集し、クリーンセンターについては、これまでどおり適正な運転管理に努めた。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」があり、偏差値が57であった。 こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、適正な運転管理に努める必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
各家庭から排出される廃棄物を効率的に収集し、生活環境の保全に努めるとともに、排ガス中のダイオキシン類の濃度については法令で定められた施設の基準値（1ng-TEQ/Nm³）の10分の1である0.1ng-TEQ/Nm³を自主基準値として定め、この自主基準値を超過することのないよう、引き続きごみを適正に処理していく。
各家庭から排出される廃棄物を効率的に収集し、生活環境の保全に努めることは、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」の指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、排ガス中のダイオキシン類の濃度については法令で定められた施設の基準値（1ng-TEQ/Nm³）の10分の1である0.1ng-TEQ/Nm³を自主基準値として定め、この自主基準値を超過することのないよう、引き続きごみを適正に処理していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
ごみ収集運搬事業	資源循環推進課	○	各家庭から排出される廃棄物を効率的に収集し、生活環境を保全することができたため。
クリーンセンター管理運営事業	資源循環推進課	○	計画的・定期的な施設の補修やごみ処理施設を適正に運転・維持管理することができた。

■施策評価シート　　14-03-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
湖南広域行政組合運営負担金事務	資源循環推進課
広域廃棄物埋立処分場建設費負担金事業	資源循環推進課
草津市処分場管理事業	資源循環推進課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

■施策評価シート　　14-03-③

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-03-③	施策名	環境美化の推進	

施策の概要
ごみの不法投棄防止のための定期的なパトロールの実施をはじめ、市民・地域・事業者・行政等が連携・協力し環境美化に努めます。

成果指標（単位）	不法投棄ごみ率：不法投棄ごみ量／ごみ発生量（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	0.03	0.02	0.02	0.02
実績値	0.03	0.03			

成果指標実績に対するコメント
不法投棄ごみ率は変化していないものの、クリーンセンターに搬入された不法投棄ごみ量は減少しており、定期的なパトロールによる監視活動や町内会によるボランティア清掃活動など、市民・地域・事業者との連携による取組の結果、生活環境の保全を図ることができた。

施策の達成度評価
不法投棄の発生が懸念される場所について定期的なパトロールを行うとともに、町内会等への不法投棄禁止看板やボランティア清掃用のごみ袋の交付など、不法投棄の未然防止や投棄物の回収に努めたことで、生活環境の保全を図ることができた。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No28　私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」があり、偏差値が60を上回る結果であった。こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、生活環境の保全を図る必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
パトロールによる監視や監視カメラの有効活用など、不法投棄対策に引き続き取り組む。 また、悪質性が高いと判断した場合は、警察への通報も含め、地域と連携し解決を図る。
不法投棄対策に関する取組は、「No28　私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」の指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、引き続き定期的なパトロールの実施をはじめ、市民・地域・事業者・行政等が連携・協力し環境美化に取り組む。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
不法投棄対策事業	資源循環推進課	○	定期的なパトロールによる監視やボランティア団体との協働による不法投棄物の回収等によって、生活環境の保全することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
生活環境等対策事業	資源循環推進課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　14-03-③

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
28	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.0	68.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

15.交通に関する施策

■施策評価シート　15-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	交通
基本方針	公共交通ネットワークの構築		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	15-01-①	施策名	公共交通ネットワークの充実	

施策の概要

誰もがいつでも安心して移動できる公共交通ネットワークを維持・確保するため、生活拠点を中心に民間路線バスとまめバス・まめタク等の公共交通機関の役割分担と連携により、地域の維持・活性化につなげます。
さらに、関係機関とも連携しながら、JR 草津駅・南草津駅周辺をはじめとする慢性的な交通渋滞の緩和や解消を行うとともに、運転免許証自主返納高齢者支援制度の充実や地域でのワークショップの開催などにより、公共交通の利用促進を進め、公共交通ネットワークの充実を図ります。

成果指標（単位）	地域公共交通の利便性に満足している市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	48	49	50.1	51.1
実績値	46.9	46.8			

成果指標実績に対するコメント

まめバス・まめタク等の年間利用者数について、まめタクは前年度実績を下回ったものの、まめバス・くるっとバスについては約26,000人増加した。しかし、成果指標については前年度実績を下回り、目標値についても達成することができなかった。まめバスは平成25年10月の本格運行開始から年々利用者数が増加しており、日常生活の移動手段として浸透しつつあるものと捉えているが、まめタクについては利便性の向上の取組と合わせ、一層の周知が必要と考える。

施策の達成度評価

まめバス・くるっとバスにおいて、夏休み期間中に「こども（小学生以下）無料乗車実証実験」を行い、まめバス・くるっとバスの利用のきっかけづくりを行ったことや、社会医療法人誠光会と連携して実施した、病院の送迎バスを活用した補完的な交通手段を提供する実証事業を実施したことで、地域公共交通の利便性の満足度に繋がったと評価する。まめタクについてはワークショップの開催により、ルートやダイヤを地域と一緒に考えることができたが、交通不便地である老上西学区への新規路線導入の検討が必要と考える。

当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標「No.12　私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」、「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」は、どちらも実数が昨年度から0.1ポイント上昇することができた。
当市の公共交通カバー率（駅やバス停が一定の距離の範囲内にある住民の率）は96%であり、こども（小学生以下）無料乗車実証実験によるコミュニティバス等の周知や、草津駅前地下駐車場の適正な運営による路上駐車の抑制が評価されたものと考える。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

令和6年度策定の「草津市地域公共交通計画」に基づき、市民（地域）・交通事業者・行政が連携、協働することで、市民の地域公共交通への満足度の向上を図る。また、引き続きまめバス、まめタクの運行を維持することに加え、まめタクの老上西学区への導入を検討するなど、生活拠点へのアクセス向上を図るための取組を進め、利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークの充実を図る。

公共交通ネットワークの充実に関する取組は、「No.12　私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」、「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも、既存の地域公共交通を維持しつつ、地域の実情に応じた路線再編やダイヤ改正による乗換利便性の向上などを実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
公共交通対策事業	交通政策課	○	まめバス・まめタク等の運行を維持・確保することなどにより、地域住民の移動手段の確保に寄与することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
草津駅前地下駐車場運営事業	交通政策課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　15-01-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
12	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	実数	3.1	3.2			
		偏差値	49.7	51.4			
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	16	18							

■施策評価シート　　15-01-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	交通
基本方針	公共交通ネットワークの構築		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	15-01-②	施策名	鉄道駅周辺での自転車利用環境の整備	

施策の概要

公共交通の補完手段として、自転車の有効的な活用展開を図り、鉄道駅周辺における需要に対応した自転車駐車スペースを確保するとともに、放置自転車対策の強化を進め、自転車利用環境の整備を図ります。

成果指標（単位）	市営自転車駐車場利用者数（人）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	336,828	340,828	344,828	348,828
実績値	332,828	364,252			

成果指標実績に対するコメント

市営自転車駐車場の利用者数については、前年度実績を大きく上回り、目標値についても達成することができた。令和7年4月から供用を開始した草津駅西口自転車駐車場を含め、今後も指定管理者と密に連絡を取り、管理運営を継続することで、利用促進および目標値の達成を図る。

施策の達成度評価

自転車駐車場については、既存の駐車場および草津駅西口自転車駐車場、（公財）自転車駐車場整備センターにより令和7年12月から供用を開始した南草津駅西口第2自転車駐車場の運用により、需要に応じた自転車駐車スペースの確保・維持を行うことができた。放置自転車については、夜間の見回りを強化したことで、撤去台数が前年度実績と比べて増加し、自転車利用環境の改善につながった。今後も鉄道駅周辺の自転車駐車スペースの整備を実施するとともに放置自転車対策を継続していく。

当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」は実数が昨年度から0.1ポイント上昇した。
これは草津駅西口自転車駐車場および南草津駅西口第2自転車駐車場の供用開始により、利便性向上に寄与したことが一因と考える。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

今後も需要に応じた自転車駐車スペースの確保・維持を行うとともに、放置自転車対策を継続して進めることで、鉄道駅周辺の自転車利用環境の整備を図る。また、公共性を有する交通手段であるシェアサイクルの導入を検討するなど、公共交通の補完手段として、自転車の有効的な活用展開を図る。

自転車利用を促進し、駅周辺における需要に対応した自転車駐車場の運営を行うことは、「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも自転車利用環境の整備を行い、需要に応じた自転車駐車スペースの確保・維持、放置自転車対策を継続して進める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
草津駅西口周辺自転車駐車場運営事業	交通政策課	○	草津駅西口自転車駐車場の供用を開始し、徐々に定期利用と一時利用の受入れ台数を調整することで、状況に応じた管理運営を行い、自転車利用環境を整えることができたため。
草津駅東自転車駐車場運営事業	交通政策課	○	定期待ちが発生しないように、引き続き定期利用と一時利用の受入れ台数を調整し、状況に応じた管理運営を行い、自転車利用環境を整えることができたため。
南草津駅駐輪・駐車場運営事業	交通政策課	○	サイクルラックに停めることができない大型自転車を停めることができるよう、専用置場を増設するなど、引き続き利用者のニーズに合わせた管理運営を行い、自転車利用環境を整えることができたため。
放置自転車対策事業	交通政策課	○	鉄道駅周辺の放置自転車禁止区域において、引き続き看板やステッカー、周知チラシによる啓発を実施し、夜間の巡回を強化して放置自転車の撤去等を行うことで、駅前の良好な都市景観を保つことができたため。

■施策評価シート　　15-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	18	101	102						

■施策評価シート　15-02-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	交通
基本方針	交通安全対策の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	15-02-①	施策名	交通安全意識の高揚	

施策の概要
交通事故防止につなげるため、交通安全教育を推進するとともに、各種啓発活動や街頭指導、自転車安全安心利用の推進等に取り組み、あらゆる世代における交通安全意識の高揚を図ります。

成果指標（単位）	交通安全教室や自転車安全安心利用教室への参加人数（人）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	5,033	5,403	5,773	6,143
実績値	4,663	4,109			

成果指標実績に対するコメント
交通安全教室への参加人数は前年度実績に比べ増加したものの、自転車安全安心利用教室への参加人数が減少し、合計としては前年度実績を下回り、目標値についても達成できなかった。自転車安全安心利用教室の参加人数減少については、中学校等母数が多い団体による教室開催が少なかったことによるものであり、児童数が減少する中で、自転車安全安心利用教室の実施を呼び掛ける対象を再考する等により目標値達成を目指す。

施策の達成度評価
交通事故防止につなげるため、引き続き対象者に合わせた交通安全教育等を実施し、広く市民に交通安全を周知することができた。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標「No.31　私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」は偏差値が60を上回る結果であったが、客観指標「No.77　人口あたり交通事故件数」の偏差値は51.4となっている。ハード整備だけでは交通事故をなくすことはできないため、継続した交通安全教育等を実施していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
改正道路交通法の施行により、令和8年4月から自転車に対して交通反則通告制度が導入され、自転車の交通ルールやマナーの周知啓発の重要性が高まっている。令和8年度に策定予定の「第2次草津市自転車安全安心利用促進計画」に基づき、あらゆる世代に対応した交通安全教育を充実させることなどにより、より一層、市民の交通安全意識の高揚を図る。
市民の交通安全の意識の高揚を図ることは、「No.31　私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも、あらゆる世代に継続した交通安全教育を実施することで、交通事故のない安全で安心なまちの形成を目指す。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
草津栗東地区交通対策協議会事業	交通政策課	○	交通安全推進団体・関係機関と連携し、交通安全街頭啓発や交通安全シニアカレッジの開催、自転車交通安全マナーアップ重点校事業等を引き続き実施したことにより、広く交通安全意識の高揚を図ることができたため。
交通安全啓発事業	交通政策課	○	交通指導員を中心に関係機関と連携して、幼児・児童等を対象とした交通安全教室を引き続き開催したことにより、幼少期における交通安全意識の高揚を図ることができたため。
自転車安全安心利用推進事業	交通政策課	○	自転車安全安心利用指導員を中心に関係機関と連携して、交通安全啓発や出前講座を引き続き開催するとともに、自転車の青切符について予め周知啓発することで、自転車利用マナーに対する意識の高揚を図ることができたため。

■施策評価シート　15-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
交通安全事務	交通政策課
草津栗東交通安全協会補助金事務	交通政策課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3	3.4			
		偏差値	55.4	60.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	77								

16.道路に関する施策

■施策評価シート　16-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	16-01-①	施策名	広域主要幹線道路等の整備促進	

施策の概要
主要幹線道路での慢性的な交通渋滞の解消を図るため、「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に位置付けられた（都）平野南笠線をはじめとする事業の整備促進について要望活動に取り組みます。

成果指標（単位）	草津市域内の拠点間道路ネットワーク整備事業の整備延長（m）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	1,300	0	116	0
実績値	1,000	1,346			

成果指標実績に対するコメント
大津能登川長浜線の草津三丁目交差点改良で300m、（都）山手幹線の山寺ランプから上砥山ランプ間のうち草津市域分が500m、（都）平野南笠線のうち（都）山手幹線から滋賀アリーナ間が500m、大津草津線の矢橋中央交差点改良で46m整備され、目標値を達成することができた。 過年度からの要望活動や事業協力が整備促進につながったものと考える。

施策の達成度評価
「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に基づき、草津市域内の拠点間道路ネットワーク整備事業が実施され、主要幹線道路での慢性的な交通渋滞の緩和に一定の効果がみられた。 引き続き、「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に位置付けられた事業の早期実施に向け、要望活動を継続していく。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、偏差値が高い順に「No.23　私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」「No.31　私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」があり、いずれも偏差値が60を上回る結果であった。 広域主要幹線道路等の整備促進に向けて要望活動を継続しており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に位置付けられた事業が早期に実施されるよう県への働きかけを行いたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に位置付けられた（都）平野南笠線の着実な整備促進について要望活動を行うとともに、県と連携して各事業に取り組んでいく。
安全・安心な道路が整備されることは、「No.23　私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」「No.31　私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資するものであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に位置付けられた事業の早期実施に向け、要望活動や事業協力を継続していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
国・県道路整備対策事業	土木管理課	○	各種道路関係の協議会等において国や県への要望活動を実施するとともに、関係機関との意見交換も積極的に行ってきた結果、（都）山手幹線等の主要幹線道路が整備されたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　16-01-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8			
		偏差値	65.4	68.3			
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3	3.4			
		偏差値	55.4	60.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	77								

■施策評価シート　16-01-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	16-01-②	施策名	幹線道路の整備	

施策の概要
渋滞の緩和や交通アクセスを確保するため、幹線道路の整備を推進し、道路ネットワークの充実を図ります。

成果指標（単位）	大江霊仙寺線（南笠工区）その2および平野南笠線（新浜工区）の実施延長（m）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	1,110	1,110	1,110	1,110
実績値	530	1,110			

成果指標実績に対するコメント
大江霊仙寺線（南笠工区その2）の補償調査及び平野南笠線（新浜工区）の予備設計を進めることでの事業進捗を図った。 【1,110m ＝ 大江霊仙寺線（南笠工区その2） 530m ＋ 平野南笠線（新浜工区） 580m】

施策の達成度評価
大江霊仙寺線（南笠工区その2）および平野南笠線（新浜工区）について、計画通り事業を進めることができた。
当該施策に関する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.23　私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31　私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」であり、偏差値の上昇幅は最大で4.9ポイント、当該指標の実数についても0.1ポイント上昇した。こうした結果を踏まえ、引き続き、幹線道路の整備を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
今後も引き続き、JR南草津駅周辺の渋滞緩和や大津方面への交通アクセスの確保を図るべく、大江霊仙寺線及び平野南笠線の事業推進に向けた取組を着実に進める。
当該施策は、「No.23　私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31　私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する施策であり、引き続き、事業を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
平野南笠線整備事業	道路課	○	滋賀県と連携して、計画通り事業進捗を図れたため。
大江霊仙寺線整備事業	道路課	○	計画通り事業進捗を図れたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　16-01-②

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8			
		偏差値	65.4	68.3			
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3	3.4			
		偏差値	55.4	60.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	40	77							

■施策評価シート　16-01-③

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	16-01-③	施策名	生活道路の整備	

施策の概要
地域の暮らしの利便性や安全性の向上を図るため、市内の地域間および地域内の生活道路の整備を推進します。

成果指標（単位）	市道の新設・改良整備延長（m）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	360	180	260	80
実績値	462	273			

成果指標実績に対するコメント
目標値に対して実績値は低くなっているが、効果促進を目的に前年度に工事を一部を前倒すことができたためであり、計画通り、市民に身近な生活道路の整備を行い、利便性や安全性を高めることができた。

施策の達成度評価
狭隘な通学路の路肩拡幅整備や、離合が困難なバス路線の拡幅整備、交通混雑が慢性的な路線の拡幅整備を行い、利便性や安全性の向上を図ることができた。
当該施策に関する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.23　私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31　私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」であり、偏差値の上昇幅は最大で4.9ポイント、当該指標の実数についても0.1ポイント上昇した。こうした結果を踏まえ、引き続き、市民に身近な生活道路の整備を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
今後も引き続き、必要性や効果を勘案しながら、計画的に整備を進める。
当該施策は、「No.23　私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31　私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する施策であり、引き続き、事業を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
道路新設改良事業	道路課	○	計画通り事業進捗を図れたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　16-01-③

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8			
		偏差値	65.4	68.3			
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3	3.4			
		偏差値	55.4	60.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	40								

■施策評価シート　16-01-④

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	16-01-④	施策名	歩道・自転車道等の整備	

施策の概要
歩行者や自転車利用者が安全かつ快適に移動でき、児童が安全に通学できる環境を整えるため、歩行者や自転車の通行空間等の整備を推進します。

成果指標（単位）	歩道・自転車道等の整備延長（m）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	1,520	1,660	2,720	2,220
実績値	1,608	1,666			

成果指標実績に対するコメント
計画通り、通学路の安全対策のためのカラー舗装や路肩拡幅、自転車通行空間の整備を行い、安全性や利便性を高めることができた。

施策の達成度評価
地元、公安委員会、学校との通学路合同点検により、必要性などを勘案しながら、路肩カラー舗装等の安全対策を講じた。
当該施策に関する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.23　私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31　私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」であり、偏差値の上昇幅は最大で4.9ポイント、当該指標の実数についても0.1ポイント上昇した。こうした結果を踏まえ、引き続き、歩行者や自転車の通行空間等の整備を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
今後も引き続き、地元からの要望や必要性を勘案しながら、路肩カラー舗装等の交通安全対策を進める。
当該施策は、「No.23　私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31　私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する施策であり、引き続き、事業を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
歩道整備事業	道路課	○	計画通り事業進捗を図れたため。
交通安全施設整備事業	道路課	○	計画通り事業進捗を図れたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　16-01-④

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8			
		偏差値	65.4	68.3			
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3	3.4			
		偏差値	55.4	60.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	40								

■施策評価シート　　16-01-⑤

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	16-01-⑤	施策名	道路施設の長寿命化と維持管理	

施策の概要
道路の適正な状態を維持するため、道路パトロールを行いながら日常の維持管理に努めるとともに、橋梁等の道路施設の計画的かつ効率的な点検・修繕を行います。

成果指標（単位）	舗装修繕計画に基づく舗装補修工事実施延長（m）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	1,590	2,000	1,050	1,050
実績値	730	2,621			

成果指標実績に対するコメント
舗装の補修が必要な区間の工事を計画通り完了させ、良好な道路環境を維持することができた。

施策の達成度評価
道路パトロールや道路の維持補修を日常的に行い、良好な道路環境を維持するとともに、舗装補修の他、橋梁等の道路施設についても計画的に点検および修繕工事を実施することができた。
当該施策に関する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.23　私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31　私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」であり、偏差値の上昇幅は最大で4.9ポイント、当該指標の実数についても0.1ポイント上昇した。こうした結果を踏まえ、引き続き、良好な道路環境を維持するとともに、道路施設の計画的な点検および修繕工事を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
今後も引き続き、道路パトロール等の日常的な維持管理を行うとともに、舗装や橋梁等の道路施設の点検結果をを踏まえた修繕を計画的に実施することで、良好な道路環境を維持していく。
当該施策は、「No.23　私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31　私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する施策であり、引き続き、事業を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
道路維持補修事業	道路課	○	計画通り事業進捗を図れたため。
道路パトロール事業	道路課	○	計画通り事業進捗を図れたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
官民境界確定事務	土木管理課
道路台帳整備事業	土木管理課
道路等管理事務	土木管理課
未登記路線測量登記事務	土木管理課
道路関係団体負担金事務	道路課
道路等管理事務	道路課
交通安全施設維持管理事業	道路課
草津駅前広場等維持管理事業	道路課
土木設計積算システム事務	道路課
南草津駅前広場等維持管理事業	道路課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　16-01-⑤

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8			
		偏差値	65.4	68.3			
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3	3.4			
		偏差値	55.4	60.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

■施策評価シート　16-01-⑥

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	16-01-⑥	施策名	バリアフリー化の促進	

施策の概要
安全で快適に移動できる環境を整えるため、JR草津駅と南草津駅を中心とする重点整備地区内の歩道等のバリアフリー化を促進します。

成果指標（単位）	重点整備地区内での歩道のバリアフリー化実施延長（m）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	270	240	270	270
実績値	480	146			

成果指標実績に対するコメント
歩道のバリアフリー化事業は交付金を充当して順次実施しており、当該年度の内示額に合わせて実施した結果、目標値に対する実績値が低くなった。しかしながら、実施した路線ではこれまで継続してきた工事を完了させ、効果発現をさせることができた。

施策の達成度評価
草津駅周辺の重点整備区域内の歩道のバリアフリー化を行い、移動円滑化を図った。
当該施策に関する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.23　私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31　私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」であり、偏差値の上昇幅は最大で4.9ポイント、当該指標の実数についても0.1ポイント上昇した。こうした結果を踏まえ、引き続き、草津駅周辺の重点整備区域内の歩道の移動円滑化を図る。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
今後も引き続き、草津市バリアフリー基本構想に基づき、進捗を図るため交付金をしっかりと要望しつつ、草津駅周辺の重点整備区域内の歩道等のバリアフリー化を行い、移動円滑化を図る。
当該施策は、「No.23　私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31　私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する施策であり、引き続き、事業を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
歩行空間バリアフリー化事業	道路課	○	当該年度に実施した路線においては予定内容を完了させ、効果を発現させることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　16-01-⑥

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8			
		偏差値	65.4	68.3			
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3	3.4			
		偏差値	55.4	60.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	40								

17.上下水道に関する施策

■施策評価シート　17-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	上下水道
基本方針	水の安定供給		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	17-01-①	施策名	上水道施設の更新・災害対策と維持管理	

施策の概要
安全で安定した水を供給するため、浄水場や配水管等、水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるとともに、適切な維持管理を行います。

成果指標（単位）	基幹管路の耐震適合率（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	43.2	44.9	46.6	48.1
実績値	39.4	39.8			

成果指標実績に対するコメント
基幹管路の耐震化を取り組んだ結果、実績値は目標値に比べ3.4ポイント低く、目標値を達成することができなかった。 目標達成に向け耐震工事に取り組みましたが、人件費や資材が高騰したことや、基幹管路以外の老朽化した管路の更新にも取り組んでおり、計画どおり進捗が図ることができず目標値を達成することができなかった。

施策の達成度評価
第2次草津市水道ビジョンおよび水道事業経営計画に基づき、水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるとともに、適切な維持管理に努めた。 引き続き、効率的に上水道施設の更新・災害対策と維持管理を実施していく。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標として、「№29　私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」があり、偏差値が60を上回る結果であった。 上水道施設の更新・災害対策や維持管理を計画的かつ迅速に取り組むことで高い偏差値であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、事業を実施していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
第2次草津市水道ビジョン〔経営計画（経営戦略）〕に基づき、上水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるとともに、適切な維持管理に努める。
第2次草津市水道ビジョン〔経営計画（経営戦略）〕に基づき事業の進捗を図ることが「№29　私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」という指標にかかるウェルビーイングの向上に資する取組である。引き続き高い水準が保てるよう、上水道施設の更新・災害対策や適切な維持管理を実施していく。

■施策評価シート　　17-01-①

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
給配水管修繕事業	上下水道施設課	○	計画的に水道施設の点検・調査を行い必要に応じて修繕を実施し、適切な維持管理に努めた。
配水管更新事業	上下水道施設課	○	草津市水道ビジョンに基づき、配水管の計画的な更新と災害対策を実施した。
浄水場施設管理事業	北山田浄水場	○	安全でおいしい水を安定して供給するために、計画的に水道施設の点検を行い、必要に応じて修繕を実施し、適切な維持管理に努めた。
浄水場施設管理事業	ロクハ浄水場	○	安全でおいしい水を安定して供給するために、計画的に水道施設の点検を行い、必要に応じて修繕を実施し、適切な維持管理に努めた。
浄水場施設整備事業	北山田浄水場	○	草津市水道ビジョンに基づき、浄水場の計画的な更新と災害対策を実施した。
浄水場施設整備事業	ロクハ浄水場	○	草津市水道ビジョンに基づき、浄水場の計画的な更新と災害対策を実施した。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
上水供給事務	北山田浄水場
浄水場維持管理事業	北山田浄水場
浄水場運転管理事業	北山田浄水場
水質検査事業	北山田浄水場
給配水管維持管理事業	上下水道総務課
量水器取替事業	上下水道総務課
上水供給事務	ロクハ浄水場
受水事業	ロクハ浄水場
浄水場維持管理事業	ロクハ浄水場
浄水場運転管理事業	ロクハ浄水場
水質検査事業	ロクハ浄水場
給配水管維持管理事業	給排水課
配水給水事務	給排水課
給水管整備更新事業	上下水道施設課
給配水管維持管理事業	上下水道施設課
水道台帳管理事業	上下水道施設課
配水給水事務	上下水道施設課
配水管移設事業	上下水道施設課
路面復旧事業	上下水道施設課
水道企画経理事務	上下水道施設課
配水管整備事業	上下水道施設課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
29	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.6	66.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）									

■施策評価シート　17-01-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	上下水道
基本方針	水の安定供給		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	17-01-②	施策名	上水道事業の健全経営	

施策の概要
持続可能な水道事業運営のため、経営の効率化を図るとともに、健全な事業経営を行います。

成果指標（単位）	配水した水のうち、使用料を徴収する対象となった水量の割合　（有収率 %）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	96.9	96.9	96.9	96.9
実績値	96.9	96.6			

成果指標実績に対するコメント
目標値をわずかに下回る結果となったが、第2次草津市水道ビジョン〔経営計画（経営戦略）〕に基づく計画値（93.0%）や、全国平均（89.2%）を上回っていることから、無駄なく効率的な配水ができており、水道事業の収益に結びついているものと考える。

施策の達成度評価
管路の老朽化が進む中、限られた料金収入や人員体制の中でも、管路の更新工事、漏水調査や修繕などを計画的に行うとともに、漏水等の通報があった際には、可能な限り速やかに修繕等の対応を行った結果、大規模な漏水等もなく、高有収率の維持に一定の効果を得る事ができた。
－

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、管路の更新工事、漏水調査や修繕などを計画的に行い、漏水等の通報があった際には、可能な限り速やかに修繕等の対応を行っていく一方で、管路の老朽化は今後さらに進んでいくため、令和7年度に実施した人工衛星を活用した漏水調査業務の効果検証を踏まえながら、限られた料金収入や人員体制の中で、より効果的かつ効率的に漏水調査や修繕等を行い、高有収率を維持できる手法がないか検討を行っていきたい。
－

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
水道企画経理事務	上下水道総務課	○	管路の老朽化が進む中、限られた料金収入や人員体制で、健全経営を維持しながら、無駄なく効率的な配水ができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
水道啓発事務	上下水道総務課
水道総務事務	上下水道総務課
水道料金徴収事務	上下水道総務課
受水事業	上下水道総務課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　17-01-②

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		実数					
		偏差値					

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

■施策評価シート　17-02-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	上下水道
基本方針	下水道の安定運営		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	17-02-①	施策名	下水道施設の更新・災害対策と維持管理	

施策の概要
快適な生活環境を保全するため、下水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるとともに、適切な維持管理を行います。

成果指標（単位）	重要な幹線等の耐震化率（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	66.5	67.8	69	70.4
実績値	63.3	74.5			

成果指標実績に対するコメント
重要な幹線等の耐震化を取り組んだ結果、実績値は目標値に比べ8.0ポイント高く、目標値を達成することができた。 下水道事業第9期経営計画に基づき、効果的に下水道施設の災害対策を推進できたため、目標値を達成することができた。

施策の達成度評価
下水道事業第9期経営計画に基づき、下水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるとともに、適切な維持管理に努めた。 引き続き、効率的に下水道施設の更新・災害対策と維持管理を実施していく。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標として、「No.29　私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」があり、偏差値が60を上回る結果であった。 下水道施設の更新・災害対策や維持管理を計画的かつ迅速に取り組むことで高い偏差値であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、事業を実施していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
下水道事業第9期経営計画に基づき、下水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるとともに、下水道施設の適切な維持管理に努める。
下水道事業第9期経営計画に基づき事業の進捗を図ることが「No.29　私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」という指標にかかるウェルビーイングの向上に資する取組である。引き続き高い水準が保てるよう、下水道施設の更新・災害対策や適切な維持管理を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
汚水管渠等維持管理事業	上下水道施設課	○	計画的に下水道施設の点検を行い、必要に応じて修繕を実施し、適切な維持管理に努めた。
汚水管渠整備事業	上下水道施設課	○	下水道事業第9期経営計画に基づき、管更生工事や耐震対策工事を行った。

■施策評価シート　　17-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
流域下水道事業費負担金事務	上下水道施設課
汚水管渠等維持管理事業	給排水課
行政区域外流出負担金事務	上下水道総務課
流域下水道維持管理負担金事務	上下水道総務課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
29	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.6	66.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

■施策評価シート　17-02-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	上下水道
基本方針	下水道の安定運営		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	17-02-②	施策名	下水道事業の健全経営	

施策の概要
持続可能な下水道事業運営のため、経営の効率化を図るとともに、健全な事業経営を行います。

成果指標（単位）	処理した汚水のうち、使用料を徴収する対象となった水量の割合　（有収率 %）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	91.2	91.2	91.2	91.2
実績値	91.2	93.5			

成果指標実績に対するコメント
目標値を上回る結果となったとともに、草津市下水道事業第9期経営計画（経営戦略）に基づく計画値（84.0%）や、全国平均（80.0%）を上回っていることから、無駄なく県の湖南中部浄化センターで排水処理ができており、湖南中部処理区の各市町が処理水量に応じて負担する維持管理負担金について、適正な処理水量に応じた負担金に結びついているものと考える。

施策の達成度評価
有収率の増加は、降雨量に起因する部分が大きいが、本市において継続して不明水対策を実施していることが、有収率の増加に一定の効果を得ることができているものと考える。
－

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、本市において不明水対策を計画的に実施していく一方で、不明水対策は、滋賀県と湖南中部処理区各市町の全体での取り組みが重要であることから、滋賀県が中心となり各構成市町と連携し、より効果的かつ効率的な不明水対策の実施について検討を行っていきたい。
－

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
下水道推進事務	上下水道総務課	○	不明水量の減少により維持管理負担金の減少につながり、健全な経営を行うことができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
汚水管渠等維持管理事業	上下水道総務課
水洗便所改造資金貸付事業	上下水道施設課
下水道使用料賦課徴収事務	上下水道総務課
受益者負担金等賦課徴収事務	上下水道総務課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　17-02-②

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		実数					
		偏差値					

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

「魅力」あふれるまち

18.農林水産に関する施策

■施策評価シート　　18-01-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	農林水産
基本方針	農業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	18-01-①	施策名	農地の保全と生産基盤の強化	

施策の概要
土地改良施設の計画的な改修を進めるなど、農地の保全に努め、効率的な営農環境を維持するとともに、農地の活用を円滑に進めるための基盤の強化を進めます。

成果指標（単位）	世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策事業取組団体の活動面積（ha）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	497	545	545	545
実績値	497	497			

成果指標実績に対するコメント
世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策事業の活動面積は、現状の面積を維持することができたが、新規の加入組織を掘り起こすことができなかった。

施策の達成度評価
地域や土地改良区に対して補助金を交付することで、農地の保全を図るとともに、草津用水を始めとした関係機関と連携しながら、営農環境の整備を推進した。また、県営馬場山寺基盤整備事業の実施にあたり各種支援を行った。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」があり、昨年度偏差値を上回る結果であった（上昇率は2.1ポイント）。こうした偏差値の上昇も踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き同事業を推進したい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
土地改良事業に係る各種支援や土地改良区との連携により、農地および農業用施設を地域と共に保全・管理できる体制整備を図っていく。また、県営馬場山寺基盤整備事業の推進のため、引き続き支援する。
当該施策は、農地の保全や生産基盤の強化だけでなく「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」といったウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも同事業を推進したい。

■施策評価シート　　18-01-①

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
農業振興地域整備計画策定事業	農林水産課	○	草津市農業振興地域整備計画に基づき、農業振興地域内農用地の無秩序な農用地のかい廃を防ぎました。
土地改良事業費補助金事務	農林水産課	○	地域主体で取り組む土地改良事業に対する支援により、施設の機能維持および更新に努めた。
農業多面的機能発揮促進事業	農林水産課	○	土地改良区を支援し、換地、評価作業に取り組んだほか、県営事業として実施設計業務に必要な経費の負担を行った。
県土地改良事業費負担金事務	農林水産課	○	県営で実施する農業用水管更新事業の事業費を負担することで、安定的な農業の確立を目指した。
農業委員会運営事業	農業委員会事務局	○	農業委員等と連携し、「遊休農地の解消」、「担い手への農地利用集積」、「新規参入の促進」に向けた取組を行った。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
農地基本台帳整備事業	農業委員会事務局
土地改良事業推進対策事務	農林水産課
人・農地問題解決加速化支援事業	農林水産課
土地改良施設維持管理事業	農林水産課
農地中間管理事業	農林水産課
有害鳥獣捕獲事業	農林水産課
単独土地改良対策事業補助金事務	農林水産課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
26	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	実数	3.6	3.7			
		偏差値	56.4	58.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	44								

■施策評価シート　18-01-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	農林水産
基本方針	農業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	18-01-②	施策名	人材の確保・育成と農業経営の強化	

施策の概要
経営形態の法人化や担い手農家への支援制度の活用の推進と併せて、企業参入や、女性の農業への参画推進等、幅広い人材の確保に努めるとともに、生産性の向上、販路の拡大、高付加価値化の推進による農業所得の向上に向けて、農業経営の育成・強化を進めます。

成果指標（単位）	認定農業者数（件）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	65	66	67	67
実績値	63	57			

成果指標実績に対するコメント
高齢化による離農などにより令和7年度の認定農業者数は57件となり、令和6年度から6件減少し、目標値を達成することができなかった。

施策の達成度評価
農業者への各種交付金制度の周知を図り、農家の経営強化に努めたほか、中心経営体および新規就農者に対する補助金や、認定農業者制度についての周知等を通じて、担い手の育成を図った。また、令和6年度に作成した地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）について、地域の農業委員、担い手などを集めて協議の場を開き今後の農地の集積・集約について話し合いを行いました。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」があり、昨年度偏差値を上回る結果であった（上昇率は2.1ポイント）。こうした偏差値の上昇も踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き同事業を推進したい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
新規の認定農業者を増やすため、認定のメリットとなる施策や支援の周知を図るとともに、多様な担い手を含めた新規の農業者確保の取組を進める。また、農地の集積・集約に向けて、地域ごとに担い手会議や全体会議を開催し、地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）の見直しを進める。
当該施策は、農地の保全や生産基盤の強化だけでなく「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」といったウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも同事業を推進したい。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
水田営農推進事業	農林水産課	○	農林行政協力員の協力を得ながら、各集落に各種交付金制度の周知を図り、農家の経営強化に努めた。
担い手育成支援事業	農林水産課	○	中心経営体に対する農業用機械の購入費用や新規就農者に対する経営開始資金等の補助金を通じて、担い手の育成を図った。

■施策評価シート　　18-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
農業者年金運営事業	農業委員会事務局
環境保全型農業支援事業	農林水産課
畜産振興対策事業	農林水産課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
26	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	実数	3.6	3.7			
		偏差値	56.4	58.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	44								

■施策評価シート　　18-01-③

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	農林水産
基本方針	農業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	18-01-③	施策名	「農」を通じたつながりの拡大	

施策の概要
草津市産農産物の消費・活用拡大のために様々な主体が連携・協働するとともに、市民が「農」や農産物の「魅力」や「良さ」、農地の持つ「多面的な機能」への理解と共感を深めることで「農」を通じたつながりの拡大に努めます。

成果指標（単位）	地元の農産物を購入するよう心がけている市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	55	55	57.5	57.5
実績値	40.3	37.7			

成果指標実績に対するコメント
令和7年度も「草津ブランド市」や「草津あおばなフェスタ」、湖南農業高校と連携した「次世代マルシェ」などのイベントを開催し、草津の農産物のPRに努めたが、令和6年度よりも2.6ポイント減少し、目標値である55%には17.3ポイント不足し、目標値未達となった。

施策の達成度評価
道の駅草津やあおばな館での草津市産農産物の販売拡大等を通じて地産地消の取組を進めるとともに、関係機関が連携してイベント等での草津の農産物のPRに努めた。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.26　暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」があり、共に昨年度偏差値を上回る結果であった。こうした偏差値の上昇も踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き同事業を推進したい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
資材高騰の影響による価格上昇などにより消費者の購買行動等が変化するなかでも、草津の農産物のPRに努めるとともに、道の駅草津やあおばな館での草津市産農産物の販売拡大等を通じて、地産地消の取組を進めていく。
当該施策は、農地の保全や生産基盤の強化だけでなく「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.26　暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」といったウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも同事業を推進したい。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
「道の駅草津」管理運営事業	農林水産課	○	農業振興の拠点施設として、適切に管理運営を行い、地場産物の販売拡大に努めた。
草津ブランド力強化事業	農林水産課	○	草津あおばな会と連携し、あおばなの普及啓発の取組を進めた。

■施策評価シート　　18-01-③

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
農業振興対策事務（たんぼのこ体験事業）	農林水産課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
26	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	実数	3.6	3.7			
		偏差値	56.4	58.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）									

■施策評価シート　18-02-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	農林水産
基本方針	水産業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	18-02-①	施策名	漁業環境の保全・確保	

施策の概要
漁港の適正な管理を行い、漁業環境の保全・確保に努めます。

成果指標（単位）	漁獲量(kg)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	14,507	14,507	14,507	14,507
実績値	14,507	8,842			

成果指標実績に対するコメント
令和7年度の漁獲量実績は8,842kgとなり、令和6年度より5,665kg減少し、目標値を達成することができなかった。

施策の達成度評価
琵琶湖の環境変化による栄養悪化などが生じたことに加え、漁業者の減少および高齢化に伴う担い手不足が影響し、成果指標の目標値を達成することはできなかった。こうした厳しい状況下ではあるが、指定管理者による適切な漁港管理を継続するとともに、琵琶湖一斉清掃や水産多面的機能発揮対策事業による水草除去など、漁場環境の保全活動を通じて、在来魚が生育しやすい環境づくりに努めた。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.26　暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」があり、昨年度偏差値を上回る結果であった（上昇率は2.1ポイント）。こうした偏差値の上昇も踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き同事業を推進したい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、指定管理者による適切な漁港管理を行うとともに、琵琶湖一斉清掃や水産多面的機能発揮対策事業による水草除去といった漁場環境の保全活動を推進する。あわせて、漁業者の減少・高齢化が進行する中でも持続可能な保全活動が維持できるよう、将来的な漁港のあり方について、関係機関等と協議を進める。
当該施策は、漁業環境の保全・確保だけでなく「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」といったウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも同事業を推進したい。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
漁港管理事業	農林水産課	○	指定管理者による適切な漁港管理を行うことができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　18-02-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
26	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	実数	3.6	3.7			
		偏差値	56.4	58.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	44								

■施策評価シート　18-02-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	農林水産
基本方針	水産業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	18-02-②	施策名	漁業・水産資源の多面的利活用の促進	

施策の概要
水産まつりでの体験型イベントの開催など、水産資源の魅力発信による地場産物の消費拡大や、着地型観光などによる漁港の利活用に努めます。

成果指標（単位）	水産まつりにおける体験型イベントへの参加者数				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	800	800	800	800
実績値	400	700			

成果指標実績に対するコメント
令和7年度のイベント参加者数は、700人であり、令和6年度より300名増加したものの、目標値を達成することができなかった。

施策の達成度評価
関係各所に草津水産まつりの紹介を行い、幅広く水産の振興を図った。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」があり、昨年度偏差値を上回る結果であった（上昇率は2.1ポイント）。こうした偏差値の上昇も踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き同事業を推進したい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
関係機関との協議を行い、今後の漁港の利活用や地場産物の消費拡大や水産振興を図る。
当該施策は、漁業・水産資源の多面的利活用の促進「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」といったウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも同事業を推進したい。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
水産振興協議会活動補助事業	農林水産課	○	草津市水産振興協議会に対する補助金の交付により、水産振興を図った。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　18-02-②

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
26	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	実数	3.6	3.7			
		偏差値	56.4	58.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

19.商工観光に関する施策

■施策評価シート　19-01-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	中心市街地の活性化		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	19-01-①	施策名	中心市街地のにぎわいの創出	

施策の概要
中心市街地エリアの商業の活性化を図るため、官民が参画するエリアマネジメント組織が中心となり、官民が連携したイベント実施や新規出店の促進等により、にぎわいの創出に取り組みます。

成果指標（単位）	買物をする環境が整っていると感じる市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	76.7	77.3	77.9	78.5
実績値	76.1	75.9			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、「買い物をする環境が整っていると感じる市民の割合」は、前年度に比べ0.2ポイント下降し、目標値を達成することができなかった。駅前商業施設が立地する地域では評価が高い一方で、郊外地域では相対的に評価が低かった。このことから、徒歩アクセスの利便性が買物をする環境への評価につながっている一方で、郊外地域から中心市街地へのアクセス性などから、郊外地域住民からの実感は薄く、満足度が低くなっていると考えられる。

施策の達成度評価
「くさつまちなかエリアプラットフォーム」を通じ、駅周辺大規模商業施設や商店街等と協力しながら官民連携での集客にむけた取り組みを実施し、まちなかの魅力向上に寄与した。一方で、空き家・空き店舗の活用では出店したい方はいるものの空き店舗の所有者とのマッチングにつながらなかった。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標においては、「№7 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」と「№22 私の暮らしている地域は、自分にとって心地よい」の2項目で偏差値70を上回り、まちなかの商業施設については充足していると評価している。 一方で、「№12 私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」の項目については偏差値51.4と、公共交通機関でのまちなかへのアクセス性が、まちなかの買い物環境への満足度を押し下げていると考えられる。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
草津まちづくり株式会社やくさつまちなかエリアプラットフォームと官民一体の取組を行うことで商業環境の充足を図り、まちなかの魅力向上を推進する。 出店希望者と空き店舗の所有者とのマッチングする仕組みを検討し、店舗の誘導を図る。
「№7 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」と「№22 私の暮らしている地域は、自分にとって心地よい」の2項目を維持できるようまちなかの魅力向上を図る。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
中心市街地活性化推進事業（商工費）	都市地域戦略課	△	草津まちづくり株式会社やくさつまちなかエリアプラットフォームとともに官民が連携しまちなかの魅力向上に寄与した一方で、魅力店舗誘致事業については空き店舗の所有者とのマッチングにつながらず、誘致にいたらなかったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　19-01-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
7	暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない	実数	4.1	4.1			
		偏差値	69.9	72.6			
8	私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している	実数	3.5	3.6			
		偏差値	60.9	66.4			
12	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	実数	3.1	3.2			
		偏差値	49.7	51.4			
13	私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	実数	2.8	3.0			
		偏差値	54.3	58.6			
22	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	実数	3.7	3.8			
		偏差値	68.0	71.2			
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8			
		偏差値	65.4	68.3			
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3	3.4			
		偏差値	55.4	60.3			
36	私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	実数	3.3	3.3			
		偏差値	66.6	68.6			
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	57.7	58.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)	9	10	11	20	41	77	79	90	

■施策評価シート　19-02-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	商業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	19-02-①	施策名	地域商業の活性化	

施策の概要
地域の商業を活性化させるために、草津商工会議所をはじめ地域経済団体や関係団体と連携しながら、商業の振興や草津ブランドの育成等を図ります。

成果指標（単位）	買物する環境が整っていると思う市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	76.7	77.3	77.9	78.5
実績値	76.1	75.9			

成果指標実績に対するコメント
成果指標の実績値は、依然として高い水準で推移しているが、全国的な経済情勢の変化や物価高騰等により、買物の際の満足感が低下していることが考えられ、その影響により成果指標の目標値を下回ったと考える。

施策の達成度評価
草津商工会議所をはじめとする地域経済団体や関係団体と連携したくさつ華あかりフェスタやみなくさまつりなどの実施および草津ブランド認証品の拡大や草津ブランド認証品を用いた新商品の誕生などにより地域商業の活性化を図った。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、偏差値が高い順に「No.7　暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」「No.8　私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している」「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.49　私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」「No.48　私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」があり、いずれも偏差値が50を上回る結果であった。こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、草津商工会議所をはじめとする地域経済団体や関係団体との連携を図り、各種取組を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
草津商工会議所や草津市商店街連盟などの地域に根差した地域経済団体などとの連携を図りながら、消費者の購買行動の機運醸成に繋がる地域イベント等の支援をはじめとして、引き続き、地域商業の活性化を推進する。また、草津ブランド認証品をはじめとした市内の特産品等の啓発や民間事業者や大学等と連携した新商品の開発など、事業者等と連携し、販路開拓および新たな商品開発を行える環境づくりに努める。
草津商工会議所をはじめとする地域経済団体や関係団体との連携を通じた各種取組は、「No.7　暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」「No.8　私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している」「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.48　私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49　私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」といった指標において、高い水準であり、ウェルビーイング向上にも資する取組であると考えることから、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
商工団体等活動費補助事業	商工観光労政課	○	草津商工会議所をはじめとした商工団体や地域商業の活性化を図ることのできる事業への支援を行うことで、市内商業の活性化を図ることができたため。
商店街活性化推進事業	商工観光労政課	○	くさつ華あかりフェスタの開催への支援やくさつ夢本陣の運営を行うことで商店街等の活性化を図ることができたため。
草津ブランド強化事業	商工観光労政課	○	草津ブランド認証品の拡大や事業者と連携した新商品の開発、啓発イベントの開催など、市内産業の活性化と本市のPRを図ることができたため。

■施策評価シート　19-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
商工業事務	商工観光労政課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
7	暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない	実数	4.1	4.1			
		偏差値	69.9	72.6			
8	私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している	実数	3.5	3.6			
		偏差値	60.9	66.4			
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8			
		偏差値	55.6	56.1			
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	54.9	56.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	9	10	11	120	122				

■施策評価シート　19-03-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	工業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	19-03-①	施策名	新産業の創出と中小企業等への支援	

施策の概要
くさつビズサポやインキュベーション施設などの支援機関等の活用や、産学官金の連携のさらなる強化により、新たな産業の創出を促進するとともに、中小企業等への企業訪問等を通じ、ビジネスマッチングなど、ニーズに応じた支援を行います。

成果指標（単位）	くさつビズサポの支援を受けて創業した数（人）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	24	26	28	30
実績値	22	9			

成果指標実績に対するコメント
創業に係る相談支援については、令和6年度と同程度の53者に支援を行ったが、近年の物価高騰や金利上昇等の影響で、創業を延期されるケースが多くあったことから、結果的に目標値を下回る結果となった。しかし、創業準備中の事業者もいることから、くさつビズサポにおいて継続して支援を行い、創業者数の増加を目指す。

施策の達成度評価
くさつビズサポの支援を受けて創業した数は目標値を下回ったものの、創業希望者・事業者等からの相談支援の実績は、昨年度と同程度の実績であったことから、くさつビスサポの相談支援には一定の成果があったものと考える。引き続き、創業や創業後の支援や事業者同士の交流機会の創出、市ホームページや草津市事業者支援制度一覧（リーフレット）で本施策について周知に務める。
関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」「No.50 暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある」があり、いずれも偏差値が50を上回る結果であった。新産業の創出と中小企業への支援等を行うことで、新たな産業への促進により、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、各種施策を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、創業希望者・事業者等からの相談や支援等や支援機関等の活用を図りながら、企業のニーズに応じた支援・サポートに取り組む。
支援機関等の活用や産学官金の連携への支援に対する取組は、新たな産業の創出だけでなく、「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」「No.50 暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある」といった指標において、高い水準であり、ウェルビーイング向上にも資する取組であると考えることから、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
ビジネスサポート推進事業	商工観光労政課	○	目標値を下回る実績（9人）となったものの、事業者同士の交流機会の創出等、事業者支援の一定の成果はあったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　19-03-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8			
		偏差値	55.6	56.1			
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	54.9	56.5			
50	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある	実数	2.8	2.9			
		偏差値	54.4	57.1			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	120	121	122	124	125	126	127		

■施策評価シート　19-03-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	工業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	8 9 11 17
施策番号	19-03-②	施策名	企業の立地促進	

施策の概要
本市の企業立地の優位性を生かすため、企業誘致の立地適地の創出に向けた調査を実施し、新たな企業立地を推進します。

成果指標（単位）	企業立地促進助成事業者として指定決定を行った件数（件）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	3	3	3	3
実績値	3	1			

成果指標実績に対するコメント
指定決定件数は1件であるものの、市内における企業の立地・集積を促進するため、草津イノベーションコーディネータ（略称：KIC）による企業訪問活動や市ホームページ等を通じて情報発信を行った結果、一定の成果があったものと考える。

施策の達成度評価
目標値には至らなかったものの、指定決定を行うことができ、一定の成果があったものと考えるが、市内の企業立地適地が不足している状況を踏まえ、都市計画マスタープランに基づく産業振興区域において、計画的な土地利用を図ることを目的に、「草津市産業用地創出に向けた具体的な取組」を取りまとめたことから、当該取組に基づき、高付加価値を生み出す産業用地集積エリアの形成に向けて事業を進めていく必要がある。
関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」があり、いずれも偏差値が50を上回る結果であった。企業誘致の立地適地の創出に向けた調査を実施することで、新たな企業立地への促進により、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、各種施策を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
市内に工業系用途地域の未利用地が少なく、工場や研究所等の新たな立地適地が限られた状況となっていることから、高付加価値を生み出す産業集積エリアの形成に向けて、農業施策との調整を踏まえつつ、都市計画マスタープランに基づく産業振興区域である御倉町外地先において、令和8年度に実施予定の「産業集積エリア整備計画検討業務」にて、地権者へのアンケート調査を行い、産業用地の創出の可能性を探ったうえで、適正な開発手法にて産業用地開発を進めていく。
企業誘致の立地適地の創出に向けた調査に対する取組は、「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」といった指標において、高い水準であり、ウェルビーイング向上にも資する取組であると考えることから、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
企業立地推進事業	商工観光労政課	○	目標値達成には至らなかった（1件）ものの、工場立地等の相談を受けていることから、一定の成果はあったと言えるため。
企業立地推進事業	企業立地推進室	○	計画的な土地利用を図ることを目的に、「草津市産業用地創出に向けた具体的な取組」を取りまとめることができたため。

■施策評価シート　　19-03-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
産業振興審議会運営事業	商工観光労政課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8			
		偏差値	55.6	56.1			
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	54.9	56.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	120	122							

■施策評価シート　19-04-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	観光の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	8 9 11 17
施策番号	19-04-①	施策名	地域観光の活性化	

施策の概要

地域の観光を活性化させるために、観光事業者、(一社)草津市観光物産協会、関係団体等と連携しながら、地域の特性を生かした魅力ある観光事業を展開します。

成果指標(単位)	観光入込客数(人)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	2,908,000	2,937,000	2,966,000	2,996,000
実績値	2,879,019	3,040,180			

成果指標実績に対するコメント

国スポ・障スポの開催、観光入込客数が多い草津川跡地公園内でのイベントの充実、市内まつりの来場者数が増加したことが目標値達成の要因であり、今後も引き続き、(一社)草津市観光物産協会などの関係団体と連携し、観光振興へ向けた取組を進める。

施策の達成度評価

(一社)草津市観光物産協会や草津市観光ボランティアガイド協会などの関係団体と連携を図りながら、地域の特性を生かした観光事業を実施することで、本市の観光振興を推進することができた。

関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.36　私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている」「No.48　私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49　私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」があり、いずれも偏差値が50を上回る結果であった。こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、(一社)草津市観光物産協会などの関係団体と連携し、観光振興へ向けた取組を進めていく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

着地型観光事業等を通して新たな観光資源の発掘や磨き上げ、SNSやHPでの情報発信を積極的に行い、引き続き観光振興に努める。
また、令和9年度の滋賀デスティネーションキャンペーンの開催に向け、草津市観光物産協会や草津市観光ボランティアガイド協会との連携を強化し、本市の特性を活かした魅力ある環境づくりと効果的な観光誘客に取り組んでいく。

(一社)草津市観光物産協会をはじめとする関係団体との連携を通じた各種取組は、「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.36　私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている」「No.48　私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49　私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」といった指標において、高い水準であり、ウェルビーイング向上にも資する取組であると考えることから、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度(主要事業のみ)	達成度評価理由
観光物産協会観光振興活動費補助事業	商工観光労政課	○	(一社)草津市観光物産協会への支援を通じて、地域観光資源推進事業や着地型観光事業などを実施し、本市の観光振興を推進したため。
宿場まつり開催費補助事業	商工観光労政課	○	第57回草津宿場まつりでは、6年ぶりに市役所エリアを復活させたほか、新たに和装パレードを実施する等、幅広い世代が楽しめる工夫を行った結果、前年度を上回る70,000人の来場者数があったため。
観光宣伝事業	商工観光労政課	○	草津市を訪れる方々に対し、観光案内を行うことで、本市の魅力発信を行うことが出来たため。

■施策評価シート　19-04-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
烏丸半島維持管理事業	公園緑地課
観光振興事務	商工観光労政課
広域観光事業	商工観光労政課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
36	私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている	実数	3.3	3.3			
		偏差値	66.6	68.6			
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8			
		偏差値	55.6	56.1			
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	54.9	56.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	85	120	122						

■施策評価シート　19-05-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	勤労者福祉の向上		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	19-05-①	施策名	勤労者への支援	

施策の概要
勤労者福祉の向上を図るため、「草津市勤労者福祉基本方針」に基づき働き方改革に取り組みながら、勤労者の福祉の増進に向けた支援を図ります。

成果指標（単位）	働きやすい労働環境であると感じる市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	34.9	35.7	36.5	37.3
実績値	34.1	32.4			

成果指標実績に対するコメント
補助金を交付している各勤労福祉団体で補助助成事業を数多く展開されたものの、物価高騰に賃金の引き上げが追いついておらず、金銭的な生活負担の増加により、目標値に届かなかったものと考えられる。

施策の達成度評価
草津市勤労者福祉サービスセンターおよび草津・栗東地区労働者福祉協議会が実施する勤労者福祉事業に対する支援を行った結果、各団体において福利厚生事業を展開し、勤労者福祉の向上を図った。
関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.48　私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49　私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」があり、いずれも偏差値が50を上回る結果であった。勤労者福祉団体への支援等を行うことで、勤労者の福祉の増進に向けた支援の促進により、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、各種施策を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き勤労者福祉団体への補助金を交付し、勤労者福祉の向上に資する取組を支援する。
勤労者福祉団体への支援に対する取組は、勤労者福祉の向上だけでなく、「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.48　私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49　私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」といった指標ににおいて、高い水準であり、ウェルビーイング向上にも資する取組であると考えることから、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
勤労者福祉団体育成事業	商工観光労政課	○	利用者数は増加しており、各種団体の勤労者福祉の向上を図ることができたため。
市民交流プラザ運営事業	商工観光労政課	○	安全安心な施設の運営に努め、市民活動や各種団体の活動支援ができたため。

■施策評価シート　　19-05-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
市民交流プラザ施設維持管理事業	商工観光労政課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8			
		偏差値	55.6	56.1			
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	54.9	56.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	115	116	117	118	119	120	122		

20.都市形成に関する施策

■施策評価シート　　20-01-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	都市形成
基本方針	都市と住環境の質・魅力向上		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	20-01-①	施策名	土地利用の適切な誘導	

施策の概要
都市計画法等に基づく指導等を行うことにより、土地利用の適切な誘導を図ります。

成果指標（単位）	「都市と住環境の質・魅力向上」に満足している市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	22.0	23.0	24.0	25.0
実績値	21.0	23.0			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、「都市と住環境の質・魅力向上」に満足している市民の割合は、前年度に比べ2ポイント増加し、目標値を達成することができた。開発審査等の手続きを適正に進め、草津市都市計画マスタープランおよび立地適正化計画に基づいた適切な土地利用の誘導を図った結果、都市と住環境の質や魅力に対する市民の一定の評価が表れたものと考える。

施策の達成度評価
法令に基づき一定規模以上の土地の売買にかかる届出事務を行うことで、適正かつ合理的な土地利用の確保・誘導を図ることができた。また、草津市開発行為の手続および基準等に関する条例、規則などに則った開発審査事務を行うことで、良好な住環境の確保と調和のとれた土地利用がなされるよう努めることができた。引き続き、法令等に則って適正に届出や申請がなされるよう周知していく必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、偏差値が高い順に「№9自宅には、心地のいい居場所がある」「№10【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている＜回答の点数が逆転＞」「№11私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる」があり、№9は偏差値が80と非常に高いが、№10、№11は偏差値が50を下回る結果であった。適切な土地利用の誘導を図り、魅力ある都市づくりを進めており、都市化による騒音等の問題や土地価格の上昇については、当該施策のみではコントロールできないが、引き続き、法令等に則った開発審査事務を行い、良好な住環境の確保に努めていく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、土地取引にかかる届出事務や開発審査事務などを通じて、適正かつ合理的な土地利用の確保・誘導および良好な住環境の確保と調和のとれた土地利用に努め、住み続けたいと思える都市づくりを進めていく。
適正かつ合理的な土地利用の確保・誘導および良好な住環境の確保と調和のとれた土地利用に努めることは「№9自宅には、心地のいい居場所がある」「№10【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている＜回答の点数が逆転＞」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、ウェルビーイング向上の観点からも、土地取引にかかる届出事務や開発審査事務を引き続き実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
土地取引届出勧告事務	都市計画課	○	国土利用計画法の届出制度は、適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、一定規模以上の土地取引について、取引段階での審査を行うものであり、令和7年度は15件の届出について、内容確認および県への経由事務を適正に行うことができた。
開発審査事務	開発調整課	○	開発行為許可申請に対して、草津市開発行為の手続および基準等に関する条例、規則等に則しているかを審査した。それらを経て、令和7年度においては80件の開発行為を許可し、良好な環境の確保と調和のとれた土地利用がなされるよう努めることができた。

■施策評価シート　　20-01-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
特定旅館建築規制事務	建築政策課
土地区画整理事業	都市計画課
地籍調査事業	土木管理課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
9	自宅には、心地のいい居場所がある	実数	4.1	4.2			
		偏差値	80.0	80.0			
10	【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている＜回答の点数が逆転＞	実数	3.5	3.5			
		偏差値	51.3	49.8			
11	私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる	実数	3.0	3.1			
		偏差値	44.0	46.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	12	13	14	15					

■施策評価シート　　20-01-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	都市形成
基本方針	都市と住環境の質・魅力向上		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	20-01-②	施策名	良質な住宅資産の形成	

施策の概要
長期優良住宅等の良質で安全な新築住宅の供給を促進するとともに、既存住宅の適切な維持管理やリフォームの促進に加え、空き家の適正管理や有効活用の促進、分譲マンションの管理適正化の推進等により、次世代にも継承される住宅資産への転換を進め、良質な住宅の安定供給・有効活用を図ります。

成果指標（単位）	住宅地などの住まいの環境がよいと感じている市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	72.4	72.6	72.8	73
実績値	72.2	69.1			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、「住宅地などの住まいの環境がよいと感じている市民の割合」は、前年度に比べ3.1ポイント減少し、目標値を達成することができなかったが、高い水準は維持できている。 このことは、長期優良住宅等の推進や分譲マンションの管理適正化の推進等を図った結果、市内の良質な住宅資産の形成を実感できていることが要因と考える。

施策の達成度評価
分譲マンションや空き家の管理適正化にかかる新たな取組を進めた結果、機運の醸成が図られ、各種制度等の利用促進につながった。引き続き、良質な住宅資産の形成に向けて、長期優良住宅の促進や分譲マンションや空き家等の適正管理の推進等に取り組んでいきたい。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標について、「No.9　自宅には心地のいい場所がある」や「No.30　私の暮らしている地域は、防犯対策が整っており、治安がよい」は高い評価を得ている。このことは、これまでの各種取組が、市民生活に実感として表れているものと評価できるため、引き続き、各種取組の推進を図りたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
より実効性のある取組としていくため、見直し、改善等を図りながら、各種取組を推進していく。
長期優良住宅等の推進や分譲マンションの管理適正化の推進等を通じて、「No.9　自宅には心地のいい場所がある」といったウェルビーイング向上に資する指標がとても高い水準で評価されていることから、引き続き、当該取組を進めていくとともに、「No.11　私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる」といった指標の向上に向けて、居住支援や空き家の利活用等の住宅政策を関係機関等と連携しながら、取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
建築物等確認事務	建築政策課	○	関係法令に基づく建築確認や指導等を通じて、建築規制の実効性を図ることができた。
住宅政策推進事業	建築政策課	○	空き家や分譲マンションの適正管理に向けた適切な支援を図ることで、地域の住環境の向上を図ることができた。

■施策評価シート　　20-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
改良住宅譲渡推進事業	市営住宅課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
9	自宅には、心地のいい居場所がある	実数	4.1	4.2			
		偏差値	80.0	80.0			
10	【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている＜回答の点数が逆転＞	実数	3.5	3.5			
		偏差値	51.3	49.8			
11	私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる	実数	3.0	3.1			
		偏差値	44.0	46.0			
30	私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい	実数	3.2	3.3			
		偏差値	58.8	61.8			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	12	13	14	15	79				

■施策評価シート　　20-02-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	都市形成
基本方針	まちなかの魅力向上と地域再生の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	20-02-①	施策名	にぎわいのある市街地の形成	

施策の概要
市民がいきいきと輝き、安心して暮らすことができるコンパクトでにぎわいあるまちを目指すため、公共空間の活用による都市魅力の構築、歴史的まちなみや地域資源の活用、交流の促進等により、歩いて暮らせるまちづくりを進めます。

成果指標（単位）	“まちなか”に魅力があると感じる市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	43.4	45.1	46.8	47.5
実績値	41.7	43.5			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、「“まちなか”に魅力があると感じる市民の割合」は目標値を達成した。「草津駅周辺エリア未来ビジョン」で描く風景を目指し、まちなかの滞在快適性を向上させるため、公共空間を活用したイベントや社会実験を継続的に行うなど、にぎわいを創出したことへの評価につながっていると考えられる。

施策の達成度評価
草津駅周辺のまちづくりの将来像を示した「草津駅周辺エリア未来ビジョン」で描いた将来像を目指し、草津まちづくり株式会社やくさつまちなかエリアプラットフォームとともに官民連携のまちづくりを行うことでまちなかの魅力向上に寄与した。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標においては、「No.7 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」と「No.22 私の暮らしている地域は、自分にとって心地よい」の2項目で偏差値70を上回り、まちなかの魅力を市民が実感していると考えられる。 また、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」の項目の偏差値68.3についてはまちなかの公共空間が滞在しやすい快適な場所として住民に認知いただき、評価を得ていると考えられる。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
草津まちづくり株式会社やくさつまちなかエリアプラットフォームを中心に官民で協議・連携しながら、各種の施策を推進し、まちなかの魅力向上を図る。
「No.7 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」と「No.22 私の暮らしている地域は、自分にとって心地よい」の2項目を維持できるようまちなかの魅力向上を図る。 また、さらに公共空間でのイベントや社会実験を通して滞在快適性の向上を推進することで、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」の項目の向上を図る。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
中心市街地活性化推進事業（土木費）	都市地域戦略課	○	「草津駅周辺エリア未来ビジョン」を推進し、草津駅周辺のまちづくりについてデザイン会議の開催やイベントの実施を行うことでまちなかの魅力向上に寄与ことができたため。
アーバンデザインセンター活動事業	都市地域戦略課	○	アーバンデザインセンターみなくさ活動支援補助金を交付することで、南草津駅周辺の都市価値向上を目指し産学公民の共創による官民連携のまちづくりを推進する「アーバンデザインセンターみなくさ」の設立等を支援することができたため。
都市計画推進事業	都市計画課	○	草津市都市計画マスタープラン等に基づき、各種事業を実施した結果、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを推進することができたため。

■施策評価シート　　20-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
市街地街づくり推進事業	都市地域戦略課
都市計画推進事業	都市地域戦略課
都市計画審議会運営事務	都市計画課
都市計画推進事務	都市計画課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
7	暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない	実数	4.1	4.1			
		偏差値	69.9	72.6			
8	私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している	実数	3.5	3.6			
		偏差値	60.9	66.4			
12	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	実数	3.1	3.2			
		偏差値	49.7	51.4			
13	私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	実数	2.8	3.0			
		偏差値	54.3	58.6			
22	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	実数	3.7	3.8			
		偏差値	68.0	71.2			
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8			
		偏差値	65.4	68.3			
29	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.6	66.0			
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3	3.4			
		偏差値	55.4	60.3			
36	私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	実数	3.3	3.3			
		偏差値	66.6	68.6			
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	57.7	58.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)	9	10	11	16	20	41	75	77	
	79	84	90						

■施策評価シート　　20-02-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	都市形成
基本方針	まちなかの魅力向上と地域再生の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	20-02-②	施策名	地域の特性と資源を活かした地域再生の推進	

施策の概要
新たな交流の創出、生活機能の確保や産業の振興等、さらなる活性化を図るため、郊外部における地域の特性と資源を活かします。

成果指標（単位）	「まちなかの魅力向上と地域再生の推進」に満足している市民の割合（%）（志津・老上西・山田・笠縫・笠縫東・常盤学区）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	18.3	19.3	20.3	21.3
実績値	17.3	17.4			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、「まちなかの魅力向上と地域再生の推進に満足している市民の割合（志津・老上西・山田・笠縫・笠縫東・常盤学区）」は17.4%と目標値を下回った。また、学区ごとの満足度においても老上西・山田・笠縫・常盤学区の4つの学区において目標値に届かない結果となった。これは草津市版地域再生計画に基づくまちづくりプランを推進しているが、生活拠点や交通拠点の形成が完了していない地域があり、住民の生活実感として満足度の向上にいたらなかったと考えられる。

施策の達成度評価
まちづくりプランの更新を志津・笠縫・老上西学区で行ったが、まちづくりプランの推進状況については学区ごとに進捗にばらつきがある。 山田・笠縫学区においては、生活・交通拠点の形成が完了しておらず、そのため、住民の実感として満足度の向上につながらなかったと考えている。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標においては、「No.5 暮らしている地域は、医療機能が充実している」と「No.7 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」の2項目で偏差値70を上回っているものの、市民意識調査との乖離が見られる。これは地域幸福度調査が市全域で行われたため、郊外区域の課題が見えにくく、生活の実態とギャップがあるからではないかと考えられる。また、「No.12 私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」の項目についても偏差値51.4となっており、公共交通のあり方についても、引き続き地域との議論が必要だと考えられる。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
各学区がまちづくりプランに基づく取組をこれまで進めてきた結果、課題を解決しながら、地域再生の推進が図られた。引き続き、地域と行政が協働して取組が円滑に行える体制づくりを行い、まちづくりプランの改訂や推進を行うなかで、これまでの成果や課題、地域の将来像を多くの住民と共有できる場を設け、地域再生の取組を住民に実感してもらえるように努める。
草津市版地域再生計画における生活拠点形成の取組を推進することで「No.5 暮らしている地域は、医療機能が充実している」と「No.7 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」の満足度を郊外区域の底上げすることにより引き上げる 草津市版地域再生計画の取り組みは生活拠点の形成だけでなく、効率的な公共交通ネットワークの形成を図っており、「No.12 私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」を引き上げ、ウィルビーイングの向上の観点からも交通拠点の形成やコミュニティバスの再編等の取組を地域と共に推進する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
地域再生推進事業	都市地域戦略課	△	笠縫東学区において令和7年度実施予定だったまちづくりプランの改訂を次年度に行うこととしたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　20-02-②

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
5	暮らしている地域は、医療機関が充実している	実数	3.9	4.0			
		偏差値	69.7	73.3			
6	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
		偏差値	58.0	63.0			
7	暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない	実数	4.1	4.1			
		偏差値	69.9	72.6			
12	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	実数	3.1	3.2			
		偏差値	49.7	51.4			
36	私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	実数	3.3	3.3			
		偏差値	66.6	68.6			
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	57.7	58.4			
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	54.9	56.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)	1	5	9	16	84	120			

■施策評価シート　　20-03-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	都市形成
基本方針	良好な景観の保全と創出		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	20-03-①	施策名	自然的・歴史的景観の保全と活用、都市景観の形成	

施策の概要
豊かな自然景観や歴史文化の薫るまちなみの保全・活用、心地よさを感じる都市景観の創出に取り組み、ふるさと草津の心を育む景観形成を図ります。

成果指標（単位）	「まちの景観に好感が持てる」市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	38.4	39.3	40.2	41.1
実績値	37.5	40.4			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、まちの景観に好感が持てると思う市民の割合は、前年度に比べ2.9ポイント増加し、目標値を達成することができた。 景観計画や屋外広告物条例に基づく指導、ファサード補助制度による歴史まちなみ景観への誘導支援に加え、大津市との連携事業である「対岸眺望ポイントの設定」や「東海道統一案内看板の設置」など、琵琶湖の眺望景観や東海道の歴史景観の保全・活用に係る施策等に対する市民の評価が現れたものと考える。

施策の達成度評価
建築物および工作物等を規制することで、自然景観・歴史景観・都市景観の形成を進めることができた。また、景観形成重点地区における建物・工作物の新築・改修に係る経費を補助することで、歴史街道の景観形成に寄与することができた。景観形成を推進するため、引き続き建築物・工作物の規制および補助を行っていく必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、偏差値が高い順に「№25　私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある」「№24　私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある」があり、いずれも偏差値が50後半という結果であった。 引き続き法令等に基づく指導・助言を行い、より良い景観の形成に努めていく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
建築物・工作物等の規制や自然景観・歴史景観・都市景観の保全・活用に係る施策を通して、住む人が自慢したくなるようなまちづくりを進めていく。
まちの景観を保全し、琵琶湖や歴史街道を活用した施策に取り組むことは「№25　私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある」「№24　私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、ウェルビーイング向上の観点からも、規制に係る審査や指導、景観資源を活用した取組を継続して実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
屋外広告物管理事務	都市計画課	○	屋外広告物条例に基づき、掲出する屋外広告物に対し許可基準を設けており、令和7年度は866件の申請等（除却届を除く）について適正に審査を行い、まちの景観保全に寄与することができた。
景観を生かしたまちづくり推進事業	都市計画課	○	景観計画に基づき、建築物・工作物の新築・改修を行う際の基準を設けており、令和7年度は73件の届出について適正に審査を行い、まちの景観保全に寄与することができた。

■施策評価シート　　20-03-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
24	私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある	実数	3.1	3.1			
		偏差値	53.9	56.3			
25	私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある	実数	3.3	3.4			
		偏差値	55.1	57.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	42	43							

21.公園・緑地に関する施策

■施策評価シート　　21-01-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	公園・緑地
基本方針	ガーデンシティの推進		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	21-01-①	施策名	公園・緑地の整備	

施策の概要
みどりの基本計画に基づき、市民ニーズを踏まえた都市公園の整備を計画的に進めます。

成果指標（単位）	公園・緑地面積（ha）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	94.9	95	97.6	97.7
実績値	94.7	95.0			

成果指標実績に対するコメント
住宅地開発に伴う公園設置の指導に伴い、児童遊園が増加したことから、公園・緑地面積が前年度比0.3ha増加し、目標を達成することができた。

施策の達成度評価
令和3年度に策定した「第3次草津市みどりの基本計画」に基づき各種事業を推進した結果、野路公園整備用地取得に向けた地権者交渉などについて、一定の成果が見られた。今後は、野路公園の整備に向けて地権者等と更なる調整を進める必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度（Well－Being）指標は、偏差値が高い順に「No.22　暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」となっており、いずれも偏差値が60を上回る結果であった。これは、みどりの基本計画に基づく各種事業を着実に進めたきた結果であり、引き続き、みどりの基本計画に基づき、都市公園の整備を計画的に進めていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
市民ニーズを踏まえた都市公園の整備を計画的に進めるため、引き続き、野路公園について地権者との協議を行い、用地取得等を進めます。
都市公園の整備は、「No.22　暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」「No.23　私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」といった指標に係るウェルビーイングの向上にも資するものであり、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、引き続き、野路公園整備事業等を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
野路公園整備事業	公園緑地課	△	地域および地権者との協議を行い、一定の進捗を図ることができたが、用地取得には至らなかったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　21-01-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
22	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	実数	3.7	3.8			
		偏差値	68.0	71.2			
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8			
		偏差値	65.4	68.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	38	39							

■施策評価シート　　21-01-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	公園・緑地
基本方針	ガーデンシティの推進		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	21-01-②	施策名	公園・緑地の活用	

施策の概要
公園に対する市民ニーズの多様化に対応できるよう、市民参加による公園の再整備や維持管理、公園施設の計画的な改修、更新を行います。

成果指標（単位）	公園再整備箇所数（箇所／年）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	3	3	3	3
実績値	3	8			

成果指標実績に対するコメント
市内の公園を計画的に再整備し、目標を達成するとともに、町内会からの要望等を踏まえ、公園の機能・役割について調整を重ね、市内の公園を再整備した結果、公園の利用環境向上に繋げることができたと考える。

施策の達成度評価
令和3年度に策定した「第3次草津市みどりの基本計画」に基づき、各種事業を推進した結果、公園再整備および維持管理に関する取組については、地元町内会の協力を得るなどの市民参加が実現でき、一定の効果が見られた。植栽や施設などの老朽化が目立つ公園施設については、引き続き、計画的な再整備を実施できるように検討する必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、偏差値が高い順に「No.22　暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」「No.23　私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」となっており、No22、23は偏差値が60を上回っており、No19についても偏差値57.9と高い結果であった。 これは、みどりの基本計画に基づく各種事業を着実に進めたきた結果であり、引き続き、計画的に公園の再整備を進めていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
これまでに引き続き、計画的な再整備が必要であり、令和9年度は、地元要望を踏まえた市内公園の再整備工事を行うとともに、指定管理者制度を導入している施設については、安全・安心に利用していただけるように適切な維持管理を実施していく。
公園に対する市民ニーズへの対応は、「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.22　暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」「No.23　私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」といった指標に係るウェルビーイングの向上にも資するものであり、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、引き続き、計画的な公園の再整備を進めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
ロクハ公園運営事業	公園緑地課	○	適切な維持管理のもとで安全に公園運営を行うことができるなど、期待どおりの成果があったため。
児童公園等維持管理事業	公園緑地課	○	地元の町内会等の協力を得ながら、草刈り等の日常の公園維持管理を実施できたほか、計画的に公園の再整備を実施した結果、市民協働の公園維持管理ができ、期待どおりの成果があったため。
みずの森管理運営事業	公園緑地課	○	各種イベントや展示会等を計画的に実施するなど、期待どおりの成果があったため。

■施策評価シート　　21-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
公園関係団体負担金事務	公園緑地課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
22	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	実数	3.7	3.8			
		偏差値	68.0	71.2			
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8			
		偏差値	65.4	68.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	33								

■施策評価シート　　21-01-③

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	公園・緑地
基本方針	ガーデンシティの推進		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	21-01-③	施策名	まちなみ緑化の推進	

施策の概要
公園等において緑化を推進することで、まちのうるおいを増やし、花と緑のある憩いの場を創出します。

成果指標（単位）	ガーデニング活動延べ人数（人）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	609	619	629	639
実績値	599	655			

成果指標実績に対するコメント
公園等のオープンスペースを拠点としたガーデニング活動延べ人数は、前年度より56人増加し、目標値を達成することができた。コーディネーターによるガーデニングボランティアへの技術指導や講習などの取組が、目標値の達成に繋がったと考えられる。

施策の達成度評価
令和3年度に策定した「第3次草津市みどりの基本計画」に基づき各種事業を推進した結果、ガーデニング活動の参加者が増加した。引き続き、市民にガーデニングや、まちなみ緑化に関心を持ち参加いただけるように、広報活動の充実などにより魅力を発信していく必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、偏差値が高い順に「No.22　暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」「No.23　私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」となっており、いずれも偏差値が60を上回る結果であった。これは、みどりの基本計画に基づく各種事業を着実に進めたきた結果であり、引き続き、ガーデンシティの推進のため、ガーデニング活動の参加者増に向けた取組を進めていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
これまでの取組により、一定のガーデニング活動延べ人数がいるものの、活動者の高齢化が課題であり、多様な世代の人に参加してもらえる魅力ある活動となるよう環境づくりを推進する。
花と緑のある憩いの場の創出は、「No.22　暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」「No.23　私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」といった指標に係るウェルビーイングの向上にも資するものであり、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、引き続き、ガーデニング活動の参加者増に向けた取組を進めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
ガーデニング推進事業	公園緑地課	○	コーディネーターによるガーデニングボランティアへの技術指導や講習などの取組を行った結果、期待どおりの成果があったため。
緑化推進事業	公園緑地課	○	緑の募金活動の実施により緑化啓発を行うなど、期待どおりの成果があったため。

■施策評価シート　　21-01-③

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
22	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	実数	3.7	3.8			
		偏差値	68.0	71.2			
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8			
		偏差値	65.4	68.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

■施策評価シート　　21-02-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	公園・緑地
基本方針	草津川跡地の空間整備		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	21-02-①	施策名	草津川跡地の整備	

施策の概要
にぎわいが創出され、人と自然がふれあい、うるおいがもたらされる空間づくりに取り組んでいくため、草津川跡地が市民の憩いの場や、多様な市民活動の場、また、多くの人が関わる空間、災害時の防災空間となるよう整備・運営を行います。

成果指標（単位）	「草津川跡地の空間整備」に満足している市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	39.6	39.7	39.8	39.9
実績値	39.5	39.4			

成果指標実績に対するコメント
目標値を0.2ポイント達成することはできず、また令和6年度と比較すると、0.1ポイント減少している状況であることから、今後、公園における市民活動の活発化等を行うことにより、市民満足度の向上を図りたいと考える。

施策の達成度評価
区間2（ai彩ひろば）に遊具と日陰対策施設の設置を行った。 また、区間6の整備については、滋賀県や栗東市をはじめとした関係機関と連携して整備を進めることができた。 草津川跡地公園（区間2、5）においては、指定管理者による管理により、公園の良好な環境を維持するとともに、公園のオープンスペースを活かした取組を市民活動団体や民間事業者等と連携して実施できた。 各種団体の断続的な活動ではなく、持続的な活動が公園の魅力を高めていくため、引き続き、きめ細かな対応を行い、多くの方が関わる魅力的な管理運営を行う必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度（Well－Being）指標は、偏差値が高い順に「No.22　暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」「No.23　私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」があり、いずれも偏差値が50を上回る結果であった。 草津川跡地公園（区間2、5）においては、公園のオープンスペースを活かした取組を実施しており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、草津川跡地公園（区間2、5）がより魅力的な公園となるよう、引き続き、指定管理者、市民活動団体、民間事業者等と連携していきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
これまでの整備や管理運営により、市民意識調査や指定管理者による公園利用者アンケートで一定の評価をいただいており、公園の空間利用や市民活動団体、民間事業者の持続的な活動を実施していくため、令和9年度以降も公園のさらなる活用や有効的な利用が行えるよう検討を進める。 また、区間6については、関係機関と連携を強化しながら整備を行うとともに、賑わいの創出や公園利用者の利便性向上といった持続可能な管理体制を構築するため、民間事業者の誘致を進める。
「No.19　暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.22　暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」「No.23　私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」といった指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、公園のさらなる活用や有効的な利用が行えるよう、公園の空間利用や市民活動団体、民間事業者の持続的な活動を実施していきたい。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
草津川跡地整備事業	草津川跡地整備課	○	区間2（ai彩ひろば）に遊具と日陰対策施設の設置を行うとともに、区間6の工事や民間事業者誘致の事業者公募を行ったことから、期待通りの成果を得ることができたため。
草津川跡地公園運営事業	草津川跡地整備課	○	区間4JR上部の道路付帯施設（広場）の管理、また、草津川跡地公園（区間2、5）において、公園のオープンスペースを活かした取組を市民活動団体や民間事業者等と連携して実施した結果、期待通りの成果を得ることができたため。

■施策評価シート　　21-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
22	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	実数	3.7	3.8			
		偏差値	68.0	71.2			
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8			
		偏差値	65.4	68.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	38	39	40						

22.情報・交流に関する施策

■施策評価シート　22-01-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	情報・交流
基本方針	まちづくり情報の提供の充実		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	22-01-①	施策名	まちづくり情報の提供	

施策の概要
まちづくりの活性化を図るため、地域の課題解決や、市民公益活動団体の活動を支援するための情報を提供します。

成果指標（単位）	中間支援組織が運営するキラリエ草津協働ひろば公式SNSによる市民活動情報の発信数（件）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	327	333	339	345
実績値	321	194			

成果指標実績に対するコメント
中間支援組織が運営する協働ひろばの公式SNSによる情報発信数については、目標値の6割弱の実績となった。要因としては、情報発信を望まれた事業が当該年度は少なかったことによるものと考えられる。成果指標は目標値に届かなかったが、協働ひろば公式SNSの登録者数はLINEでは552人、Instagramは70人増加させることができた。引き続き、より多くの方に情報が届くよう取組を進めていく。

施策の達成度評価
町内会長全体説明会で町内会活動の課題に対する解決事例等を掲載したまちづくり資料集を配布し、説明を行った。市民活動情報の発信数については、目標値を下回る結果となったが、やみくもに情報発信をするのではなく、市民活動団体等から要望のあった場合の情報発信や、協働ひろばを利用する市民のニーズに合った情報の発信を行うよう努めた。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.36 私はこの町内（集落）に対して愛着を持っている」で、偏差値は60を上回る結果であった。 市民活動等のまちづくりに関する情報発信を継続して行うことで、まちとの接点を増やし、まちへの愛着を深めていただけるよう取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
まちづくり資料集の説明や、町内会長戸別訪問を通じて、町内会の取組事例や課題の共有が図れるよう取り組む。 引き続き協働ひろば利用者のニーズを把握しながら、より多くの市民にタイムリーな情報が届けられるよう努める。
市民活動等のまちづくりに関する情報発信を行う取組は、「No.36 私はこの町内（集落）に対して愛着を持っている」の指標にかかるウェルビーイングの向上の一因子であると考えられるため、引き続き取組を進めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
まちづくり情報事業	まちづくり協働課	○	町内会長全体説明会で、町内会活動の課題に対する解決事例等を掲載したまちづくり資料集の説明・配布を行うことなどを通じて、地域まちづくりの活性化を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　22-01-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
36	私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている	実数	3.3	3.3			
		偏差値	66.6	68.6			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	84								

■施策評価シート　22-01-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	情報・交流
基本方針	まちづくり情報の提供の充実		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	22-01-②	施策名	行政情報の提供	

施策の概要
市民による活発なまちづくり活動が展開されるよう、行政情報を提供します。

成果指標（単位）	LINE登録者数（千人）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	22	26	30	34
実績値	18	22			

成果指標実績に対するコメント
LINE登録者数は21,603人となり、目標値は概ね達成できた。登録推進の取り組みについては、広報くさつや市ホームページへの掲載の他、転入者向け配布物へのチラシの封入、庁内封筒および口座振込通知書への掲載、市内就学前施設での保護者への登録依頼、Sigfly登録者への配信、各イベントでの啓発などを行い、令和7年度は3,566人の増加となった。

施策の達成度評価
各課からの依頼に応じて、登録者に対してプッシュ通知やLINE VOOMで様々な行政情報を発信し、活動に必要な行政情報を提供できた。令和7年度は、わたSHIGA輝く国スポ・障スポが開催されたことから、期間中はリッチメニューの国スポ仕様への変更や、公共施設予約システムの項目の追加など、関心を持っていただく情報発信に努めた。また、新たなSNSとして令和7年10月からInstagramの運用を開始し、写真や動画で本市の魅力を発信した。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「№36　私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている」があり、偏差値が60を上回る結果であった。 本市では、市ホームページやLINEをはじめとするSNSを、重要な行政情報の提供手段として取り組んでおり、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的に行政情報を提供できるよう取り組みたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、誰もが分かりやすく情報を入手できるよう、LINEの運営に努めるとともに、市民が必要な情報を様々な媒体から入手できるよう、広報紙や市ホームページ、Facebook、X（Twitter）といったSNSなどと連携させた情報発信を行っていく。
LINEを活用した行政情報の提供は、まちづくり情報の提供の充実だけでなく、「№36　私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、LINEをはじめSNSや市ホームページを活用した行政情報の提供に引き続き取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
広報くさつ発行事業	広報課	○	市が推進する施策や計画、市政の現状を市民に周知するため、広報紙を毎月、全世帯に発行することにより、市民と情報を共有することができたため。
シティセールス推進事業	広報課	○	草津市公認マスコットキャラクター「たび丸」の活動や、イベント出演などのKUSATSUBOOSTERSとの連携、シティプロモーションツールの作成等、市内外に向けて本市の魅力を発信することができたため。

■施策評価シート　　22-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ふるさと寄附運営事業	広報課
インターネット広報事業	広報課
パブリシティー推進事業	広報課
広報映画制作事業	広報課
市長への手紙事務事業	広報課
人にやさしい広報作成事業	広報課
放送委託事業	広報課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
36	私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている	実数	3.3	3.3			
		偏差値	66.6	68.6			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	84								

■施策評価シート　　22-02-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	情報・交流
基本方針	多様な連携・交流の展開		基本方針に関連するSDGsの目標	3 5 9 11 12 17
施策番号	22-02-①	施策名	産学公民の連携によるまちづくりの展開	

施策の概要
複雑化する課題に対して、産学公民の多様な知見を持ち寄り、共創型で地域の課題解決に取り組み、存続し続けられるよう都市の価値向上ならびに活気あふれるまちづくりを進めます。

成果指標（単位）	「多様な連携・交流の展開」に満足している市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	12.8	13.2	13.6	14.0
実績値	12.4	15.6			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、多様な連携・交流の展開に満足している市民の割合は、前年度に比べ+3.2ポイントと大きく増加し、目標値より2.8ポイント高い結果であった。産学公民の多様な主体の連携・交流を目的として、立命館大学・パナソニック株式会社と三者連携を締結したこと、また、アーバンデザインセンターびわこ・くさつを法人化し、アーバンデザインセンターにおいて多様な主体の連携・交流を促したことで、目標を上回る成果につながったと考える。

施策の達成度評価
立命館大学・パナソニック株式会社と三者連携を締結したこと、一般社団法人アーバンデザインセンターみなくさを令和7年9月に設立し、新たな事業展開を進めていることで、一定の効果が見られた。引き続き多様な連携・交流の強化を図るため、三者連携の更なる促進による地域課題解決に取り組むことと合わせて、一般社団法人アーバンデザインセンターみなくさと共に多様な主体が連携・交流できる場の提供を行っていく必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.33　私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである」であり、偏差値が70を上回る結果であった。しかしながら偏差値が高いのは30代以上であり20代の偏差値は低いことから、20代への取組について検討していきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
産学公民の多様な主体による都市課題や地域課題の解決を目指し、三者連携の促進や、草津の未来のあり方について話し合える場であるアーバンデザインセンターの運営を行う。
多様な連携・交流の展開は、「No.33　私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである」といった指標にかかるウェルビーイング向上に資する取組であると考えており、当該指標が高い水準であったことを踏まえ、引き続き多様な連携・交流が生まれる場の提供を行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
アーバンデザインセンター運営事業	草津未来研究所	○	アーバンデザインセンターびわこ・くさつの法人化や、三者協定の締結により、産学公民の連携・交流を深化させることができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
草津未来研究所運営事業	草津未来研究所

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　22-02-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
33	私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである	実数	3.2	3.2			
		偏差値	73.5	74.7			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	90								

■施策評価シート　22-02-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	情報・交流
基本方針	多様な連携・交流の展開		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	22-02-②	施策名	都市間交流の促進	

施策の概要
多様な人々との交流を展開するため、姉妹都市等との交流など、市民間での都市間交流が活発になるよう、情報提供をしていきます。

成果指標（単位）	「多様な連携・交流の展開」に満足している市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	12.8	13.2	13.6	14.0
実績値	12.4	15.6			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、多様な連携・交流の展開に満足している市民の割合は、前年度に比べ3.2ポイント上昇し、目標値を達成することができた。令和7年度は、国内だけでなくポンティアック市への訪問事業を通した国際的な都市間交流や、観音寺市合併10周年記念式典への出席、伊達市との継続事業としてみらいKIDSにぎわい交流事業を草津市で実施することができたことなどが要因の一つと考えられる。

施策の達成度評価
国内での都市間交流について、伊達市とクリスマスブーツを通した交流やみらいKIDSにぎわい交流事業、観音寺市の合併10周年記念式典や観音寺市庁舎での姉妹都市広報などを通じて、両市の市民に対して姉妹都市・友好交流都市についての周知を行うことができた。また、国外での都市間交流について、ポンティアック市に市使節団を派遣し、両市の相互理解を深めることができた。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、「No.45　暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい」、「No.46　将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」に寄与するものであり、偏差値はそれぞれ53、80という結果であった。 引き続き、都市間交流を進める中で、お互いのまちの魅力や歴史、文化、伝統に触れ、将来の世代のために良い環境を残すという意識を育み、民間同士での交流を促進できるよう取組を進めていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
伊達市および観音寺市との交流については、市民活動団体が継続的に交流事業を実施している。市民間で都市間交流が活発になり、多様な人々との交流が展開できるよう、今後も広く市民に都市間交流についての情報発信を行うとともに、市の関わり方について他の自治体も参考に研究する。
市民間で都市間交流が活発になるよう情報提供を図ることは、「No.45　暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい」「No.46　将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも繋がると考えており、今後も、多様な人々との交流を展開するための取組を進めていきたい。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
姉妹都市等交流事業	まちづくり協働課	○	国内外問わず姉妹都市・友好交流都市との交流を行い、市民への周知を行うことができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　22-02-②

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
45	暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	実数	2.8	2.9			
		偏差値	51.3	53.2			
46	将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	実数	4.1	4.1			
		偏差値	80.0	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

「未来」への責任

23.行財政マネジメントに関する施策

■施策評価シート　23-01-①

まちづくりの基本目標	「未来」への責任		分野	行財政マネジメント
基本方針	市民から信頼される市政運営		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	23-01-①	施策名	健全な財政運営の維持	

施策の概要

将来にわたって健全で持続可能な財政運営を維持するため、財政規律の確保に向けた取組を進めます。

成果指標（単位）	将来負担比率（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	0%以下 （算出されない）	0%以下 （算出されない）	0%以下 （算出されない）	0%以下 （算出されない）
実績値	—（△42.6%）	－			

成果指標実績に対するコメント

交付税措置のない市債を活用しないことによる実質的な長期債務の抑制や、基金の計画的な積立・活用等に務めた結果、令和7年度（令和6年度決算）の将来負担比率は算定されず、引き続き良好な値を維持している。

施策の達成度評価

令和6年度決算においては、「財政規律ガイドライン」に定める一部の指標（「人口1人当たり人件費・物件費等の合計」、「人口1万人当たり職員数」、「ラスパイレス指数」、「プライマリー・バランス」）において、人事院勧告による人件費の増、物価高騰の影響、草津市立プール整備事業等の大規模事業の実施等により一時的に目標値を超過した指標もあるが、その他の指標については目標値を達成しており、総じて健全な財政運営が維持できていると考えている。
なお、社会保障関係経費等の義務的経費の増加により、財政の硬直化が進んでいることや、昨今の物価高騰の影響等により、行政を取り巻く環境は先行きが不透明であることから、引き続き、「財政規律ガイドライン」に定める各種財政指標の目標遵守を目指すとともに、達成に向けた取組を推進することにより、健全で持続可能な財政運営に努めていく必要がある。

当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標の主観指標で「No.18 暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う」があり、偏差値が60を上回る結果であった。引き続き、ウェルビーイングの観点からも、健全で持続可能な財政運営に努める必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

「草津市健全で持続可能な財政運営および財政規律に関する条例」や「第2期草津市財政規律ガイドライン」に基づき、各種財政指標について、目標値に対する達成状況を公表するとともに、目標達成に向けた取組を通じて財政規律の確保を図り、健全で持続可能な財政運営に努める。

当該施策における取組は、地域幸福度（Well-Being）指標の客観指標では、「No.34 財政指標」に寄与するものである。さらに、こうした取組により、主観指標の「No.18 暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う」に寄与するものであり、引き続き、ウェルビーイングの観点からも、健全で持続可能な財政運営に努めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
財政管理運営事務	財政課	○	成果目標である将来負担比率の目標値 0%以下（算出されない）を達成することができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
出納事務	会計課
軽自動車税賦課事務	税務課
固定資産税台帳等整備事務	税務課
市民税賦課事務	税務課
資産税賦課事務	税務課
税務証明等事務	税務課
債権適正管理事務	総務課
国保税徴収事務	納税課
収納率向上特別対策事務	納税課
税徴収事務	納税課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　23-01-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
18	暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う	実数	3.2	3.3			
		偏差値	60.3	62.8			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	34								

■施策評価シート　23-01-②

まちづくりの基本目標	「未来」への責任		分野	行財政マネジメント
基本方針	市民から信頼される市政運営		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	23-01-②	施策名	市有財産の適正な維持管理・更新	

施策の概要
公共施設等総合管理計画に基づいて、施設の配置最適化、財政負担の軽減・平準化のための長寿命化や維持保全費の縮減および各種点検の実施によるコンプライアンスの確保に向けた取組を進めます。

成果指標（単位）	建築基準法12条に基づく法定点検の実施率（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	100.0	100.0			

成果指標実績に対するコメント
対象となる全施設において、確実に法定点検を実施した。

施策の達成度評価
点検により施設の状況を把握し、判明した不具合箇所の是正を促すことで、施設の維持管理の適正化を推進した。 また、長寿命化工事実施のための保全計画を年次更新した。
―

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
建築物は3年ごと、設備は1年ごとの法定期間に基づき、新たに対象となった施設を含めて点検を実施し、ファシリティマネジメントの推進を継続する。また、施設の保全計画を年次改訂し、施設の長寿命化を図るとともに、維持保全費の縮減の取組を進める。
―

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
ファシリティマネジメント推進事業	公共建築課	○	建築基準法に基づく定期点検を確実に実施するとともに、施設の長寿命化のため保全工事の計画を年次更新し、施設の維持管理を推進することができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
財産区管理運営事業	総務課
マイクロバス運行事業	総務課
安全運転管理委員会運営事業	総務課
旧法務局管理事業	総務課
固定資産審査委員会事務	総務課
公有財産審議会運営事業	総務課
公有財産台帳整備事務	総務課
公用自動車管理事業	総務課
市有財産管理事務	総務課
庁舎管理事業	総務課
庁舎維持管理事業	総務課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　23-01-②

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	-	実数					
		偏差値					

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

■施策評価シート　23-01-③

まちづくりの基本目標	「未来」への責任		分野	行財政マネジメント
基本方針	市民から信頼される市政運営		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	23-01-③	施策名	情報提供・情報公開の推進	

施策の概要
個人情報等の確実な保護のもと、適切な情報管理と積極的な情報公開に取り組むとともに、公平・公正で透明性の確保された市政運営を行います。

成果指標（単位）	「市民から信頼される市政運営」に満足している市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	22	22.6	23.2	23.8
実績値	21.4	23.1			

成果指標実績に対するコメント
「市民から信頼される市政運営」に満足している市民の割合は、前年度から1.7ポイント上昇した。必要な行政情報の提供と適正な情報公開に努めたことが評価されたものと考える。

施策の達成度評価
情報公開請求への適切な対応を行うとともに、建設工事等の電子入札情報や入札結果の公表により、市政の透明性を高めることができた。今後も、引き続き情報提供、情報公開を推進する必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）は、「No.42 自分のことを好ましく感じる」があり、偏差値が80であった。 こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも引き続き、市政の透明性を高めるために情報提供、情報公開を推進できるように検討していきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
今後も情報公開条例に基づき適切に情報公開を行うとともに、公平・公正で透明性の確保された事務執行に努めていく。
情報提供、情報公開に関する取組は、市民参加の促進を図るだけでなく、「No.42 自分のことを好ましく感じる」という指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、適切な情報提供、情報公開に努めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
情報公開事務	総務課	○	情報公開事務について適正に対応することができたため。
契約審査等事務	契約検査課	○	規則等に基づき、入札・契約手続きについて、適正に対応することができたため。

■施策評価シート　23-01-③

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
統計調査諸事業	企画調整課
基幹統計調査事務	企画調整課
調査員確保対策事務	企画調整課
毎月人口推計調査事務	市民課
基幹統計調査事務（人口動態調査）	市民課
報酬審議会運営事務	職員課
顧問弁護士委託事業	総務課
公平委員会事務	総務課
選挙常時啓発事業	総務課
選挙管理委員会運営事業	総務課
文書管理事務	総務課
法規事務	総務課
市長交際費事務	秘書課
市政功労者表彰事業	秘書課
秘書渉外事業	秘書課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
42	自分のことを好ましく感じる	実数	3.5	3.5			
		偏差値	80.0	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	97	98							

■施策評価シート　23-02-①

まちづくりの基本目標	「未来」への責任		分野	行財政マネジメント
基本方針	職員力の向上		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	23-02-①	施策名	職員の資質向上	

施策の概要
CS（市民満足）の向上につなげるため、「人材育成・確保基本方針」に基づき、複雑・多様化する行政課題に対応できる職員の育成や確保を進めます。

成果指標（単位）	職員の対応に満足を感じている市民の割合（%）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	46.4	47.4	48.4	49.4
実績値	45.4	45.5			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、職員の対応に満足を感じている市民の割合は前年度より0.1ポイント増加したものの、目標値には達しなかった。目標達成に向けて、引き続き、人材育成・確保基本方針や研修計画に基づく研修等を実施し、職員の人材育成を図ることで、市民満足度の向上につながるよう取り組んでいく必要がある。

施策の達成度評価
研修計画に基づく各種研修の実施や、必要な啓発を行うことで、職員の資質向上を図ることができた。 多様化・複雑化する市民ニーズに適切に対処できる職員を計画的に育成し、市民満足度の向上につなげるため、さらなる取り組みの推進が必要である。
当該施策に関連する地域幸福度（Well-Being）指標は、偏差値が高い順に「No.18　暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う」「No.40　私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある」「No.41　私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある」があり、いずれもその偏差値は60を上回る結果であった。 人材育成・確保基本方針や研修計画に基づき、計画的に人材育成、働き方改革に取り組んでおり、引き続き、市民や職員のウェルビーイング向上の観点からも、職員が地域を真剣に考え、市民の期待に応える人材となるよう育成を図るとともに、職員一人ひとりが年齢や性別等に関わらず、活躍できる職場環境づくりを進めていく必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
人材育成・確保基本方針に基づき、職員の必要な能力の開発や発揮するための研修等に取り組み、職員のさらなる資質向上を図る。
職員のさらなる資質向上を図る取り組みは、「No.18　暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う」「No.40　私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある」「No.41　私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある」といった地域幸福度指標に影響しており、市民のウェルビーイング向上にも資するものであると考えている。人材育成を通じて、市民や職員のウェルビーイング向上にも努めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
職員研修事業	職員課	○	計画的に研修を実施することにより、効果的に人材育成を図ることができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
会計年度任用職員等管理事業	職員課
職員派遣事業	職員課
給与等管理事務	職員課
職員採用事務	職員課
職員福利厚生事業	職員課
人事服務管理事務	職員課
労働安全衛生事業	職員課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　23-02-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
18	暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う	実数	3.2	3.3			
		偏差値	60.3	62.8			
40	私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	58.4	62.4			
41	私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	実数	2.8	2.9			
		偏差値	55.6	61.1			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）	93	94							

■施策評価シート　23-03-①

まちづくりの基本目標	「未来」への責任		分野	行財政マネジメント
基本方針	行政事務の効率化と最適な行政サービスの実現		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	23-03-①	施策名	行政経営改革の推進	

施策の概要
行政事務の効果・効率の向上を図るため、事務事業の見直しや、公民連携手法の活用、DXの推進などに取り組みます。

成果指標（単位）	第2期草津市行政経営改革プラン（実施計画）の達成件数（広域連携の推進除く）（件）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	11	11	11	11
実績値	ー	6			

成果指標実績に対するコメント
「第2期草津市行政経営改革プラン」で掲げるアクション・プラン11項目のうち、6項目について目標を達成したが、残りの5項目については、それぞれ取組を推進したものの、目標には届かなかった。ただし、各項目の目標に対する実績の割合でみると、全体で80%を超えており、項目によっては次年度以降も継続的に取り組むものもあり、一定の進捗が見られる状況であることから、当初計画した取組については、概ね達成されているものと考える。

施策の達成度評価
「第2期草津市行政経営改革プラン」のアクション・プランに基づき、市民負担の公平性の維持に向けた使用料等の全庁的な見直しや、行政運営の効率化に向けた全庁的なアナログ規制の点検・見直しなどの主要な取組を進めたことで一定の成果を見出すことができた。引き続き、アクション・プランに掲げたすべての項目において、目標を達成できるよう着実に取組を進めていきたい。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.36 私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている」「No.20 私の暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる」「No.21 私の暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい」があり、いずれの偏差値も60を上回る結果であった。 令和7年度はデジタル化を阻害している規制や手続きの点検・見直しのほか、さらなる業務効率化に向けたDXの取組を進めており、引き続き、情報通信技術の活用による市民サービスの利便性の向上が図られるよう取組を進めたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
公民連携やDXの推進については、全庁的に目標達成に向けた取組を着実に進めるとともに、職員の人事マネジメント・働き方改革については、職員の働きがいや働きやすさの向上のための制度導入や環境整備のための取組を進めていく。
DX推進の取組は、行政経営改革を推進するだけでなく、「No.20 私の暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる」「No.21 私の暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であり、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも、市民の利便性の向上や業務の効率化に繋がる情報通信技術の活用や検証など、DX推進に向けた取組を積極的に実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
行政経営改革推進事業	経営戦略課	○	行政経営改革プランのアクション・プランに基づき各種行政改革を推進した結果、使用料等の全庁的な見直しや、アナログ規制の点検・見直し等を実施するなど、一定の成果を得ることができたため。
情報化推進事業	経営戦略課	○	DX推進計画のアクション・プランに基づき、各種DXの取組を推進した結果、情報システムの標準化に向けた取組の一部を延伸することとしたものの、DX推進に向けた各所属への伴走支援を行い事業化に繋げるなど、一定の成果を得ることができたため。

■施策評価シート　23-03-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
エコオフィス推進事業	温暖化対策室
コンピューター管理事業	経営戦略課
広域ネットワーク管理事業	経営戦略課
設計監理事務（内部事務）	公共建築課
特定構想検討事務	企画調整課
総合企画調整事務	企画調整課
総合計画推進事務	企画調整課
事務機器管理事務	総務課
中長期在留者住居地届出等事務	市民課
個人番号カード交付事務	市民課
戸籍住民票等受付証明書交付事務	市民課
自衛官募集事務	市民課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】

主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
20	私の暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる	実数	3.0	3.3			
		偏差値	57.7	67.4			
21	私の暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい	実数	3.0	3.2			
		偏差値	57.3	64.5			
36	私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている	実数	3.3	3.3			
		偏差値	66.6	68.6			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No.（令和7年度）	35	36	91	99					

■施策評価シート　23-03-②

まちづくりの基本目標	「未来」への責任		分野	行財政マネジメント
基本方針	行政事務の効率化と最適な行政サービスの実現		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	23-03-②	施策名	広域連携の推進	

施策の概要
行政区域を越えた共通の課題や本市単独での対策が困難な課題、また、行政事務の効率化や市民サービスの向上などについて関係する自治体間で協力して取り組むため、広域連携の推進を図ります。

成果指標（単位）	広域連携による新たな共同研究・事業数（件）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	（※基準値）	1	1	1	1
実績値	1	2			

成果指標実績に対するコメント
広域連携による新たな共同研究・事業数の実績値について目標値を上回ることができた。関係する自治体との連携を通じた共通課題の情報共有等を取り組んだ結果だと考える。引き続き、市域を越えて共通する課題解決に向けて、取組を進めるため、関係する自治体との相互連携を図っていく。

施策の達成度評価
昨年度に引き続き、関係する自治体との連携を通じた共通課題の情報共有を行った。また、共通する事務の委託やJR西日本への要望活動など協力しながら取組を進めることができた。広域的な共通目的等の達成に向けて、より効果的な活動等が行えるよう、引き続き近隣市等との連携を図る必要がある。
－

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
関係する自治体と継続した連携、事業展開を行い、引き続き、市域を越えて共通する課題解決に向けて取組を推進する。さらに、新たな課題の出現、状況の変化等に対し、必要に応じて連携体制の見直しや確立・充実に向けて検討を行うことで、将来にわたり持続可能で最適な行政サービスの実現を目指していく。
－

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度（主要事業のみ）	達成度評価理由
広域行政推進事業	企画調整課	○	近隣自治体と連携し、本市単独での対策が困難な課題等に対して、取り組み、新たな課題解決につなげることができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
湖南広域行政組合負担金事務（議会総務費）	企画調整課

成果達成度の表示について

◎　期待を超える成果があった
○　期待どおりの成果があった
△　期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート　　**23-03-②**

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		実数					
		偏差値					

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. （令和7年度）									

「地域幸福度(Well-Being)指標」

主観指標

区分				令和6年度		令和7年度	
No.	因子群	カテゴリ	評価指標	実数(平均)	偏差値	実数(平均)	偏差値
5	生活環境	医療・福祉	暮らしている地域は、医療機関が充実している	3.9	69.7	4	73.3
6	生活環境	医療・福祉	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	3.4	58	3.4	63
7	生活環境	買物・飲食	暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない	4.1	69.9	4.1	72.6
8	生活環境	買物・飲食	私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している	3.5	60.9	3.6	66.4
9	生活環境	住宅環境	自宅には、心地のいい居場所がある	4.1	80	4.2	80
10	生活環境	住宅環境	【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている＜回答の点数が逆転＞	3.5	51.3	3.5	49.8
11	生活環境	住宅環境	私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる	3	44	3.1	46
12	生活環境	移動・交通	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	3.1	49.7	3.2	51.4
13	生活環境	遊び・娯楽	私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	2.8	54.3	3	58.6
14	生活環境	子育て	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	3.2	59.5	3.2	59.5
15	生活環境	子育て	私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	3.4	64.6	3.5	66.5
16	生活環境	初等・中等教育	私の暮らしている地域では、教育環境(小中高校)が整っている	3.6	63.4	3.7	66.5
17	生活環境	初等・中等教育	私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある	3.7	60.6	3.7	62.3
18	生活環境	地域行政	暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う	3.2	60.3	3.3	62.8
19	生活環境	地域行政	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	3.1	55.2	3.2	57.9
20	生活環境	デジタル生活	私の暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる	3	57.7	3.3	67.4
21	生活環境	デジタル生活	私の暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい	3	57.3	3.2	64.5
22	生活環境	公共空間	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	3.7	68	3.8	71.2
23	生活環境	公共空間	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	3.8	65.4	3.8	68.3
24	生活環境	都市景観	私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある	3.1	53.9	3.1	56.3
25	生活環境	自然景観	私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある	3.3	55.1	3.4	57.3
26	生活環境	自然の恵み	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	3.6	56.4	3.7	58.5
27	生活環境	自然の恵み	暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	3.4	55.8	3.5	56.7
28	生活環境	環境共生	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである	3.2	62	3.3	68.4
29	生活環境	自然災害	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	3.2	62.6	3.3	66
30	生活環境	事故・犯罪	私の暮らしている地域は、防犯対策(交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい	3.2	58.8	3.3	61.8

主観指標

区分				令和6年度		令和7年度	
No.	因子群	カテゴリ	評価指標	実数(平均)	偏差値	実数(平均)	偏差値
31	生活環境	事故・犯罪	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	3.3	55.4	3.4	60.3
32	地域の人間関係	地域とのつながり	私は、同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している	3.4	74.1	3.4	74.1
33	地域の人間関係	地域とのつながり	私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである	3.2	73.5	3.2	74.7
34	地域の人間関係	地域とのつながり	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	2.9	60.7	2.9	61.3
35	地域の人間関係	地域とのつながり	私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする	3.4	78.3	3.5	80
36	地域の人間関係	地域とのつながり	私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	3.3	66.6	3.3	68.6
37	地域の人間関係	多様性と寛容性	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	2.9	57.7	2.9	58.4
38	地域の人間関係	多様性と寛容性	私は、見知らぬ他者であっても信頼する	2.3	34.3	2.3	38.5
39	地域の人間関係	多様性と寛容性	私は、町内(集落)の人が自分をどう思っているかが気になる	2.5	44.5	2.5	39
40	地域の人間関係	多様性と寛容性	私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	2.9	58.4	2.9	62.4
41	地域の人間関係	多様性と寛容性	私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	2.8	55.6	2.9	61.1
42	自分らしい生き方	自己効力感	自分のことを好ましく感じる	3.5	80	3.5	80
43	自分らしい生き方	健康状態	私は、身体的に健康な状態である	3.5	79.3	3.5	80
44	自分らしい生き方	健康状態	私は、精神的に健康な状態である	3.6	79.7	3.7	80
45	自分らしい生き方	文化・芸術	暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	2.8	51.3	2.9	53.2
46	自分らしい生き方	文化・芸術	将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	4.1	80	4.1	80
47	自分らしい生き方	教育機会の豊かさ	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	3.1	57.6	3.1	55.5
48	自分らしい生き方	雇用・所得	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	2.8	55.6	2.8	56.1
49	自分らしい生き方	雇用・所得	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	2.9	54.9	2.9	56.5
50	自分らしい生き方	事業創造	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある	2.8	54.4	2.9	57.1

客観指標

区分				令和7年度
No.	因子群	カテゴリ	評価指標	偏差値
1	生活環境	医療・福祉	医療施設徒歩圏人口カバー率	56.4
2	生活環境	医療・福祉	人口あたり国民健康保険者医療費	48.6
3	生活環境	医療・福祉	人口あたり後期高齢医療費	51.3
4	生活環境	医療・福祉	特定健診実施率	52
5	生活環境	医療・福祉	福祉施設徒歩圏人口カバー率	61.5
6	生活環境	医療・福祉	人口あたり児童福祉施設数	55.9
7	生活環境	医療・福祉	人口あたり障害者施設数	43.1
8	生活環境	医療・福祉	人口あたり認知症サポーターメイト・サポーター数	54.5
9	生活環境	買物・飲食	商業施設徒歩圏人口カバー率	53.5
10	生活環境	買物・飲食	可住地面積あたり飲食店数	47.3
11	生活環境	買物・飲食	人口あたり飲食店数	47
12	生活環境	住宅環境	住宅当たり延べ面積	47.4
13	生活環境	住宅環境	平均価格（住宅地）	52.1
14	生活環境	住宅環境	専用住宅面積あたり家賃	48.2
15	生活環境	住宅環境	一戸建の持ち家の割合	44.6
16	生活環境	移動・交通	駅・バス停留所徒歩圏人口カバー率	50.1
17	生活環境	移動・交通	人口あたり小型車走行キロ	45.8
18	生活環境	移動・交通	通勤通学に自家用車等を用いない割合	51.6
19	生活環境	移動・交通	職場までの平均通勤時間	50.8
20	生活環境	遊び・娯楽	人口あたり娯楽業事業所数	51.2
21	生活環境	子育て	保育所への距離1kmの住宅割合	55.7
22	生活環境	子育て	可住地面積あたり幼稚園数	54.7
23	生活環境	子育て	人口あたり待機児童数	34
24	生活環境	子育て	歳出総額の教育費割合	45.2
25	生活環境	子育て	歳出総額の児童福祉費割合	68.1
26	生活環境	子育て	合計特殊出生率	50.9
27	生活環境	子育て	人口あたり子ども食堂数	39.5
28	生活環境	初等・中等教育	可住地面積あたり小学校数	45.7
29	生活環境	初等・中等教育	可住地面積あたり中学校数	45.6
30	生活環境	初等・中等教育	可住地面積あたり高等学校数	49.1
31	生活環境	地域行政	人口あたり体育施設利用者数	45.3
32	生活環境	地域行政	人口あたり図書館帯出者数	51.2
33	生活環境	地域行政	人口あたり博物館入館者数	52.1
34	生活環境	地域行政	財政指数	53.3
35	生活環境	デジタル生活	自治体DX指数	54.8
36	生活環境	デジタル生活	デジタル政策指数	38
37	生活環境	デジタル生活	デジタル生活指数	52.6
38	生活環境	公共空間	公園緑地徒歩圏人口カバー率	53.2
39	生活環境	公共空間	人口あたり公園面積	43.3
40	生活環境	公共空間	歩道設置率	54.7
41	生活環境	公共空間	ウォーカブル指数	66.3
42	生活環境	都市景観	都市景観指数	46.1
43	生活環境	自然景観	自然景観指数	52.9

客観指標

区分				令和7年度
No.	因子群	カテゴリ	評価指標	偏差値
44	生活環境	自然の恵み	食料供給ポテンシャル	61.8
45	生活環境	自然の恵み	水供給ポテンシャル	49.3
46	生活環境	自然の恵み	木材供給ポテンシャル	41.5
47	生活環境	自然の恵み	炭素吸収量	40.9
48	生活環境	自然の恵み	蒸発散量	52.5
49	生活環境	自然の恵み	地下水涵養量	44.5
50	生活環境	自然の恵み	土壌流出防止量	43.1
51	生活環境	自然の恵み	窒素除去量	42.2
52	生活環境	自然の恵み	リン酸除去量	42.2
53	生活環境	自然の恵み	NO2吸収量	42.4
54	生活環境	自然の恵み	SO2吸収量	42.6
55	生活環境	自然の恵み	洪水調整量	50.2
56	生活環境	自然の恵み	表層崩壊への安全性	46.2
57	生活環境	自然の恵み	緑地へのアクセス度	53
58	生活環境	自然の恵み	水域へのアクセス度	67.7
59	生活環境	自然の恵み	オートキャンプ場への立地	72
60	生活環境	環境共生	NOx濃度	37.9
61	生活環境	環境共生	PM2.5濃度	48.1
62	生活環境	環境共生	ゴミのリサイクル率	43.7
63	生活環境	環境共生	人口あたりCO2排出量	53.7
64	生活環境	環境共生	人口あたり再生可能エネルギー発電容量	46.2
65	生活環境	環境共生	環境政策指数	47.1
66	生活環境	自然災害	外水氾濫	42.6
67	生活環境	自然災害	高潮	56.3
68	生活環境	自然災害	土砂災害	59.3
69	生活環境	自然災害	地震動	45.2
70	生活環境	自然災害	津波	56.5
71	生活環境	自然災害	ハード対策	55.7
72	生活環境	自然災害	避難・救助	52.2
73	生活環境	自然災害	要配慮者支援	34.8
74	生活環境	自然災害	防災教育	48.7
75	生活環境	自然災害	防災まちづくり	52.9
76	生活環境	自然災害	情報・デジタル防災	46.4
77	生活環境	事故・犯罪	人口あたり交通事故件数	51.4
78	生活環境	事故・犯罪	人口あたり刑法犯認知件数	43.2
79	生活環境	事故・犯罪	空家率	58.2

客観指標

区分				令和7年度
No.	因子群	カテゴリ	評価指標	偏差値
80	地域の人間関係	地域とのつながり	人口あたり自殺者数	51.6
81	地域の人間関係	地域とのつながり	拡大家族世帯割合	45
82	地域の人間関係	地域とのつながり	既婚者割合	44.1
83	地域の人間関係	地域とのつながり	高齢単身世帯割合	70.7
84	地域の人間関係	地域とのつながり	居住期間が20年以上の人口割合	44.7
85	地域の人間関係	地域とのつながり	祭りの数	47
86	地域の人間関係	地域とのつながり	自治会・町内会加入率	63.2
87	地域の人間関係	地域とのつながり	人口あたり政治団体等の数	49.5
88	地域の人間関係	地域とのつながり	人口あたり宗教の事業所数	54.6
89	地域の人間関係	地域とのつながり	人口あたりNPOの数	48.7
90	地域の人間関係	地域とのつながり	人口あたり都市再生推進法人・UDC数	72.6
91	地域の人間関係	地域とのつながり	関係人口創出活動指数	46.4
92	地域の人間関係	多様性と寛容性	議会の女性議員割合	47.4
93	地域の人間関係	多様性と寛容性	自治体における管理職の女性割合	58.1
94	地域の人間関係	多様性と寛容性	自治体職員における障害者の割合	39.2
95	地域の人間関係	多様性と寛容性	人口あたり外国人人口	47.6
96	地域の人間関係	多様性と寛容性	多様性政策指数	49.9

客観指標

区分				令和7年度
No.	因子群	カテゴリ	評価指標	偏差値
97	自分らしい生き方	自己効力感	首長選挙の投票率	44.3
98	自分らしい生き方	自己効力感	市区町村議会選挙の投票率	45.6
99	自分らしい生き方	自己効力感	転入超過割合	56
100	自分らしい生き方	自己効力感	完全失業者数	60.5
101	自分らしい生き方	健康状態	健康寿命（男性）	69.6
102	自分らしい生き方	健康状態	健康寿命（女性）	68.2
103	自分らしい生き方	健康状態	人口あたり精神疾患患者在院数	59.7
104	自分らしい生き方	文化・芸術	芸術家・著述家等割合	45.5
105	自分らしい生き方	文化・芸術	国宝・重要文化財（建造物）数	52.2
106	自分らしい生き方	文化・芸術	日本遺産数	56.8
107	自分らしい生き方	文化・芸術	カルチャー指数	42.7
108	自分らしい生き方	教育機会の豊かさ	大卒・院卒者の割合	58.4
109	自分らしい生き方	教育機会の豊かさ	可住地面積あたり大学・短期大学数	47.3
110	自分らしい生き方	教育機会の豊かさ	可住地面積あたり私立・国立中高一貫校数	47
111	自分らしい生き方	教育機会の豊かさ	人口あたり生涯学習講座数	49
112	自分らしい生き方	教育機会の豊かさ	人口あたり生涯学習講座受講者数	57.8
113	自分らしい生き方	教育機会の豊かさ	人口あたり青少年教育施設利用者数	46.4
114	自分らしい生き方	教育機会の豊かさ	人口あたり女性教育施設利用者数	46.1
115	自分らしい生き方	雇用・所得	完全失業率	56.8
116	自分らしい生き方	雇用・所得	若年層完全失業率	52.7
117	自分らしい生き方	雇用・所得	正規雇用者比率	43.1
118	自分らしい生き方	雇用・所得	高齢者有業率	44.4
119	自分らしい生き方	雇用・所得	高卒者進路未定者率	36.8
120	自分らしい生き方	雇用・所得	市区町村内で従業している者の割合	46.4
121	自分らしい生き方	雇用・所得	創業比率	57.9
122	自分らしい生き方	雇用・所得	納税者あたり課税対象所得	52.4
123	自分らしい生き方	雇用・所得	人口あたり生活保護受給者数	58.4
124	自分らしい生き方	事業創造	クリエイティブ産業事業所構成比	46.8
125	自分らしい生き方	事業創造	新規設立法人の割合	69.7
126	自分らしい生き方	事業創造	従業者数あたりコワーキングスペース数	47.6
127	自分らしい生き方	事業創造	大学発ベンチャー企業数	51.4
128	自分らしい生き方	事業創造	イノベーション政策指数	45.8